

令和3年度
事業報告書

自：令和3年4月 1日
至：令和4年3月31日

福島県会津若松市神指町大字北四合字伊丹堂62番地2

社会福祉法人 博愛会

令和3年度社会福祉法人博愛会事業報告書

当法人の経営理念・方針に基づき、高齢者介護・児童福祉を実施するにあたり、地域に信頼される質の高いサービスの提供を目指して事業を行ってきた。事業の実施状況は次のとおり。

1. 事業の内容

(名 称)

保育所博愛園の経営
保育所すくすく園の経営
特別養護老人ホーム会津みどりホームの経営
会津みどりホームデイサービスセンターの経営
会津若松市片柳デイサービスセンターの運営
会津若松市南花畑デイサービスセンターの運営
会津みどりホーム居宅介護支援事業所の経営
会津若松市若松第四地域包括支援センターの経営
短期入所生活介護事業所会津みどりホームの経営
高齢者等世話付住宅生活援助員派遣事業の運営(会津若松市片柳・南花畑デイサービスセンター)
放課後児童健全育成事業東山こどもクラブの運営(保育所すくすく園)
放課後児童健全育成事業行仁こどもクラブの運営(保育所博愛園)

2. 法人役職員

代表理事	大島 一浩	(前特別養護老人ホーム会津みどりホーム施設長)
業務執行理事	松川 和夫	(元会津若松市代表監査委員)
〃	谷川香代子	(保育所すくすく園園長)
〃	白石由紀子	(保育所博愛園園長)
〃	鈴木かおる	(特別養護老人ホーム会津みどりホーム施設長)
〃	小山 香織	(短期入所生活介護事業所会津みどりホーム管理者)
理 事	川島安紀子	(特定非営利法人理事長)
〃	森田美智子	(前保育園園長)
〃	渡辺 直人	(元会津風雅堂館長)
監 事	荒海 健	(元西会津町振興公社統括部長)
〃	江川 辰也	(元会津若松市代表監査委員)
〃	古川 純夫	(高野地区民生児童委員)
評 議 員	伊藤 禮子	(元会津長寿園事務局長)
〃	大須賀美智子	(元県人事委員会委員長)
〃	菊池 芳次	(神指地区区長会長)
〃	酒井 完	(神指地区民生児童委員)
〃	佐藤 憲	(会津若松地区保護司会副会長)
〃	田澤 和子	(日新地区民生児童委員)
〃	蓮沼 恭子	(元会津若松市保育所長)

評 議 員 平出 孝朗 (元県議会議長)
 " 増戸 尚 (社会福祉法人博愛会嘱託医師)
 " 武藤 光榮 (城北地区民生児童委員協議会会長)
 " 山田眞一郎 (医療法人山田整形外科院長)

苦情解決委員会 江川 辰也 (社会福祉法人博愛会監事)
 (第三者委員) 蓮沼 恭子 (社会福祉法人博愛会評議員)

入所検討委員会 渡部 淳 (会津若松市自立支援協議会会長)
 (第三者委員) 小沼 昭子 (元民生児童委員)

3. 施設の長・管理者

統括施設長 大島 一浩 (老人福祉施設)
 施 設 長 鈴木かおる (特別養護老人ホーム会津みどりホーム)
 管 理 者 小山 香織 (短期入所生活介護事業所会津みどりホーム)
 管 理 者 一条真左美 (会津みどりホームデイサービスセンター)
 管 理 者 梅宮和嘉子 (会津若松市片柳デイサービスセンター)
 管 理 者 星 和子 (会津若松市南花畑デイサービスセンター)
 管 理 者 橋本 ゆか (居宅介護支援事業所会津みどりホーム)
 管 理 者 島田 暁美 (会津若松市若松第四地域包括支援センター)
 園 長 白石由紀子 (保育所博愛園)
 園 長 谷川香代子 (保育所すくすく園)

4. 土地、建物(基本財産)の状況

(所在地)	(地目、用途及び面積)
会津若松市神指町大字北四合字伊丹堂 55 番地 1	宅地 12,029.93 m ²
会津若松市神指町大字北四合字伊丹堂 62 番地 2	宅地 5,197.84 m ²
会津若松市本町 556 番 2 他 4 筆	宅地 2,033.17 m ²
会津若松市神指町大字北四合字伊丹堂 55 番地 1	
会津みどりホーム園舎及び機械室園舎 (3 棟)	3,812.01 m ²
会津若松市神指町大字北四合字伊丹堂 62 番地 2、55 番地 1	
短期入所生活介護事業所会津みどりホーム園舎及び機械室 (2 棟)	2,139.84 m ²
会津若松市本町 556 番地 2、556 番地 3 及び 560 番地	博愛園園舎 (2 棟) 613.73 m ²
会津若松市東千石二丁目 197 番地	すくすく園園舎 (1 棟) 586.34 m ²

5. 法人事業計画実施状況

令和3年度は、当法人の将来をみすえた諸取組みが成果をあげた記念すべき年となった。

近年、当法人を取り巻く社会福祉環境の変化は激しく、ほぼ全ての制度をつくった国をはじめ市や周囲の同業種法人の動きを冷静にみつめ、どうしたら地域福祉の担い手として引続き役割を發揮できるか、このままの経営で大丈夫か、的確な対応が喫緊の課題となって久しいものがある。

当法人はこの間、重要事項として、次の3つの課題に取り組んできた。

1. 保育所が長く担ってきた0歳から2歳児の独占的受入れが幼保連携型認定こども園の急増によって崩壊したこと。さらに、その認定こども園の存在とその評価が保育所を凌ぐ情勢になってきており、将来を展望した幼保施設への対応。

2. 市が長年営んできたデイサービス事業からの撤退（片柳及び南花畑デイサービスセンターに関する指定管理者制度の終了）への対応。

3. 市直営のこどもクラブ（行仁及び城前こどもクラブ）が民営化されることへの対応。

いずれも厳しい競争を伴い、その際の競争相手は社会福祉法人だけでなく、学校法人、医療法人、NPO法人、企業など多彩であり、当法人にとって、質の高いサービスの提供能力、資金面、運営管理能力など経営力の真価が問われたものばかりだった。

他の法人と様々な視点から比較され、最終選考に残るかどうかが、試練は大きく、これかの大きな教訓となった。

社会福祉事業の担い手がこれだけ増加すれば、力がなければ経営危機がすぐ迫ってくる時代である。これからも引き続き問題意識、危機感をもちながら、各事業所の事業運営及び法人全体の組織運営管理に的確に対応を講じていく。

その他、重点事項については、下記のとおり。

〔1〕法人の中長期経営計画の見直し検討

保育所博愛園の幼保連携型認定こども園への移行や片柳デイサービスセンター事業の廃止及び生活援助員派遣事業の終了、行仁こどもクラブの受託運営など、事業内容の変更や廃止、追加など博愛会の運営規模が大きく変化した。そのため中長期計画の更新については、次年度に引継ぎ検討を行なう。

〔2〕職員の労働衛生環境の改善

定期的に職員と上司が面接を実施し、職員の心身状況の把握と指導助言を行った。

事業所健康診断やストレスチェックなどで異常値が出た職員に対しては、速やかに本人に知らせ、本人の希望に沿った支援を進める。

〔3〕幼保連携型認定こども園あいづ博愛こども園整備の推進

園舎を認定こども園の設備基準に適合するよう間仕切りの見直しをすすめ、7月に改修を完了した。保護者への説明会や1号認定の園児の募集など内外への情報発信を平行して行い、県への認可申請に必要な書類を揃えて11月に認可申請し3月末に事業認可を受けた。

〔4〕放課後児童健全育成事業の運営管理

令和3年度より受託運営した行仁こどもクラブでは、行仁小学校との連携や保護者・児童との信頼関係構築に努め、早期の安定運営に注力した。

鶴城こどもクラブについても、令和4年度より当法人の受託運営が決まり、支援員等の確保や備品等の準備など、市や鶴城小学校と連携して諸準備を進めてきた。

〔5〕片柳及び南花畑のデイサービスセンターの存続に向けた取組み

両デイサービスセンターは、市条例において「公の施設」の位置づけが廃止され、民間への事業譲渡に向け8月に公募がなされた。当法人としては検討を重ねた結果、将来の経営への財政負担を考慮し、南花畑デイサービスセンター1ヶ所に絞って応募することとした。選考の結果、当法人に事業譲渡が決まり、リニューアルオープンに向けた名称の変更や改修をおこなってきた。

〔6〕広田保育所の民設民営化、幼保連携型認定こども園移行への対応

市立の広田保育所及び河東第三幼稚園は、河東地区における唯一の幼保施設であるが、令和4年1月21日付で市から今後のあり方についての考えが示された。

市は、両施設を幼保連携型認定こども園（利用定員 175 人規模）として広田保育所に統合し、経営を民間に移管（民設民営化）するというもので、これから事業を継承する法人を公募により決定し、手続きを進める意向である。また、現に保育所、幼稚園及び認定こども園を運営する法人に対して、施設を取得して認定こども園を運営する考えの有無、その際の条件等の意見、要望を聴くためヒアリングを行う方針である。

当法人としては、当該地区の幼保ニーズの展望と現施設の現状（築 23 年）等を考慮し、相応の能力をもつ幼保施設の経営者としてヒアリングに応ずる考えであり、今後の市の公募方針が公表された段階で条件などの内容を検討し、当法人のもつ経営資源（人的、財政的、運営能力等）をふまえ、対応方針を理事会で協議し決定する。

〔7〕近隣法人連携による相互協力及び地域支援の実施

新型コロナの影響による各法人の事情を考慮し、近隣法人連携による活動はできなかった。

〔8〕法人監事による事業所中期監査

みどりホームデイサービスセンター、片柳ホームデイサービスセンター、すくすく園において、年度中期に会計や事業等の進行管理及び法令遵守並びに組織内部体制が適切に行われているか検証を行った。特に現金の出納管理の手続きや契約手続きなど重点的に確認を受け、適切に処理管理されていることが認められた。

〔9〕福島県指導監査の実施

片柳デイサービスセンターについては、福島県福祉監査課の書面指導を受審し、改善を要する事項は無かった。

保育所博愛園については、令和 3 年 9 月 28 日に福島県保健福祉課の書面監査・聞き取り調査を受審するも、改善報告を要する事項は無かった。

またすくすく園についても令和 3 年 10 月 26 日に福島県の書面監査・聞き取り調査を受審し、改善報告を要する事項は無かった。

6. 理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催状況

理事・監事及び評議員の任期満了に伴い、評議員選任・解任委員会において新たな評議員の選任をおこなった。また定時評議員会では、新たな理事及び監事を選任した。

理事会では定款の定めに従い、予算、決算、規則規程の改正、事業計画及び事業報告等の決議や報告をおこなった。

区 分	理事会		評議員会	選任委員会	主な審議事項及び報告事項
	理事	監事			
4 月 20 日	1	—	—	3	・ 評議員の選任
6 月 1 日	9	3	—	—	・ 令和 2 年度事業報告、計算書類・財産目録の承認 ・ 役員報酬規程の改正 ・ 令和 3 年度補正予算 ・ 定時評議員会招集の件
6 月 22 日	9	3	9	—	・ 令和 2 年度事業報告 ・ 令和 2 年度計算書類・財産目録の承認 ・ 理事及び監事の選任 ・ 役員報酬規程の改正

6月22日	9	3	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・代表理事並びに業務執行理事の選任 ・評議員選任・解任委員の選任 ・苦情解決にかかる第三者委員の選任
9月1日	9	3	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・デイサービスセンターの譲渡に対する当法人の対応 ・規則・規程の制定及び改正（定款の変更含む） ・令和3年度補正予算 ・評議員会の招集の件 ・事業報告
9月22日	—	—	11	—	<ul style="list-style-type: none"> ・定款の変更
10月29日	9	2	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・市有財産譲渡契約 ・令和3年度補正予算
12月14日	9	3	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・規則等審査委員会の設置 ・規則・規程の改正 ・令和3年度補正予算 ・苦情解決にかかる第三者委員の選任 ・事業報告
2月14日	9	3	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・定款の変更 ・評議員会の招集の件
2月18日	—	—	11	—	<ul style="list-style-type: none"> ・定款の変更
3月22日	9	3	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度補正予算 ・令和4年度事業計画、事業予算 ・規則・規程の改正 ・契約の締結 ・施設長等の異動

7. 情報公開、開示

インターネット上にホームページを利用し当法人の事業状況及び財務諸表について情報の公開をした（財務諸表については、平成24年度分から開示している）。

8. 苦情解決にかかる苦情の内容と解決結果数

苦情への円滑な対応を図るために、第三者委員、苦情解決責任者及び苦情受付担当者として構成する苦情解決委員会を年2回開催し、苦情の内容や解決結果について検討し改善を図った。処理件数や内訳、概要は次のとおり。

区分	処理 件数	苦情の内容		
		職員の処遇 (対応・言葉遣い)	説明・情報提供	その他
総数	16	11	4	1
特別養護老人ホーム会津みどりホーム	1		1	
短期入所生活介護事業所会津みどりホーム	3	3		
会津みどりホームデイサービスセンター	3	2	1	
居宅介護支援事業所会津みどりホーム	2		2	
会津若松市若松第四地域包括支援センター	1	1		
保育所博愛園	3	2		1
保育所すくすく園	3	3		

〔概要〕

施設名	概要
特別養護老人ホーム 会津みどりホーム	<ul style="list-style-type: none"> ・介護認定の結果に納得がいけない。申請時は事前に相談して欲しかった。
短期入所生活介護事業所 会津みどりホーム	<ul style="list-style-type: none"> ・入所時、男性職員に持参した肌着の色まで確認された。また、その際の言葉遣いや態度に憤りを感じた。 ・頭に傷があり、入浴時に洗わないようお願いしていたが洗髪をされた。 ・入浴の際「自分で洗えるところは洗ってください」と無愛想に言われた。
会津みどりホーム デイサービスセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・お知らせの文書は時期を守って欲しい。遅れるなら連絡して欲しい。 ・やっとのことでコロナワクチンの予約ができたのに、職員が本人にかかりつけ医に相談した方がいいと、惑わすようなことを言われた。 ・伝えたことに対し連絡がない。情報共有が図られているのか。連絡帳の内容も毎回ほぼ同じで不信感がある。
居宅介護支援事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子タクシーの利用助成制度があるなら早く教えて欲しかった。 ・担当のケアマネジャーを何度も変更しないで欲しい。
会津若松市若松第四 地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の心身状態を把握したうえで、親身になって対応して欲しかった。
保育所博愛園	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の預け時、急いでいるのに泣いている子を受け取ってもらえないのはどうしてか。声掛けなど配慮してもらえないのか。 ・子どもが園庭でケガをした。子どもが言うには先生は見えていなかったと言っている。目が届いていないのではないか。 ・降園の引渡し後、親が目を離れた間に、子ども同士の喧嘩でメガネが壊れた。このような際、園ではどのような対応をするのか。
保育所すくすく園	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱での途中迎えが多く、母親が行った際に「お父さんにお迎えを代わってもらえないのか」と言われた。家のことにまで口出しをするのか。 ・仕事休みの日に子どもを預ける際、いつも時間まで細かく聞かれ預けづらい。 ・違う児童に、母親のお迎えの声掛けをして送り出し、子どもが外で母親を探していた。迎えに来たら息子が外で泣いている。どういふことか。

9. 永年勤続表彰式

永年に渡り誠実に勤務した職員の功労を称え表彰した（令和3年11月25日開催）。

表彰内容	所 属	氏 名
20年勤続表彰（1名）	特別養護老人ホーム会津みどりホーム	菊地 一幸
10年勤続表彰（4名）	特別養護老人ホーム会津みどりホーム	菊地 愛
		杉原 相子
	保育所すくすく園	石井 尚美
	法人事務局	斎藤 順子

10. 役職員の研修実施状況

計画に基づく各種研修会については、新型コロナウイルス感染予防のもと規模や実施内容を工夫し、下記のとおり主催開催した。また外部研修についても、派遣やオンライン研修で必要な情報を得るように努めた。

〔主催研修〕

研修月日	研 修 名	出席者数	研 修 場 所
4月1日	新採用職員基礎研修 「新採用職員の心得・服務規律について」 「各事業所の役割について」他 各事業所長等	職員9名	短期入所生活介護 事業所会議室
11月9日	法人研修 「災害から身を守る」 会津若松市市民部危機管理課 防災対策普及員 一条洋一 氏 主任主事 川井健太 氏	神指地区区長会長1名 職員26名	特別養護老人ホーム 多目的ホール

〔外部研修〕

研修月日	研 修 名	出席者	研 修 場 所
10月29日	苦情解決責任者・第三者委員研修	江川辰也監事	福島県総合社会福祉センター
1月19日	令和3年度社会福祉法人役員等対象講習会	小沼事務局長	オンライン受講

令和3年度 老人福祉施設部門事業報告

[1]特別養護老人ホーム会津みどりホーム(空床型短期入所含)

1 事業の運営総括

新型コロナウイルス感染拡大により制限ある生活が長期化する中、感染対策を図りながら季節行事を開催し、毎月季節に合わせた行事食やカフェみどりのメニューを増やし食を楽しんで頂いたり、ご利用者を感染から守り、かつ、ストレスのない生活の場の提供に努めた。また、ご家族には引き続き、オンライン面会や窓越し面会の実施やご利用者の日々の生活の状況について定期的に報告を行いご家族の方々にもストレスや不安を解消できるよう努めた。

リモート研修会の参加や内部研修による感染症の理解を深め、BCP(業務継続計画)、感染症マニュアルや業務の見直しを適宜行い感染対策の強化を行ってきた。2月に職員1名新型コロナウイルス感染症に罹患するも日々の感染対策の徹底により、他の感染者を一人も出さずに蔓延を防ぐことができた。

重点事業として掲げた、自立支援、重度化防止の取組では、口腔ケアについては、口腔プロジェクトフローチャートを活用し、食事摂取量がおちてきた利用者に対し早期介入を行い多職種で検討対応を行ってきた。スキンケア(褥瘡予防)についてはコロナ禍の影響で入浴ができない日があり、皮膚トラブルが増えたが、早期対応し、発生原因の分析、医療機関との連携を密に行うことで、悪化を防ぐことができた。

施設設備としては災害対策として緊急用水洗の取付を完了し、その他一般浴のリフト、機械室の貯水槽、洗濯機器等の修繕を適宜行った。

地元小学校への出前講座や小学生、保育園児の交流については、新型コロナウイルス感染予防の為、保育園(すくすく園)との世代間交流会は動画上映という形で行い、福祉出前講座については、神指小学校にて将来的な人材育成に繋がるよう努めた。また、地区において介護予防教室等へ講師派遣として出向いた。

利用率96.82%(空所型短期入所者・措置入所者含) ※目標利用率96.0%

2 介護老人福祉施設・特養保険者(出身地別)利用者状況(各月1日現在の在籍者)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
市町村													
会津若松市	92	92	90	92	91	90	90	91	90	91	90	90	1,089
会津坂下町	2	3	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	31
会津美里町	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	30
喜多方市	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	7
南会津町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
南相馬市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
浪江町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
合計(人)	99	100	98	100	99	98	100	101	100	100	99	99	1,193

3 介護老人福祉施設・特養利用者年齢別状況(令和4年3月31日現在)

年齢区分(歳)	~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100~	合計	最高年齢	最低年齢	平均年齢
性別													
男性	0	0	2	2	8	4	6	0	0	22	92	71	84.1
女性	2	2	2	5	15	23	18	10	0	77	99	60	86.5
合計(人)	2	2	4	7	23	27	24	10	0	99			86.0

4 介護老人福祉施設・特養入所利用期間(令和4年3月31日現在)

期間	1年未満	1~3年	4~6年	7~9年	10年~	合計(人)	平均期間(年・月)
性別							
男性	6	6	6	2	2	22	4年9カ月
女性	18	26	22	5	6	77	4年1カ月
合計(人)	24	32	28	7	8	99	4年3カ月

5 介護老人福祉施設・特養入退所状況(令和4年3月31日現在)

月	入所者状況(人)				退所者状況(人)			
	男性	女性	入所前状況(人)	計	男性	女性	退所理由(人)	計
令和3年4月	1	2	老健3	3	1	1	死去2	2
5月	0	1	老健1	1	1	2	死去1 契約解除2	3
6月	1	2	老健1 有料老2	3	0	2	死去1 契約解除1	2
7月	0	3	老健1 在宅2	3	0	3	契約解除3	3
8月	1	1	在宅2	2	0	3	死去2 契約解除1	3
9月	0	3	老健3	3	0	2	契約解除2	2
10月	1	1	有料老1 在宅1	2	1	1	死去2	2
11月	0	0		0	1	0	死去1	1
12月	0	2	在宅2	2	0	1	契約解除1	1
令和4年1月	0	0		0	0	1	契約解除1	1
2月	0	3	老健3	3	0	3	死去1 契約解除2	3
3月	1	3	老健2 GH1 サ高住1	4	0	5	死去1 契約解除4	5
合計	5	21		26	4	24		28

入所 在宅(7名)老健(14名)有料老(3名)GH(1名)サ高住(1名)

退所 契約解除(17名) 死去(11名)

6 介護老人福祉施設入所待機者数(令和4年3月31日現在)

令和3年4月1日～令和4年3月31日現在までの申込者数 204名 (男性70名、女性134名)

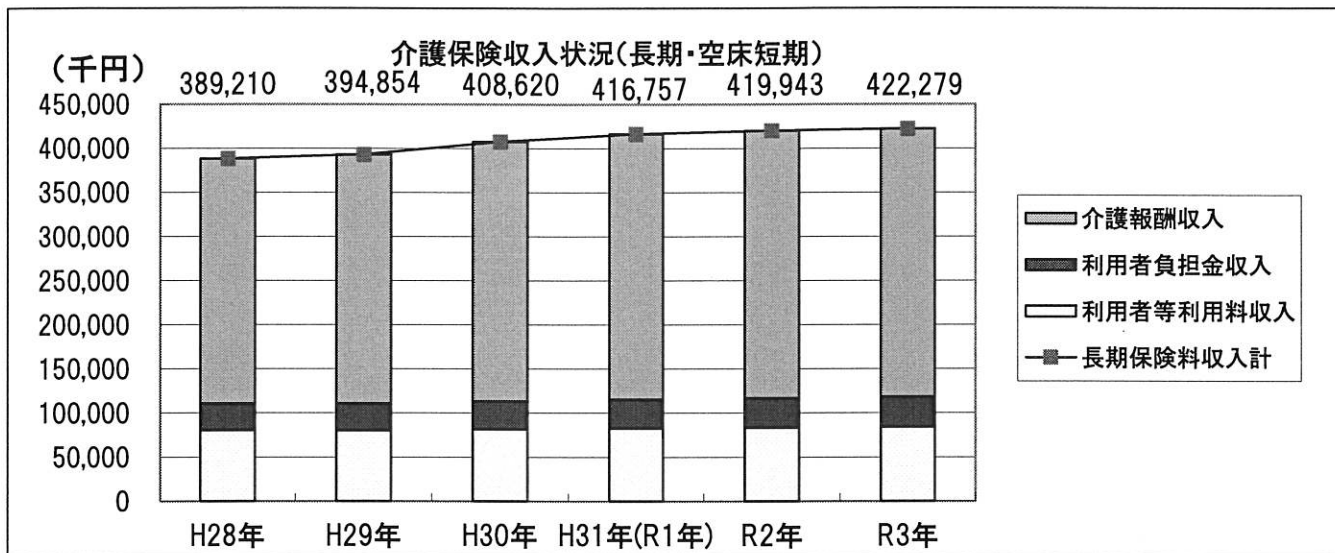
総待機者数478名(男性151名・女性327名)(前年比 +42名)

7 介護老人福祉施設・特養(空床型短期含)利用実績

月	当月利用者 延人数(人)	要介護区分										延日数 (日)	利用率		
		要介護1以下		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5					
		利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数				
合計	特養	1,210	35	977	36	1,095	253	7,356	460	13,276	426	12,382	35,086	96.82%	
	措置	10	3	76	0	0	0	0	7	180	0	0			256
	短期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
総合計	1,220	38	1,053	36	1,095	253	7,356	467	13,456	426	12,382	35,342			
											平均介護度	令和3年度	3.99		
												令和2年度	3.94		

8 事業運営の実績報告

① 介護老人福祉・特養施設事業状況

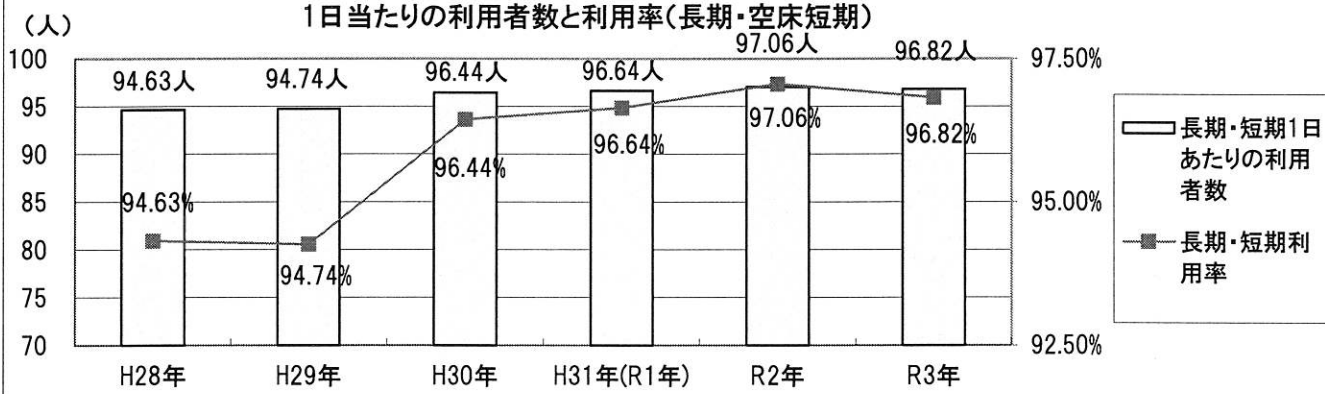


介護報酬の推移(長期・空床短期)

(円)

	H28年	H29年	H30年	H31年(R1年)	R2年	R3年
介護報酬収入	277,729,114	282,506,757	294,220,505	300,968,071	303,131,602	303,880,574
利用者負担金収入	30,116,427	30,398,220	31,671,721	32,762,892	33,448,753	34,134,741
利用者等利用料収入	80,478,455	80,259,212	81,644,654	82,660,317	83,363,287	84,263,979
長期保険料収入計	388,323,996	393,164,189	407,536,880	416,391,280	419,943,642	422,279,294
介護報酬収入	597,066	1,199,025	711,486	265,734	0	0
利用者負担金収入	218,120	134,591	130,303	29,525	0	0
利用者等利用料収入	71,320	357,020	241,500	71,160	0	0
空床短期保険料収入計	886,506	1,690,636	1,083,289	366,419	0	0
長期・短期保険料収入計	389,210,502	394,854,825	408,620,169	416,757,699	419,943,642	422,279,294

1日当たりの利用者数と利用率(長期・空床短期)



利用者数と利用率の推移(長期・空床短期)

(定員100人)

	H28年	H29年	H30年	H31年(R1年)	R2年	R3年
長期利用延べ日数	34,428	34,405	35,081	35,338	35,428	35,342
長期1日あたりの利用者数	94.32	94.26	96.11	96.55	97.06	96.82
長期利用率	94.32%	94.26%	96.11%	96.55%	97.06%	96.82%
空床短期利用延べ日数	113	176	118	35	0	0
長期・短期利用延べ日数合計	34,541	34,581	35,199	35,373	35,428	35,342
長期・短期1日あたりの利用者数	94.63	94.74	96.44	96.64	97.06	96.82
長期・短期利用率	94.63%	94.74%	96.44%	96.64%	97.06%	96.82%

※措置入所の収入及び延べ日数については、長期利用分に含む

9 事業経営成果

(1)総務・施設

重点目標	実施状況
<p>【安定した施設収入確保】</p> <p>安定した施設経営のために、介護報酬改定に伴う加算の要件・LIFE(注釈1)について内部勉強会で情報共有を図り、加算取得に向けた取り組みを行なう。</p>	<p>新規加算取得は実施したが、職員に対する加算要件やLIFEに対する内部勉強会は、業務都合が合わず実施できなかった。来年度の目標に引き続き挙げ実施していきたい。</p>
<p>【災害対策】</p> <p>災害対策として受水槽緊急用水栓の取付を行なう。</p>	<p>令和4年2月に緊急用水栓の取付を完了した。</p>
<p>【感染拡大防止対策】</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、感染対策物品の安定供給と適正な在庫管理を図る。</p>	<p>感染対策物品の在庫管理を定期的に行った。また、価格調査も適時行ない、価格上昇前に在庫確保できるように努めた。</p>

注釈1 科学的介護情報システム(データの提出とデータ解析によるフィードバックの活用によって、科学的に裏付けられた介護の実現を目指し、ケアの質の向上を図る事が目的)

(2)生活相談

重点目標	実施状況
<p>【安定した利用率】</p> <p>①欠員が生じてから新規入所者を迎えるまでの期間、2週間以内を目標とします。②入所待機者の現況調査を随時行います。また、新介護ソフトの「入居判定システム」へデータ移行し、活用していきます。③待機者の実調を早め早めに行い、実調済の方が常時いるようにし、入所に関する書類も早めに送付します。</p>	<p>前年度は欠員日数の平均が22.4日だったが、今年度は12.8日と、空床期間を短縮することが出来た。今後も早めの実態調査を行い、いつでも入所していただけるような準備をご家族や関係機関も含めて行っていく。介護ソフトの「入居判定システム」の活用は不十分である為、令和4年度は引き続きデータの入力と更新の作業を行っていききたい。</p>
<p>【利用者・ご家族・地域から信頼を得るサービス】</p> <p>①インテーク(初回面接)を担当する係として、日頃から話しかけやすい雰囲気作りと丁寧な説明を行います。新型コロナウイルスの感染対策の為、電話にての相談受付も多くなっており、顔が見えない中での対応であることを意識し、声のトーン等に気を付けて対応します。(施設入所者だけでなく、関係機関や行政とのやり取り、入所申込の相談等)また、インターホンへの素早い来客対応を行っていきます。②入所にあたって、利用者(ご家族)が安心して生活できるように、わかりやすい生活の手引書等(生活のしおり)を作成します。</p>	<p>令和2年4月から新規入所される方には、職員の顔写真入りの紹介用紙をお渡しし、担当者がわかりやすいようにした。また、話しかけやすい雰囲気作りや相手の方に不快感を与えないように説明や挨拶を行ってきた。また、入所に関するしおりを作成した。</p>
<p>【地域ニーズに対する貢献活動】</p> <p>①地域貢献活動を行います。②利用者の楽しみ支援として、ボランティアさんについても動画を撮影させていただき、ホーム内で上映会が出来るように働きかけます。</p>	<p>新型コロナウイルス感染予防の為、保育園(すくすく園)との世代間交流会は動画上映という形で行った。また、福祉出前講座については、神指小学校にて行い、将来的な人材育成につながるよう努めた。利用者の楽しみ支援として、ボランティアさんの動画撮影を考えてはいたが、実施することは出来なかった。市初任者研修についても、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、教育委員会と協議し受け入れを中止した。</p>

①ボランティア受入れ状況 ※新型コロナウイルス感染症予防対策の為、ボランティアの受け入れを縮小・代替する。

月	ボランティア機関(内容)	月	ボランティア機関(内容)
4月	なし	10月	なし
5月	なし	11月	北会津ホテルの里そば倶楽部(新そば会) 12日
6月	なし	12月	なし
7月	なし	1月	すくすく園世代間交流会(動画上映) 18日・20日
8月	なし	2月	なし
9月	なし	3月	なし

(3) 栄養・調理

重点目標	実施状況
<p>[個々の状態・ニーズに添った食事提供と栄養状態の維持]</p> <p>①利用者の細かなニーズを多職種で共有し、全ての利用者が満足できる食事提供に努めます。</p> <p>②毎日の食事が楽しみに感じられるよう、季節感を取り入れ、見た目にも楽しめる食事作りに努めます。</p> <p>③多職種と協力し、食事形態の見直しや新メニューの開発を行うことで、食事量の安定を図ります。</p>	<p>①多職種と協力しながら、利用者の細かなニーズ(好き嫌い・味付け等)に対応できた。下半期はコロナ感染症対策の中で、居室で食事をするようになり、お話しを聞く機会が減ってしまった。</p> <p>②施設全体の行事食(秋祭り、お花見弁当)や暦の行事に合わせて、食事作りを行った。Café みどりでも季節に合わせたお菓子を作り、提供することで利用者の皆さまにも好評だった。</p> <p>③新メニューの開発は栄養士と調理員で新メニューのアイデアを出し合い、何種類かを毎日の献立に反映できた。</p> <p>食事形態の見直しについては、口腔プロジェクト委員会で話し合うことができたが、全利用者の食事形態の見直しは実施できなかったため、次年度も継続していく。</p>
<p>[安心・安全・安定の食事提供]</p> <p>①小さな事例もヒヤリハット報告することで、リスク管理意識を高め、配膳ミス・異物混入ゼロに努めます。</p> <p>②毎月清掃チェック表の担当者が責任をもって清掃することで、厨房内の衛生管理に努めます。</p> <p>③緊急時にも安定した食事が提供できるよう、マニュアルの周知・勉強会を実施します。</p>	<p>①ヒヤリハット1件(異物混入)事故報告3件、いずれも係内で情報を共有し、再発はみられていない。</p> <p>②毎月の清掃チェックが甘くなっており、清掃が出来ていないところも多かった為、清掃チェック表の担当表の見直しを行った。また日課表の通りに業務を行うように再度徹底し、清掃時間を設けるよう努めた。</p> <p>③災害時・緊急時のBCPマニュアルの見直しを行い、6月に勉強会を実施した。</p>
<p>[職員の意識向上]</p> <p>①毎月1回栄養会議を行い、現在の経営状況や業務効率化について話し合います。</p> <p>②外部研修や勉強会に積極的に参加します。また、食事や衛生管理についての内部研修を開催します。</p>	<p>①4月、11月、12月、1月と年に4回しか実施できなかった。次年度は毎月実施できるように、第1週の水曜日に日時を決めて実施する。</p> <p>②施設内の勉強会に積極的に参加できた。また、1月に食中毒についての内部研修を開催したが、感染症対策の為開催日時が減り、サイボウズ(社内メール)で確認してもらえるように資料提示を行った。</p>
<p>[地域に向けての情報発信]</p> <p>①包括支援センター主催の地域活動への参加・広報誌(みどりのたより)に栄養指導や献立の記事を掲載する等で情報を発信します。</p>	<p>①包括支援センターから講師の依頼はなかった。広報誌は119号の紙面に、栄養士からのおすすめのレシピを記事に掲載してもらった。</p>

① 栄養管理状況(食事の状況)

			(令和3年3月31日現在)		(令和4年3月31日現在)		
			食事数	割合(%)	食事数	割合(%)	
主食	ごはん・軟飯	副食	常食	17	17.0%	14	14.0%
			一口大刻み食	8	8.0%	11	11.0%
			刻み食	13	13.0%	9	9.0%
			極刻み食	3	3.0%	0	0.0%
			ソフト食	3	3.0%	4	4.0%
主食	お粥	副食	常食	3	3.0%	1	1.0%
			一口大刻み食	0	0.0%	0	0.0%
			刻み食	13	13.0%	12	12.0%
			極刻み食	3	3.0%	6	6.0%
			ソフト食	21	21.0%	25	25.0%
		ミキサー食	5	5.0%	5	5.0%	
流動食(経管栄養)			流動食	11	11.0%	12	12.0%
合計				100	100.0%	99	99.0%
特別食			(腎臓病食)	0	0.0%	0	0.0%
			(脂質異常症食)	0	0.0%	0	0.0%
			(糖尿食)	10	10.0%	8	8.0%
			(減塩食)	5	5.0%	6	6.0%

② 食事行事の状況

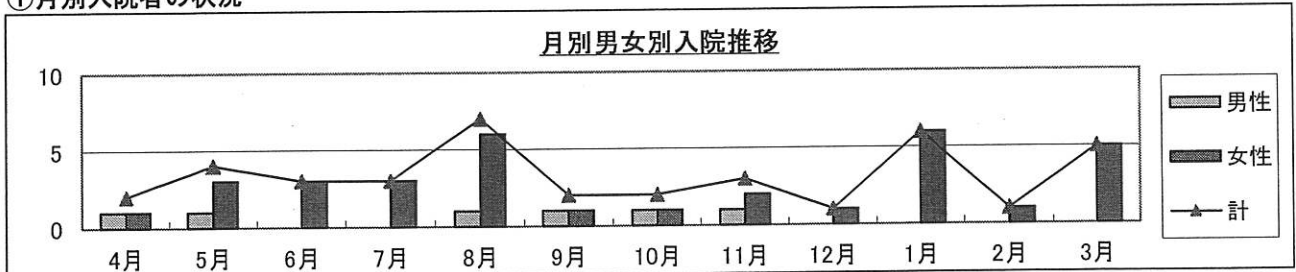
行事名	食事内容
秋祭り大会	飾りいなり寿司、板かまと吸物、秋野菜の天ぷら、春菊の白和え、抹茶パバロア 【屋台メニュー】から揚げ棒、たこ焼き、チョコバナナ、ミニドーナツ、大学芋風ムース、たこ焼きムース、わたあめ
クリスマス会	手毬り寿司(3種:マグロ・ほたて・えび)、中華三色粥、かぶのポタージュスープ、チキンガーリックステーキ、トナカイかぼちゃサラダ、茶わん蒸し
誕生会	【松花堂弁当】利用者の誕生日の昼食に聞き取りした希望の献立を提供・チョコメッセージ付のいちごのショートケーキ・プリン・生菓子
希望食(毎月1回)	にぎり寿司・かんぴょう巻・チャーハン・焼きそば・オムライス・ソースカツ丼・おはぎ・散らし寿司・ステーキ・豚肉の生姜焼・焼き肉・冷やし中華・刺身盛合せ・しょうゆラーメン・海鮮丼・エビフライ・中華丼・ねぎとろ・牛丼・鶏の唐揚げ・焼き魚・煮魚・うなぎ蒲焼・天津飯・おでん・ピザ・グラタン・揚げなす
Café みどり	4月:桜杏仁豆腐、7月:あじさい水羊羹、8月:屋台みどり(たこ焼き、柔らかいか焼、チョコバナナ)、10月:おばけかぼちゃプリン、おばけチョコ蒸しパン、11月:おでん屋台、1月:おもちゃ風おはぎ(あんこ、みたらし、のり)、お餅風ゼリー、2月:いちごプリン

(4)看護

重点目標	実施状況
<p>【安定した稼働率に向けて】</p> <p>①協力病院、嘱託医師の指示の下、体調管理を行う。 ②個々の基礎疾患を踏まえ、他職種と情報を共有しケアを実施する。 ③家族や本人の意向に沿った生活が可能な限り送れるよう支援する。</p>	<p>①適宜に協力病院と連携を図りながら異常の早期発見に努め、利用者の重症化防止に努めた。 ②利用者の持つ疾患を共通理解し多職種と連携を図り症状出現を最小限にとどめるよう努めた。 ③多職種、医療機関と連携を図り可能な限り意向に沿った生活の支援ができるよう看護に努めた。</p>
<p>【利用者・ご家族・地域から信頼されるサービスに向けて】</p> <p>①感染プロジェクト委員会を通じ、日々の感染予防を実施する。 ②来訪者にも感染予防に協力いただけるよう働きかける。 ③新しい情報を収集し職員への周知を行う。また、内部研修で実践研修を行い職員のスキルアップを図る。</p>	<p>①感染対策チェックシートを活用し、実施状況について定期的に確認を行った。また、適宜対応方法について介護職や他部署と検討を行い予防に努めた。 ②施設として、電話や書面にて感染対策についての協力依頼を行った。 ③毎月の感染委員会内では感染状況などについて周知し、また、内部研修ではマニュアルの確認を繰り返し行い、PPE(個人防護具)着脱などのシミュレーション訓練を行った。</p>
<p>【口腔機能の維持に努める】</p> <p>①「食べる楽しみ」が維持できるよう多職種と連携を図る。 ②歯科医師、衛生士の指導、助言を基に他職種共同で口腔機能の維持を図る。 ③年齢的な問題から、徐々に食事が摂れない状態になった時にはアセスメントを行い個別ケアを実施する。</p>	<p>①口腔プロジェクトフローチャートをもとに、食事摂取量が落ちてきた利用者に対し早期介入を行ってきた。 ②月1回の嘱託歯科医師の勉強会と回診時の医師の指示の下、ケアを実施したことで適切なケア提供ができています。 ③①同様に早期介入を行ってきた。担当介護職員、プロジェクトメンバーと連携を図りながら対応した。</p>
<p>【褥瘡予防に努める】</p> <p>①スキンケア委員会を通じて褥瘡予防を実施する。 ②日頃から状態観察を行い、早期の発見に努め、他職種協同で早期ケアを実施する。 ③褥瘡に関する内部研修を開催し職員のスキルアップを図る。</p>	<p>①褥瘡予防に取り組んできたが、褥瘡になってしまった方がいた。それぞれ受診、薬の使用等で完治する。 ②コロナ禍の影響で入浴出来ない日があり、皮膚トラブルとなる利用者の方が例年より多くなってしまった。早期対応を行い、ほとんどのケースは悪化に至らなかった。 ③スキンケア委員が講師となり5月、7月に洗浄と爪切りに関しての内部研修を実施した。</p>
<p>【人材育成】</p> <p>①喀痰吸引実地研修を開催する。 ②医療に関わる内部研修を計画的に開催する。</p>	<p>①1名の介護職員の実地研修を終了する。 ②救命救急(5月)医行為・看取り(10月)に関する内部研修を看護担当で実施した。</p>
<p>【チーム力を高める】</p> <p>①利用者の声に耳を傾け、一人ひとりのニーズに寄り添った看護を行う。 ②困難事例に対しチームで考え、その方にとって最良の看護を提供する。 ③職員間のコミュニケーションを大切に、明るい雰囲気のあるチームを作る。</p>	<p>①日々の状態観察を怠らず、検温や処置等の機会には利用者様とのコミュニケーションを図るよう心がけた。 ②係内で検討、相談し解決に向け取り組んできた。また、場合によっては多職種にも相談し対応できるよう努めた。 ③報連相が欠ける事もあったが、各々職員の意見が尊重されるよう看護会議やミーティング内で話をし風通しの良い環境が作れるよう努めた。</p>

利用者状況

①月別入院者の状況



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性(人)	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	6
女性(人)	1	3	3	3	6	1	1	2	1	6	1	5	33
計(人)	2	4	3	3	7	2	2	3	1	6	1	5	39

②入院期間の状況

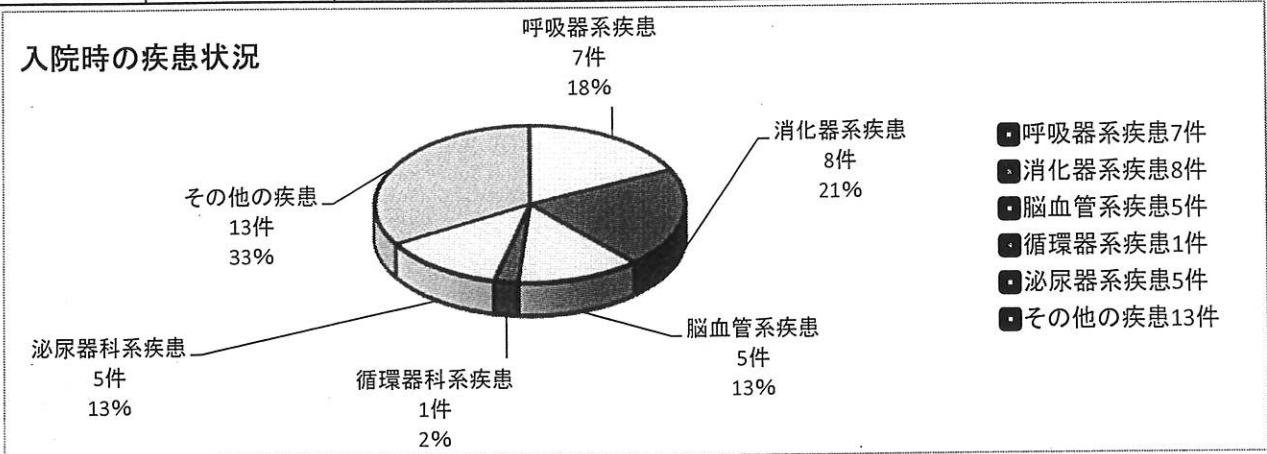
入院期間	男性		女性		合計	
	人数	日数	人数	日数	人数	日数
1日～7日	0名	0日	7名	35日	7名	35日
8日～14日	1名	14日	6名	67日	7名	81日
15日～30日	4名	88日	14名	280日	18名	449日
31日～60日	1名	55日	5名	218日	6名	273日
61日～90日以上	0名	0日	1名	70日	1名	70日
合計	6名	157日	33名	670日	39名	827日
平均入院日数	21.2日				令和2年度 39人 735日	

③要介護度別入院者状況

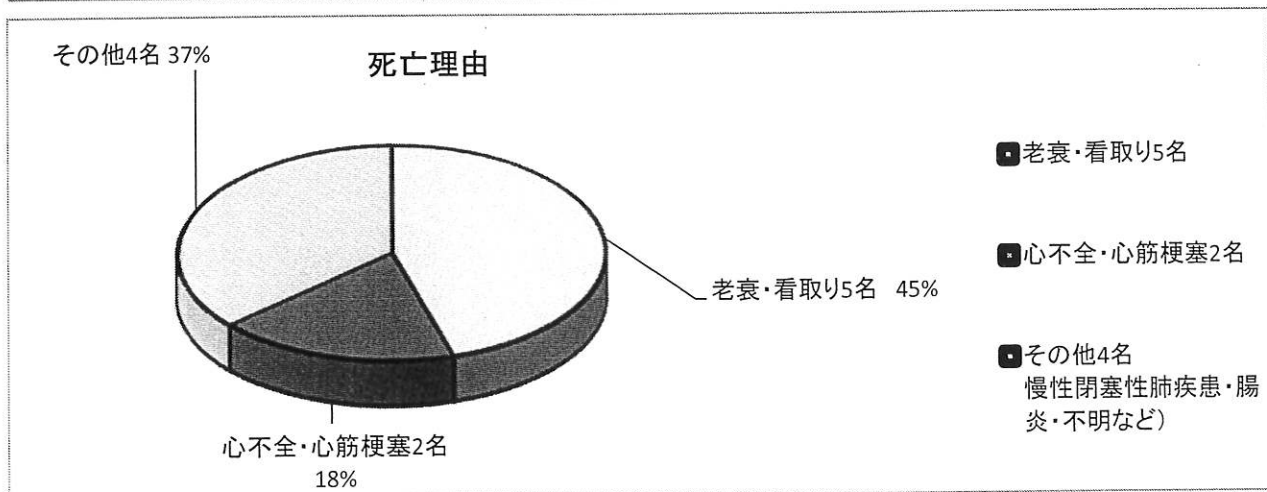
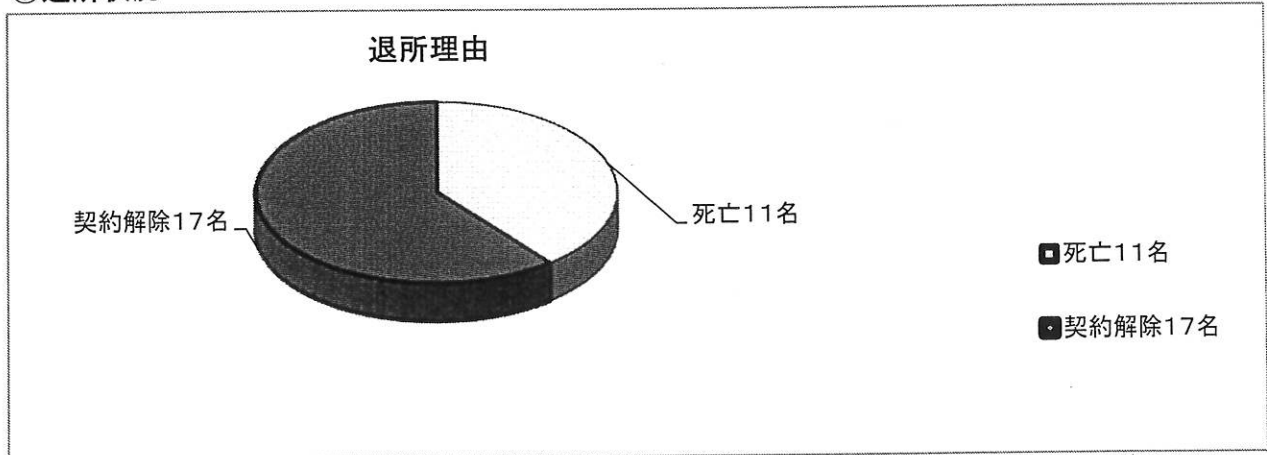
	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
男性	0人	0人	3人	1人	2人	6人
女性	2人	0人	5人	15人	11人	33人
計	2人(5%)	0人(0%)	8人(21%)	16人(41%)	13人(33%)	39人

④入院時の主な疾患(一度の入院で複数病名がつく場合があります。)

原因疾患	呼吸器系疾患	消化器系疾患	脳血管系疾患	循環器系疾患	泌尿器系疾患	その他
件数	7	8	5	1	5	13



⑤退所状況



(5) 介護

重点目標	実施状況
<p>[日常生活支援]</p> <p>①コロナ禍において、感染症予防対策を強化し施設内での感染症発生の予防、拡大を防止する。</p> <p>②引き続き、自立支援ケア(排泄・口腔機能維持・認知症ケア等)の取り組みを継続的に行っていく。また、褥瘡の予防ケアにも力を入れ、健康で生き生きとした生活を送って頂けるよう支援する。</p> <p>③居室担当が中心となり、利用者の細やかな情報まで発信し快適な生活出来るようなチーム(グループ)を作っていく。また、ご家族との情報交換を密にし利用者様の生活支援に生かしていく。</p> <p>④活動制限によるストレス緩和の為、十分な感染対策の基に行える活動や催し物を企画する。また、ご家族とのLINE通話や窓越し面会も行って頂く。</p>	<p>①業務中のマスク・フェイスシールドの着用や手指のアルコール消毒・1時間毎の換気など標準予防対策を徹底し、感染症の予防に努めた。その結果、令和3年2月に職員1名が新型コロナウイルス感染症に罹患するも、施設内で蔓延することなく収束する事が出来た。</p> <p>②スキンケア・口腔プロジェクトの取り組みを継続して行っている。その結果、利用者の変化(食事量の低下や皮膚状態の悪化など)に早い段階で職員が気づき、症状が悪化する前に対策を取る事が出来た。</p> <p>③毎月1回のご家族への状態報告の電話や窓越し面会の時には、利用者の生活状況をご家族に伝える事が出来た。</p> <p>④ご家族・利用者の希望に沿ってLINE通話や窓越しでの面会を実施した。また、感染症対策を十分に行った上で、10月には秋祭り・12月にはクリスマス会など施設全体行事を行う事が出来た。グループ単位での行事においても、季節毎に実施し、利用者から好評を得る事が出来た。</p>
<p>[地域参加]</p> <p>①今年度も感染症の状況を見ながら地元小学校に出向き、福祉への理解が深まるよう福祉学習会を開催します。</p> <p>②保育園や小学校と世代間交流を行う。(感染症の状況によってはビデオ録画やオンライン中継など間接的な交流会を企画する。)</p>	<p>①令和3年11月には神指小学校へ出向き福祉出前講座を行った。(昨年に引き続き神指小は第4地域包括支援センターと共同して認知症サポーター養成講座を実施)</p> <p>②新型コロナウイルス感染症の影響により直接的な交流は行っていない。代わりに同法人保育園(すくすく園)にご協力を頂き、園児達のお遊戯や演奏会の様子を映像に収め、利用者に見て頂いた。</p>
<p>[人材育成]</p> <p>①介護の専門性を高める為、定期的な勉強会を行う。</p> <p>②新入職員が安心して仕事を覚えられるようプリセプター制度を継続し、職員の定着を図る。また、指導育成プログラムを使用し、職員の技術の可視化を図り全体的に係の底上げを目指す。</p> <p>③働きやすい職場環境を目的に、ICT化(業務の効率化)を図り介護負担の軽減に繋がるような介護ロボットや介護補助用具(離床センサー等)の導入も積極的に行う。</p>	<p>①感染プロジェクトを中心にコロナウイルス対策に関しての勉強会(コロナウイルス感染症の基礎知識やPPE(個人防護具)の脱着方法等)を開催し、感染対策についての理解と意識を深める事が出来た。また、褥瘡予防に関する勉強会も適宜開催した。</p> <p>②新入職員に対し、プリセプター制度を活用(介護職員育成プログラムを使用)し人材育成を図った。計画的に指導・育成し、着実に成長している。</p> <p>③新規入所や退院等で状態変化が著しい利用者については、離床センサーを導入し、より安全かつ効率的に業務が行える環境を整備している。また、眠りScan(注釈1)を20台導入し、職員の精神的負担の軽減や更なる業務効率に繋がるよう進めている。</p>

注釈1 マットレスの下に設置したセンサーにより、体動、呼吸、心拍等を測定し、睡眠状態を把握するもの。

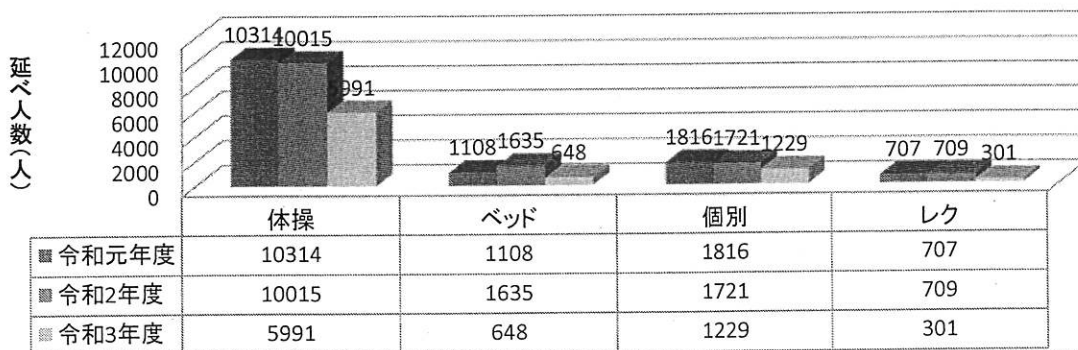
(6)機能訓練

重点目標	実施状況
<p>(適切なサービス提供)</p> <p>①ADL(日常生活動作)の評価指標であるBarthel Index(※)にて定期的な評価を実施していくことで、利用者様の的確な状態把握と適切なサービス提供を実施していきます。</p> <p>※Barthel Index(バーセル・インデックス)は、食事、移乗(車椅子・ベッド間)、整容、トイレ動作、入浴、歩行、階段昇降、着替え、排便、排尿の10項目の生活動作を100点満点で採点するものです。</p> <p>②利用者様の身体状況に合った訓練(立位訓練や歩行訓練等の運動療法、メドマーやホットパック等の物理療法など)を適宜選択し、実施していくことで日常生活動作、身体機能の維持・改善に貢献していきます。</p>	<p>①Barthel Index(※)による評価は、令和3年4月時点で全利用者を対象に行なっており、8月からは毎月更新を開始した。ADLにおける客観的な指標となるため経過が把握しやすくなり、適切なサービス提供に繋げることができた。</p> <p>②他職種から情報を収集することで、利用者の身体状況に合った適切な訓練を実施し、身体機能や認知機能、利用者の日常生活動作の維持・改善に努めた。機能訓練指導員の人員が減ったことや、感染症対策の影響により、ベッドリハや個別機能訓練の回数や参加者数は減少したが、リハビリを行なうタイムスケジュールを工夫することにより、1回平均の数値の極端な減少は抑えることができた。来年度は、実施回数や参加者数の底上げを図りたい。</p>
<p>(生活環境の設定)</p> <p>①利用者様が安心・安全な生活を継続していくために、一人ひとりの身体状況に合わせた車いすの選定を実施していきます。また、計画書の更新に合わせて定期的に車いすの再評価を実施していきます。</p>	<p>①利用者の身体機能や認知機能に合わせた車椅子を選定することで、安心・安全な生活の継続に貢献した。また、計画書の更新時や身体機能等に変化があった場合は随時状態を評価し、多職種で情報の共有と対応の検討を行なうことで、車椅子の選定だけでなくシーティング・ポジショニング等の生活環境の設定にも取り組むことができた。</p>
<p>(みどり学校・おはよう体操)</p> <p>①心身の活性化のために、利用者様が楽しめる集団リハビリを感染対策に留意しながら実施していきます。</p> <p>②認知機能の低下を予防するために、みどり学校を週二回開催するグループを作り、みどり学校の開催頻度を増やしていきます。</p>	<p>①感染症対策により集団での体操を実施しない期間はあったが、実施した際は楽しく参加して頂き、心身の活性化を促すように努めた。また、感染症対策による居室対応下での体操の実施方法について検討し、令和4年3月から開始した。</p> <p>②感染症対策により参加者数は減少したが、問題の内容や配布の仕方等の工夫をしながら開催し、認知機能の低下予防に努めた。週の中で二回の開催は、開催できた場合もあったが、安定して開催することはできなかった。来年度も感染症対策に留意しながら、利用者のニーズに合わせて開催していきたい。</p>

①機能訓練実施状況

	項目	年回数	月平均(回)	令和2年度			1回平均(人)		令和3年度			1回平均(人)			
				男	女	合計			男	女	合計				
令和2年度	体操	172	14	2,125	7,890	10,015	58	令和3年度	体操	104	9	1,379	4,612	5,991	58
	ベッドリハ	207	17	290	1,345	1,635	8		ベッドリハ	110	9	170	478	648	6
	個別機能訓練	205	17	445	1,276	1,721	8		個別機能訓練	169	14	289	940	1,229	7
	レククラブ	123	10	154	555	709	5		レククラブ	64	5	64	237	301	5

機能訓練参加人数(推移)



②機能訓練実施内容

おはよう体操	(月～金)	:準備体操・指の運動・リズム体操 ※感染症対策に留意し、体操の内容修正やマイクの使用、距離間の工夫等を行なっている。
ベッドリハビリ	(月～金)	:関節可動域訓練・ストレッチ・姿勢保持訓練(端座位・座位保持) ・ベッド上のポジショニング・寝返り動作訓練・起き上がり動作訓練
個別機能訓練	(月～金)	:車椅子自操訓練・車椅子上のシーティング・ホットパック・メドマー ・立位訓練・歩行訓練 ※ケアプランに基づき実施
レククラブ	(月～金)	:みどり学校(計算問題、塗り絵等)・作業訓練(巧緻動作)
その他		:身体評価・ADL評価・機能訓練カルテの作成・機能訓練計画書の作成 ・生活における福祉用具の検討や環境設定の検討等

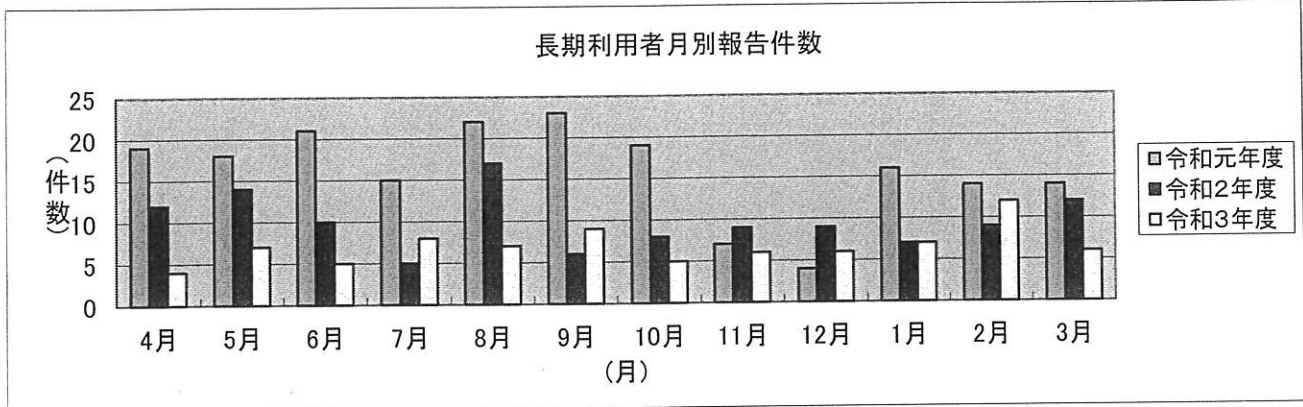
10 年間行事報告

月	全体行事	日	グループプレク活動							
			第1(虹)	日	第2(団らん)	日	第3(和楽)	日	第4(太陽)	日
R3 4	カフェみどり 観桜会	7日 16日							お花見茶話会	23日
5					母の日	12日				
6					父の日会	21日	お菓子作り	25日		
7	ゲーム大会 カフェみどり	24日 29日	暑気払い	17日					七夕会	7日
8	カフェみどり 出前昼食会 スイーツビュッフェ	2日 18日 20日	アイスクリームパーティー	23日						
9	秋祭り	11日	ミックス ジュース作り	17日	パンケーキ作り	12日	敬老会	24日		
10	アロマ会 カフェみどり 喫茶	6日 12日 22日	ハロウィンパーティー	13日	ハロウィンパーティー	31日	ハロウィン パーティー	31日	ハロウィン パーティー	13日
11	新そば祭り カフェみどり 美容	12日 18日 22日	さつまいも パーティー	20日	スイートポテ パーティー	19日	焼き芋パーティー	18日	芋煮会	25日
12	ゲーム大会 クリスマス会 生け花	15日 22日 30日			クリスマス会	26日	クリスマス会	17日	クリスマス会	17日
R4 1	初釜 カフェみどり 団子さし 歳の神 映画会	1日 7日 12日 14日 24日			新年会	19日				
2	カフェみどり	28日							バレンタイン	25日
3			作品作り	1日			おしるこ パーティー	27日	弥生会	30日
ボ ラ ン テ ィ ア 他 行 事	【他行事】 ・防災訓練(毎月1回) ・希望昼食会(毎月1回) ・対話会(毎月1回) ・睦会(食事対話会)(グループ単位で月1回)		【ボランティア】 ※新型コロナウイルス感染予防対策として中止とした。 ・喫茶クラブ(サークルすずらん様) ・会津若松市赤十字奉仕団神指分団							

11 事故報告集計

①月別事故報告件数

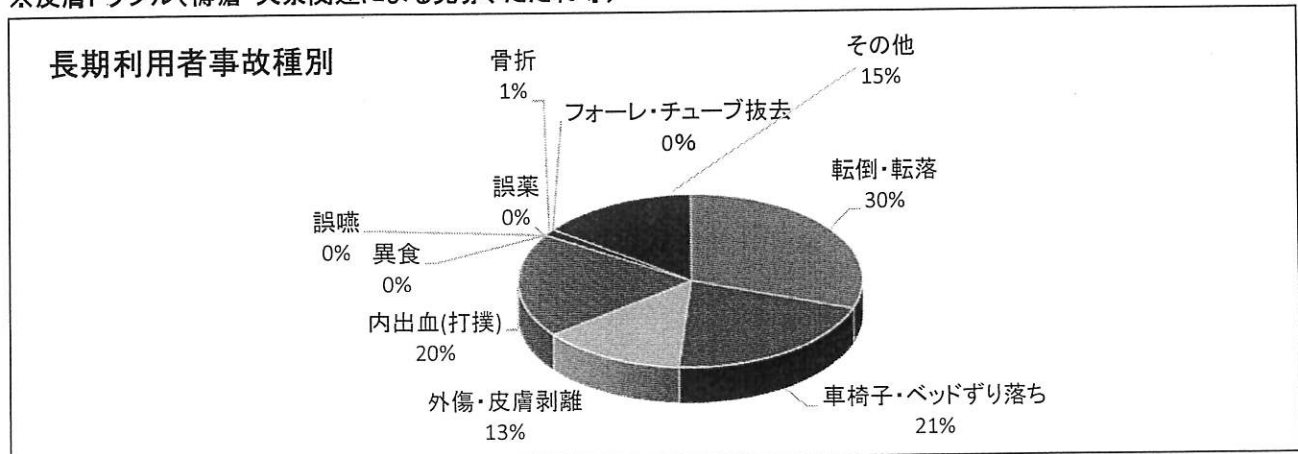
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(件)
令和元年度	19	18	21	15	22	23	19	7	4	16	14	14	192
令和2年度	12	14	10	5	17	6	8	9	9	7	9	12	118
令和3年度	4	7	5	8	7	9	5	6	6	7	12	6	82



②長期利用者事故種別

事故種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(件)
転倒・転落	1	3	2	2	1	4	1	2	3	0	4	2	25
車椅子・ベッドぐり落ち	0	1	0	2	4	0	1	2	0	4	2	1	17
外傷・皮膚剥離	1	1	1	1	1	3	0	0	0	1	1	1	11
内出血(打撲)	1	1	1	2	0	0	2	2	0	1	4	2	16
異食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨折	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
フォーレ・チューブ抜去	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	1	1	1	2	1	0	2	1	1	0	12
事故合計	4	7	5	8	7	9	5	6	6	7	12	6	82
ひやりハット合計	3	3	3	2	8	1	1	2	6	2	3	2	36
皮膚トラブル	17	15	19	10	12	9	12	1	3	5	15	8	126

※皮膚トラブル(褥瘡・失禁関連による発赤、ただれ等)



12 サービス評価(施設運営チェック)自己評価の結果について

年度	基本理念	人権の尊重	自立性主体性	アセスメントケアプラン	食事	入浴	排泄	整容・清潔	ターミナルケア	健康管理	衛生管理	機能回復訓練	レクリエーション
平成29年度	5	5	5	5	4.75	5	4.5	4.75	5	5	5	5	5
平成30年度	5	5	5	5	4.75	5	5	4.75	5	5	5	5	5
令和元年度	5	5	5	5	4.75	5	5	4.25	5	4.71	5	5	5
令和2年度	5	5	4.4	5	4.75	5	5	4.75	5	4.71	5	5	5
令和3年度	5	5	4.4	5	4.5	5	4	4.75	5	4.71	5	4.3	5

年度	移動	認知症高齢者	事故防止対策	災害対策	災害予防	ボランティア	他機関連携	広報情報開示	実習生	職員管理	事業計画基本方針	会計処理
平成29年度	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
平成30年度	5	5	5	5	5	4.5	5	5	5	4.8	5	5
令和元年度	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.8	5	5
令和2年度	4.5	5	5	5	4.6	4.5	4.3	5	5	4.8	5	3
令和3年度	5	5	5	5	4.6	4.5	4.3	5	5	5	5	5

(評価内容)抜粋

食事	感染対策の為、お部屋で食事をする事が多くなっており、美味しく楽しく食べる雰囲気作りが不十分であった。季節感を感じるような装飾をしていく。
機能回復訓練	新型コロナウイルス感染拡大防止の為、おはよう体操の実施を控えている期間があった。心身機能の活性化を図るために、他職種からの協力も得ながら、実施の機会を確保していきたい。

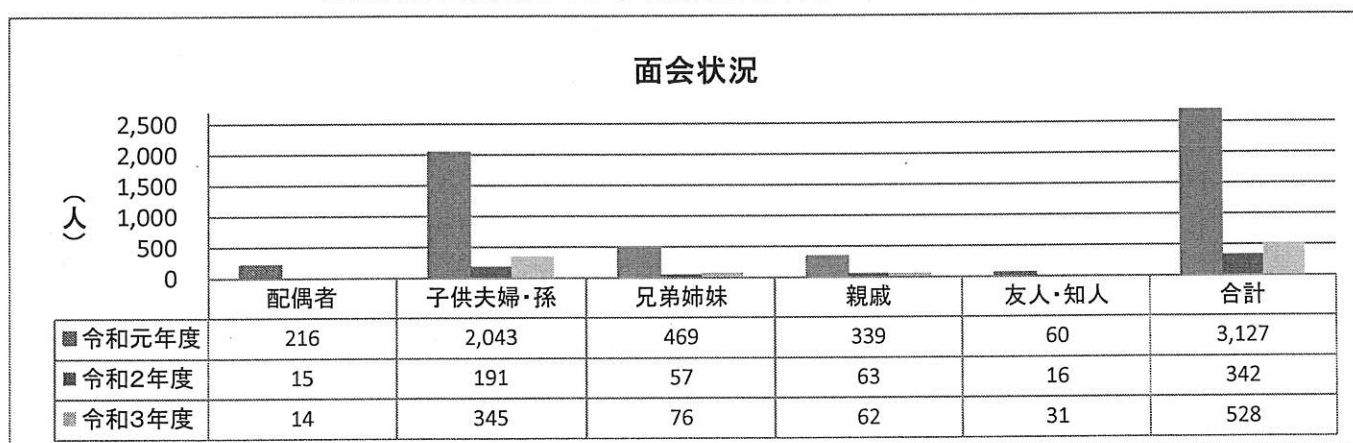
13 実習、見学受入れ状況

NO	実習依頼機関	人数	実習内容	延日数	実習期間	備考
1						
2	新型コロナウイルス感染症対策として、実習、見学を中止した。					
3						
4						
	合計	0		0		

14 面会状況(窓越し面会)

面会者 月	配偶者	子供夫婦・孫	兄弟姉妹	親戚	知人・その他	合計(人)
4月	4	31	7	5	2	49
5月	3	25	6	2	2	38
6月	4	33	10	4	2	53
7月	3	34	7	7	2	53
8月	0	33	6	6	4	49
9月	0	33	8	5	2	48
10月	0	24	9	9	4	46
11月	0	36	8	5	2	51
12月	0	39	5	9	6	59
1月	0	27	3	6	2	38
2月	0	7	1	1	0	9
3月	0	23	6	3	3	35
合計(人)	14	345	76	62	31	528

※面会は直接対面ではなく窓越し面会、または、オンライン(21件)による面会



15 外出・外泊状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外出泊者合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

16 介護職員初任者研修事業

応募人数	
受講者数	研修会は特養施設内実施の為、新型コロナウイルスの感染を考慮し開催を中止。
受講期間	
受講料	
採用者数	

17 職員研修受講状況

(1)特別養護老人ホーム施設内研修

研修受講人数:延べ704人

研修名	研修内容	研修月日	受講人数	場 所
施設内部研修 (4月)	・感染予防の基礎知識とマニュアルの説明 担当:感染プロジェクト	4月19～6月4日 (7日間)	90人	会津みどりホーム 多目的ホール
施設内部研修 (5月)	・緊急時の対応について 「食事中の窒息に対する異物除去と 心肺蘇生法術」 担当:看護係	5月13～6月25日 (5日間)	29人	会津みどりホーム 静養室
施設内部研修 (7月)	・個人情報保護、苦情解決制度 ・職員倫理について 担当:総務係	7月9～27日 (5日間)	114人	会津みどりホーム 多目的ホール・ リモート
施設内部研修 (8月)	・褥瘡予防について事例検討 担当:スキンケア委員会	8月5～31日 (6日間)	31人	会津みどりホーム 多目的ホール
施設内部研修 (8月)	・排泄マニュアルについて 担当:スキンケア委員会	8月16～28日 (5日間)	32人	会津みどりホーム 多目的ホール
施設内部研修 (9月)	・身体拘束の適正化について ・身体拘束について 担当:生活相談係	9月27日～10月27日 (6日間)	91人	会津みどりホーム 多目的ホール
施設内部研修 (10月)	・感染予防の基礎知識とマニュアルの説明 担当:感染予防プロジェクト	10月28～30日 (3日間)	60人	会津みどりホーム 多目的ホール
施設内部研修 (11月)	・高齢者虐待防止について 担当:生活相談係	11月15～22日 (5日間)	54人	会津みどりホーム 多目的ホール・ リモート
施設内部研修 (12月)	・看取り、医行為について ・移乗動作と腰痛予防について 担当:看護係・機能訓練係	12月2日～10日 (5日間)	41人	会津みどりホーム 多目的ホール・ リモート
施設内研修 (1月)	・食中毒について 担当:栄養調理係	1月25日～27日 (3日間)	29人	会津みどりホーム 多目的ホール・ リモート
施設内研修 (2月)	・リスクマネジメントについて 担当:みどりデイサービス	1月25日～27日 (3日間)	37人	会津みどりホーム 多目的ホール・ リモート
施設内研修 (3月)	・介護力向上について 担当:介護係	3月28日～31日 (3日間)	28名	会津みどりホーム 介護者教育室
口腔ケア 勉強会	・口腔の粘膜免疫システム ・口腔ケアで感染予防 ・肺炎のチェックポイント ・抜歯について ・口腔粘膜ケアについて ・歯間ブラシについて ・口腔ケアに拒否がある人へのケア ・正しい歯の磨き方 ・口腔機能の維持について ・顎骨壊死について ・摂食嚥下障害について ・口腔ケアのポイント 担当:介護係 講師:石田中央歯科 石田 高俊 氏	4月～3月 (全11回)	68人	会津みどりホーム 介護者教育室

(2)職員研修受講状況(外部研修)

①特別養護老人ホーム

研修受講人数:延べ241名

研修月日	研修名	受講者	場所
介護支援専門員研修			
1/12、13、18、19 3/3、4、8、9、10	介護支援専門員実務研修(後期はオンライン研修)	2名	ビッグパレットふくしま
4/22	福島県介護支援専門員実務研修	1名	福島テルサ
新型コロナウイルス感染症拡大防止研修			
8/3、4	感染制御の基礎知識、新型コロナによるクラスターへの対策について	1名	介護者教育室
1/19	新型コロナウイルスオミクロン株への感染対策に係るWeb研修会	14名	多目的ホール
防災研修			
7/6、8、13、15、19、22	災害・リスク対策研修会WEB研修	18名	介護者教育室
10/27、28	甲種防火管理新規講習	1名	アピオスペース
生涯研修			
7/15、16	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員研修	2名	福島県総合社会福祉センター
12/2、3	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダー研修	1名	福島県総合社会福祉センター
老人福祉施設協議会研修			
6/10、17、22、26、27、28	福島県老人福祉施設協議会「機能訓練担当職員研修会」WEB研修	27名	介護者教育室
8/23、24、26、30	福島県老人福祉施設協議会「介護職員研修会」WEB研修	31名	介護者教育室
9/6～30	福島県老人福祉施設協議会「ハラスメント対策研修会」WEB研修	46名	各拠点
10/12、14、21、22、25、31	福島県老人福祉施設協議会「安全対策研修会」WEB研修	16名	介護者教育室
11/29	福島県老人福祉施設協議会「給食担当者研修会」WEB研修	2名	介護者教育室
11/2、3、4、5、6、8、30	福島県老人福祉施設協議会「生活相談員研修会」WEB研修	23名	介護者教育室
12/1～31	福島県老人福祉施設協議会「医務担当職員研修会」WEB研修	7名	介護者教育室
1/7、14	福島県老人福祉施設協議会「介護ロボット・ICT研修会」WEB研修	6名	介護者教育室
1/7、14	福島県老人福祉施設協議会「認知症ケア研修会」WEB研修	1名	介護者教育室
専門研修			
4/16、23	排泄ケア概論WEBセミナー	4名	介護者教育室
7/1	介護施設における安全対策担当者養成研修	2名	介護者教育室
6/30、7/1、2、3、 7、8、14、15、18、 19	福島県喀痰吸引等基本研修(第1号・第2号)	2名	福島県男女共生センター
7/2、3/20、21、9/3	福島県認知症介護実践者研修	1名	とうほう・みんなの文化センター
8/23	社会福祉施設看護等職員研修(オンライン研修)	2名	介護者教育室
9/29	第1回会津方部成年後見制度支援者向け研修会Zoom研修	1名	介護者教育室
9/30	福島県認知症介護基礎研修	1名	ユラックス熱海
10/18、19	新人職員ネットワーク構築研修(オンライン研修)	1名	介護者教育室
10/29	社会福祉施設等職員初任者基礎研修(オンライン研修)	4名	介護者教育室

10/7	排便コントロールと自立排泄WEBセミナー	3名	介護者教育室
10/16	介護施設における安全対策担当者養成研修(Eラーニング)	1名	介護者教育室
10/18, 19	新人職員ネットワーク構築研修(オンライン研修)	1名	介護者教育室
11/29	福祉の職場におけるメンタルヘルス研修(オンライン研修)	1名	介護者教育室
12/1	令和3年度要介護認定調査員現任研修会(WEB研修)	1名	介護者教育室
12/8	社会福祉施設栄養士研修(オンライン研修)	1名	介護者教育室
12/4, 5, 6, 9, 10, 13, 17	認知症介護基礎研修受講者ステップアップ研修	10名	介護者教育室
12/26	医療的ケア教員講習	1名	セルフミーティングルーム虎丸
12/26	介護職員の包括的腰痛予防研修会(WEB研修)	1名	介護者教育室
1/24, 25	管理職員のためのプリセプター運用研修	1名	介護者教育室
1/26	災害後援会(WEBセミナー)	1名	介護者教育室
2/11	SARAYA感染対策WEBセミナー	1名	介護者教育室
2/24	第2回会津方部成年後見制度支援者向け研修会Zoom研修	1名	介護者教育室

②特別養護老人ホーム介護係勉強会

研修受講人数:延べ83名

研修月日	研修内容	受講者	場 所
5月15日	・褥瘡予防(臀部洗浄)について	13名	多目的ホール
6月16日	・コロナウイルス感染症発生時のゾーニングについて	17名	多目的ホール
11月~12月	・个人防护具の着脱について	41名	多目的ホール
12月15日	・リスクマネジメント(拘縮の利用者の対応)について	12名	多目的ホール

18 防災訓練等実施状況

① 防災訓練実施状況

訓練実施日	訓練内容	事業所	参加者
4月14日	消防設備、器具説明、消火訓練及び災害時の対応(新人職員対象)	老人福祉合同	職員16名
5月13日	備蓄・持ち出しリスト確認	老人福祉各拠点	備蓄班
6月30日	火災時行動訓練(昼間想定) ※5月予定分を6月に振替実施	老人福祉各拠点	職員36名 利用者42名
6月10日	安全対策自主点検(特養・短期)	老人福祉各拠点	設備班
6月24日	夜間通報訓練(抜き打ち)	老人福祉合同	職員99名
6月11日 ~21日	非常災害連絡網に関する伝達研修	老人福祉各拠点	職員115名
7月14日	水害時図上訓練	老人福祉合同	職員25名
8月18日	火災時初動訓練(昼間想定・ショートステイ出火)	老人福祉合同	職員24名
9月 8日	火災時総合訓練(夜間想定) ※新型コロナ対策のため通報訓練、事業所単位での初動訓練を実施	老人福祉合同	職員147名
10月13日	火災時避難誘導訓練(昼間想定・片柳DS/南花畑DS出火)	老人福祉合同	職員62名 利用者29名
11月17日	水害時行動訓練	老人福祉合同	職員29名
11月10日	安全対策自主点検、自家発電設備点検(特養・短期)	老人福祉各拠点	設備班
12月 8日	地震時図上訓練	老人福祉合同	職員23名
1月20日	夜間通報訓練(抜き打ち)	老人福祉合同	職員114名
2月 9日	地震時行動訓練 ※新型コロナ対策のため地震発生時行動及び参集基準の確認を実施	老人福祉合同	職員27名
3月 9日	安全対策自主点検、自家発電設備点検(特養)	老人福祉各拠点	設備班
3月10日	安全対策自主点検(短期)	老人福祉各拠点	設備班
3月 9日	備蓄米の調理	老人福祉合同	炊出班 職員14名
3月30日	令和3年度防災訓練総括	老人福祉合同	防災委員

② 消防設備等点検状況

点検日	点検内容	事業所	点検実施者
4月12日	消防設備機器定期点検	会津みどりホーム	株式会社ホシノ
6月 9日	消防設備機器定期点検	短期入所生活介護事業所	福島防災有限会社
4月28日	消防設備機器定期点検	片柳デイサービスセンター	会津消防用品株式会社
4月5日	消防設備機器定期点検	南花畑デイサービスセンター	株式会社会津防災設備センター
10月22日	消防設備機器総合点検	会津みどりホーム	株式会社ホシノ
11月 4日	消防設備機器総合点検	短期入所生活介護事業所	福島防災有限会社
10月11日	消防設備機器総合点検	片柳デイサービスセンター	会津消防用品株式会社
10月13日	消防設備機器総合点検	南花畑デイサービスセンター	株式会社会津防災設備センター

19 職員の配置状況(特別養護老人ホーム)

(1)職員配置の状況

(令和4年3月31日現在)

職種	施設長	事務員	生活相談員	介護員	看護員	機能訓練指導員	管理栄養士	栄養士	調理員兼栄養士	介護支援専門員	介護補助員	環境補助員	宿直員	合計
人数	1	2 (1)	2 [3]	35 [7] (8)	6 (1)	1	1	0 [1]	5 [1] (2)	[4]	(1)	(1)	(4)	53 (18)

()は臨時職員数。[]は兼務職員数

(2)嘱託医の状況

診療科目	嘱託医師	診療回数
内科	佐藤 誠治	3回/月
内科	増戸 尚	2回/月
整形外科	山田真一郎	1回/月
眼科	米山 高仁	1回/年
耳鼻科	穴澤 卯恭	1回/年
歯科	石田 高俊	1回/月

20 職員の福利厚生(高齢者事業所全体)

【職員定期健康診断】 総延べ職員人数 187名(6/7・6/14・12/8・12/14 実施)
 【腰痛検査】 (5月)114名 (10月)113名
 【インフルエンザ】 145名(11月実施)A型B型混合接種
 【生活習慣病予防健診】 36名(全国健康保険協会)

21 地域交流

開催日	行事名	場所
9月9日	「コロナ禍における家庭内の感染予防対策」(講師派遣)	文化センター「展示室兼会議室」
11月8日	顔晴れ運動教室(講師派遣)	緑町会館
11月15日	顔晴れ運動教室(講師派遣)	緑町会館
11月22日	顔晴れ運動教室(講師派遣)	緑町会館
11月24日	元気はつらつ教室「介護予防体操」(講師派遣)	日新福社会館
11月29日	顔晴れ運動教室(講師派遣)	緑町会館
11月29日	神指小学校認知症出前講座	神指小学校
12月21日	永和小学校認知症出前講座	永和小学校
1月19日	「はつらつクラブ」(講師派遣)	神指分館

22 施設整備・備品の状況(令和3年度増加分)

資産の種類	名称	数量	金額(円)
その他固定資産	超低床ベッド	2台	590,700
	見守りセンサー(眠りスキャン)用Wifi増設工事	一式	330,000
	喫煙ルーム設置工事	一式	787,699
	見守りセンサー(眠りスキャン)	20台	2,749,670
	簡易陰圧装置	2台	4,081,000
合計			8,539,069

[2] 会津みどりホーム短期入所生活介護事業所

1 運営経過及び総括

令和3年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策が大きな課題であった。常に最新情報に注視しながら、環境整備や利用者の体調管理の徹底、持ち込まない為の職員の意識づけなどを行ったが、5月に利用者職員含め4名の感染が確認された。その後直ちに、福島県感染制御チームの応援指導を受け、14日間の最短期間で収束する事が出来た。この経験から、正しい予防対策を学ぶとともに、より一層対策を強化し感染の蔓延防止に努めた。

前年度からの課題であった事故対策や認知症の対応についても、多職種で連携を図り、定期的な内部研修会や会議の開催、見守り支援機など活用しながら、利用者が安心して過ごせる場が提供できる体制作りに努め、見守時の事故件数減少につなげることができた。

コロナ禍であっても楽しめるサービスの提供として、食（お楽しみ昼食会やおやつなど）と入浴（季節に合わせた浴室の工夫や変わり湯など）に力を入れ、利用者家族に好評を得た。

実績については、上半期は5月の感染症の発症による影響が約3ヶ月続き、下半期は目標稼働率に近い数字を出すことができ、新規利用者の受入れ件数も前年度の倍近くとなったが、年間を通して目標稼働率を達成することができなかった。

1日の利用者数 34.4人/40人	稼働率 86.1% (目標 95%)
-------------------	--------------------

2 重点目標の評価

1. 利用者個々にあった自立支援とサービスの質の向上

- ① 家族やケアマネジャーへ、利用者の状況や体調変化など、細かな事であってもタイムリーに報告や連絡することで、信頼関係の構築に努めた。又、毎日の支援の中で利用者の声を聴き、ニーズの把握と個別の対応に努めた。
- ② 日々の中で機能訓練として体操を実施し、計算問題や塗り絵などの趣味活動の支援を行った。又、毎月1日のお楽しみ昼食会（全国お祭り紀行）を企画し、1月からは月末にスイーツデー（おやつの盛り合わせ）も実施し好評を得た。更に、季節毎に浴室の模様替えをし、入浴剤や変わり風呂を提供するなど、利用者の満足度向上に努めた。
- ③ 12月に「利用者満足度調査」を実施し、多くの意見やお礼の言葉などをいただいた。意見・要望については、対応策や改善策を検討し実施した。又、相談や個別の対応が必要な件についてはそれぞれに返答するなどし、2月に調査結果をまとめて送付した。

2. 利用者家族がより安心して利用できる事業所

- ① 新規入所者については転倒スコアシートを作成し、転倒リスクについて部署間で情報を共有した。又、事故に対しての危険認識を高めるため、見守り専属職員を置き対応した。更に見守り支援機（離床センサー）を12台に増やし利用者の行動パターンを把握して、事故を予見し防止することで下半期の見守り者の事故減少につながった。
- ② 認知症や感染予防、救急時の対応など、専門職としてのスキルアップを図る為の内部研修を実施し理解を深めた。特に認知症については、内部研修を通じて1月から対象者を選定し、集中的な認知症ケアをスタートした。認知症ケアについては次年度も継続し、結果につなげていきたい。
- ③ 4月に全てのマニュアルを見直し、職員全員へ周知した。ただ、マニュアルを活用した業務の標準化までは至らなかったが、職員の経験やスキルの差で事故につながっていた所が改善しつつあるため、業務見直しも含め良い方向に影響した。

3. 感染症対策を徹底し感染症を予防する

前年度から新型コロナウイルス感染症マニュアルを作成し、パーテーション設置などの環境整備と事業所内の消毒など対策を実施してきたが、5月13日に2名の感染者が確認された。福島県の応援派遣による感染制御チームの指導を受け、対策を徹底し14日間で収束し感染者は4名と最小限に止める事が出来た。この経験と専門家の意見に基づき、マニュアルの見直しや標準予防策の実施、職員全員が感染症対策研修（内部研修や動画視聴など）に参加し対応を周知徹底した。又、感染症のBCP（事業継続計画）を作成しシュミレーションを行い、福島県の「介護施設等における感染拡大防止支援事業」の助成にて陰圧装置を2月に2台購入し万が一に備えた。

4. 働きやすい職場環境

職場環境改善班（スマイルプロジェクト）が中心となり、職員同士のコミュニケーションの現状把握や成功体験を共有する場を設け、風通しの良い職場作りに取り組んだ。

又、介護看護共に業務担当の見直しをタイムリーに行い、職員の役割の明確化や業務の効率化を図り、全体的な生産性の向上に努めた。

5. 共生型サービスに向けての取り組み

共生型サービス事業所としての届けについては検討段階だが、65歳で障がい者サービスから介護保険に移行した障がいの方々を受け入れており、多職種で情報共有しながら対応した。

3 地域での活動

- ①近隣短期入所施設5事業所の運営委員会ではリモートを活用し、年間4回の情報交換会議を実施した。新型コロナウイルス感染症関連が多かったが、日々の対応で苦慮している物品管理や医療ニーズの高い方の受け入れなど、様々な情報交換ができた。又、他事業所の対応など参考にできることも多く、次年度も引き続き実施していく予定。
- ②永和小学校（4年生）に12月21日（火）訪問し、高齢者や認知症についての勉強会を実施した。感染対策を取りながら、寸劇やクイズ形式を取り入れ分かりやすく説明した。生徒達からの積極的な質問もあり、高齢者の気持ちや対応を考える一つのきっかけになったのではと思われる。
- ③令和3年度もコロナ禍で神指文化祭など地域行事は中止となり、地域の方々との交流や情報交換ができなかった。
- ④近隣地域と連携しての防災対策や訓練活動は実施できず、次年度の課題として残った。

4 月別利用人数及び介護度

※（ ）内は利用者数

月	日数	利用延数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4	30	1067 (106)	2 (1)	38 (6)	220 (28)	243 (24)	231 (21)	261 (18)	72 (5)
5	31	771 (99)	0 (0)	4 (2)	105 (13)	142 (17)	181 (14)	272 (17)	67 (4)
6	30	788 (111)	28 (3)	14 (4)	122 (17)	210 (23)	95 (14)	266 (20)	53 (6)
7	31	929 (109)	26 (3)	43 (6)	129 (16)	237 (24)	186 (19)	248 (20)	60 (6)
8	31	1042 (114)	0 (0)	35 (4)	177 (21)	291 (27)	184 (19)	287 (22)	68 (5)
9	30	1103 (109)	12 (1)	34 (7)	173 (25)	283 (31)	204 (23)	359 (26)	38 (5)
10	31	1135 (106)	2 (1)	41 (7)	219 (30)	284 (28)	180 (19)	355 (22)	54 (5)
11	30	1113 (102)	8 (3)	41 (8)	222 (29)	295 (27)	192 (21)	323 (23)	32 (6)
12	31	1157 (89)	2 (2)	38 (8)	240 (30)	254 (22)	187 (20)	370 (25)	66 (7)
1	31	1202 (88)	3 (1)	35 (6)	251 (32)	202 (21)	245 (26)	372 (25)	94 (8)
2	28	1053 (88)	2 (1)	17 (4)	195 (26)	180 (21)	312 (28)	250 (21)	97 (8)
3	31	1215 (93)	4 (1)	25 (4)	248 (31)	197 (24)	361 (26)	270 (21)	110 (8)
計	365	<u>12575</u> (1212)	89 (0.7%)	365 (2.9%)	2301 (18.3%)	2818 (22.4%)	2558 (20.3%)	3633 (28.9%)	811 (6.5%)
*一日平均 34.4人			平均要介護度 2.6 (令和2年度 2.8)						

5 新規受入れ件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	7人	3人	11人	15人	16人	19人	11人	11人	9人	9人	12人	15人	138人

※令和2年度は年間75件の新規受け入れ

6 職員配置の状況

令和4年3月31日現在

職種	管理者	生活相談員	介護員	看護員	機能訓練	総務	運転手	合計	[] 兼務 () パート
人数	[1]	2 [1]	16 [1] (3)	2 [1]	[1]	[1]	1	24 (3)	

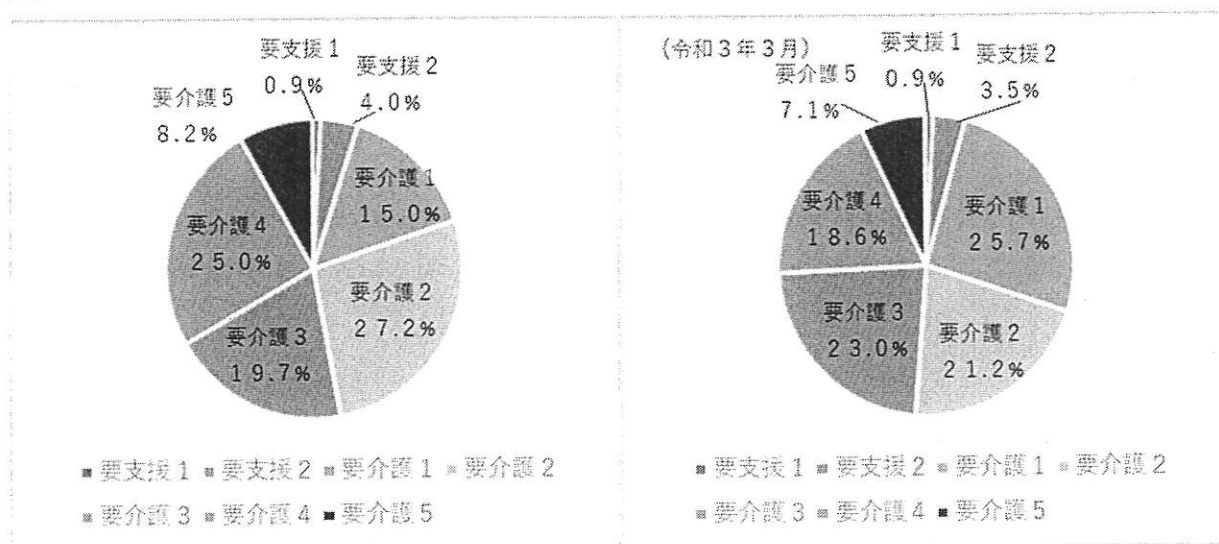
7 月別行事実施状況

月	行 事	月	行 事	月	行 事	月	行 事
4	お花見	7	七夕会	10	—	1	お正月行事 団子刺し
5	母の日	8	アイスクリーム会	11	そば祭り	2	豆まき
6	父の日	9	秋祭り	12	クリスマス会	3	ひな祭り

○コロナ禍の為、行事は縮小か個別で行う工夫をしながら、密を避け換気や消毒、マスク着用を徹底し実施した。

○毎月誕生者には、誕生日御前（松花堂弁当）を提供しお祝いした。

8 利用者要介護度別比較割合



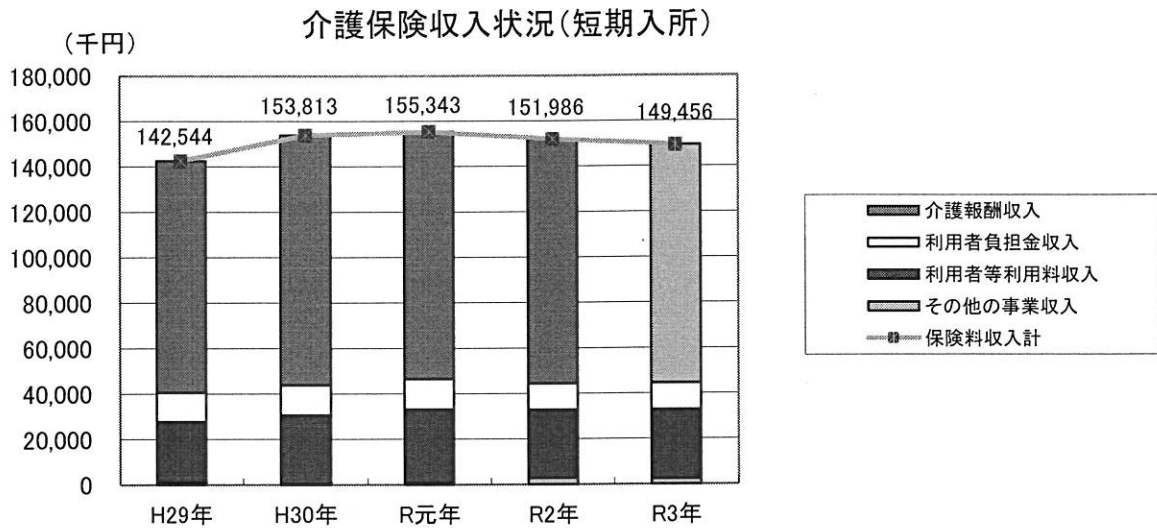
9 事故種別と件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒・転落	2	1	1	0	3	4	4	2	3	3	1	1	25
骨折	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
尻もち	1	0	0	0	1	2	0	1	1	0	0	1	7
発赤	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
皮膚剥離	4	0	0	1	2	1	6	1	3	4	4	4	30
裂傷	0	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	5
誤薬	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
誤嚥	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
内出血斑	1	0	0	0	1	1	3	2	0	0	1	2	11
異食	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	4
合 計	12	3	1	2	9	10	16	7	7	7	7	8	89
ヒヤリハット	1	0	1	1	1	2	13	6	2	5	3	6	41

（その他）・内服忘れ ・アレルギー食提供

（ヒヤリハット）・転倒リスク者の独歩 ・エスケープ未遂 ・異食未遂 ・誤嚥可能性
・誤配膳 ・フォーレ曲がり など

10 短期入所生活介護事業状況

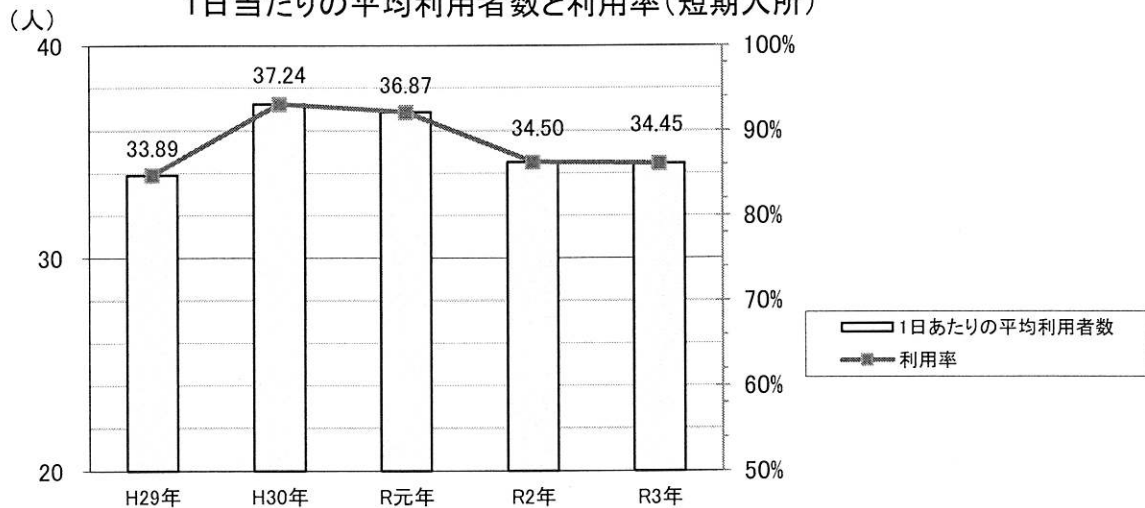


介護報酬の推移(短期)

(円)

	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年
介護報酬収入	102,050,148	110,049,301	108,775,562	107,636,928	104,866,218
利用者負担金収入	12,786,669	13,296,229	13,510,288	11,550,381	11,795,869
利用者等利用料収入	26,591,158	30,081,197	32,392,403	30,099,405	30,475,204
その他の事業収入	1,116,000	386,335	664,628	2,699,770	2,318,466
保険料収入計	142,543,975	153,813,062	155,342,881	151,986,484	149,455,757

1日当たりの平均利用者数と利用率(短期入所)



利用者数と利用率の推移(短期)

定員40名

	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年
年間利用延べ日数	12,372	13,596	13,495	12,606	12,575
1日当たりの平均利用者数	33.89	37.24	36.87	34.50	34.45
利用率	84.73%	93.12%	92.18%	86.25%	86.13%

職員研修受講状況(外部研修)

(短期)		研修受講人数:延べ18名	
月日	研修名	受講者数	場所
6月			
9	認知症キャラバンメイト養成研修	1名	福島県男女共生センター
30	喀痰吸引等基本研修	1名	福島県男女共生センター
7月			
1~3	喀痰吸引等基本研修	1名	福島県男女共生センター
7~8	喀痰吸引等基本研修	1名	福島県男女共生センター
14~15	喀痰吸引等基本研修	1名	福島県男女共生センター
20	喀痰吸引等基本研修(筆記試験)	1名	福島県男女共生センター
8月			
18~20	喀痰吸引等基本研修(実技試験)	1名	福島県男女共生センター
11月			
19	全会津介護支援専門員協会第2回研修会 ハラスメント対策	3名	オンライン研修
29	福祉の職場におけるメンタルヘルス研修 介護職員向けセルフケア	2名	オンライン研修
12月			
3	施設・在宅看護師研修	1名	福島県看護協会みらい
14	高齢者施設における虐待防止研修会	1名	オンライン研修
24	老人福祉施設職員研修Ⅱ 身体的拘束の廃止に向けて	1名	オンライン研修
1月			
12~13	福島県介護支援専門員実務研修	1名	ビックパレットふくしま
18~19	福島県介護支援専門員実務研修	1名	ビックパレットふくしま
3月			
3~4	福島県介護支援専門員実務研修	1名	オンライン研修
8~10	福島県介護支援専門員実務研修	1名	オンライン研修

[3] 会津みどりホームデイサービスセンター

1 運営経過及び総括

令和3年度は、住み慣れた地域で自分らしい生活を送る事が出来るよう、日常生活動作の中から自分で出来る所は行なって頂き、上下肢の筋力維持が出来るよう個別機能訓練の充実を図り、自立支援に繋げていきました。コロナ禍でありましたが、感染対策を図りながら季節行事やレク活動を通して楽しみを持っていただくことで意欲を引き出し、心身機能の向上に努めました。

利用実績については、上半期は体調不良による入院、施設入所等による利用者減となり、下半期は片柳デイサービスの事業終了に伴い、利用者の移行により利用者数は増えてきましたが、目標を達成する事が出来ませんでした。

通所緩和サービス事業では年間759人1日あたり平均2.9人のご利用で目標を達成する事が出来ました。(緩和デイサービス 定員10名(目標2.5人/日 利用率29.4%)

1日利用者数27.41人/30人(1月から33人) 利用率 89.2%(目標95%)

2 事業計画の評価

※重点事業「利用者本位の質の高いサービスの提供」

重点目標	実施状況(評価)
[1] 自立支援に向けた個別機能訓練の強化	①日常生活動作、生活状況に合わせた上下肢運動を実施し筋力維持向上に努めた。 ②たたみ物、おやつ作り等の意欲の働きかけ、食事前の口腔体操を行ない嚥下、生活機能維持に努めた。 ③機能訓練の内部研修会を感染対策を図りながら実施した。
[2] 個別ケアの充実と楽しみを持って頂く質の高いサービス	①感染対策を取りながら、季節イベントやレク活動を実施、運動と生活機能向上に繋がっていった。 ②利用者に合わせて食事の提供やイベント食を実施し、喜ばれていた。 ③利用者の身体状況に合わせて安全、安心な入浴の提供を実施した。
[3] 利用者・家族が安心して利用出来る信頼関係の構築	①感染防止対策に努め、環境整備の強化を行なった。定期的な防災訓練に参加し災害に対する備えの確認を行なった。 ②ご家族、ケアマネ、他事業所との情報共有を心がけていたが、説明、情報不足による苦情もあった為、報連相を強化し信頼関係の構築に努めていきたい。 ③広報紙を発行し、ご家族に利用中の活動内容を見て頂き、関係機関には空き状況も含め、情報発信に努めた。

3 月別利用人数及び介護度

※()内は利用者数

月	日数	利用延数	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4	22	586 (80)	19 (5)	38 (9)	72 (10)	228 (25)	111 (15)	33 (6)	85 (10)	0
5	21	516 (78)	17 (5)	28 (8)	60 (10)	189 (23)	108 (15)	28 (8)	86 (9)	0
6	22	593 (75)	19 (4)	35 (8)	73 (9)	196 (23)	112 (13)	57 (8)	83 (9)	18 (1)
7	22	572 (73)	16 (4)	25 (8)	73 (9)	219 (25)	104 (13)	64 (7)	65 (6)	6 (1)
8	22	560 (79)	19 (5)	28 (8)	64 (10)	218 (27)	102 (15)	59 (7)	70 (7)	0
9	22	583 (75)	20 (4)	31 (7)	65 (9)	224 (26)	122 (16)	46 (5)	75 (8)	0
10	21	580 (80)	20 (5)	33 (9)	69 (10)	226 (27)	108 (15)	43 (4)	81 (10)	0
11	22	588 (83)	20 (5)	33 (9)	69 (10)	250 (30)	75 (14)	49 (5)	92 (10)	0
12	21	615 (85)	27 (7)	37 (10)	63 (9)	241 (28)	101 (15)	49 (5)	95 (10)	2 (1)
1	20	568 (92)	23 (6)	42 (11)	56 (9)	201 (29)	88 (16)	72 (8)	82 (12)	4 (1)
2	20	578 (90)	15 (4)	42 (12)	49 (8)	209 (31)	112 (18)	58 (5)	86 (11)	7 (1)
3	23	733 (92)	20 (4)	54 (12)	59 (8)	279 (33)	153 (18)	63 (5)	96 (11)	9 (1)
計	258	<u>7,072</u>	235 (3.4%)	426 (6.0%)	772 (10.9%)	2680 (38.0%)	1296 (18.3%)	621 (8.8%)	996 (14.0%)	46 (0.6%)
一日平均		27.41	(前年27.71)	平均要介護度		1.68	(前年1.73)			

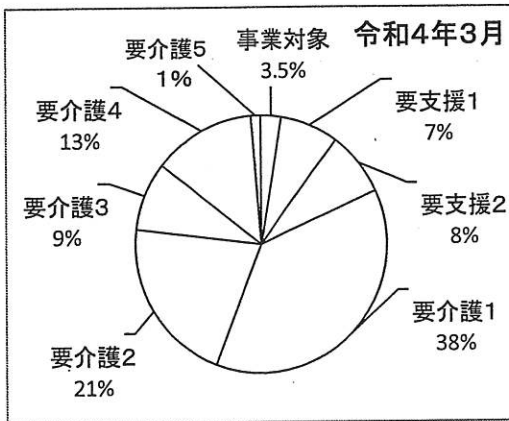
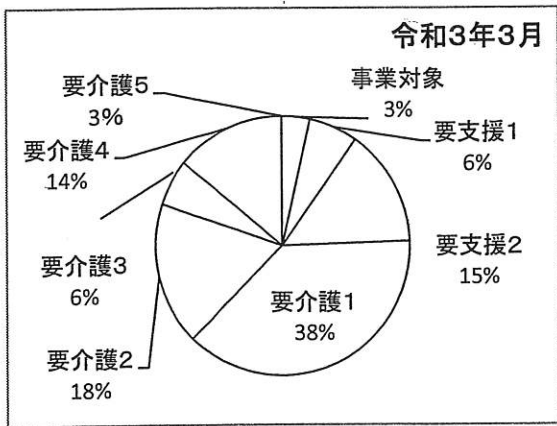
4 月別行事実施状況

月	行事	レク活動	月	行事	レク活動
4	桜まつり (お花見) おやつ作り	○ふわふわゲーム ○手繰り寄せゲーム ○マッサージ	10	おやつ作り	○おぼけ退治 ○ハロウィンパーティー ○ごみ捨てゲーム
5	母の日会	○フラワーアレンジメント ○鯉のぼりを飛ばせ ○テーブルパレー	11	秋の大運動会 おやつ作り(きゃあ餅)	○重ねてドン ○ペーパー綱引き
6	父の日会 (しょうぶ湯)	○重ねてドン ○洗濯ばさみすくい ○水中基石入れ	12	クリスマスケーキ作り	○トナカイを追えゲーム ○皆の専門店 ○お手玉棒倒し
7	七夕会 おやつ作り (かき氷)	○コピーゲーム ○袋釣りゲーム ○卓球	1	新春茶話会 (福引き大会) 新年会 団子さし	○書初め ○脳のトレーニング ○雪合戦
8	盆祭り大会	○サイコロ予言ゲーム ○バターゴルフ ○パラソル輪投げ	2	節分 おやつ作り	○ごみ捨てゲーム ○玉入れ
9	敬老会	○タオルタワー ○アヒルちゃんフリースロー ○巻き巻きゲーム	3	ひな祭り会	○マッサージ ○映画鑑賞 ○輪投げ

5 職員の配置状況

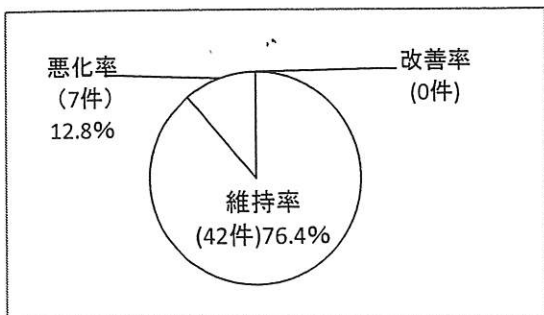
職種	管理者	生活相談員	介護員	看護職員	機能訓練	合計	() は兼務 【 】 はパート
人数	(1)	3 (3)	11 (6) 【1】	3 (3)	3 (3)	11名	

6 利用者要介護度別比較割合

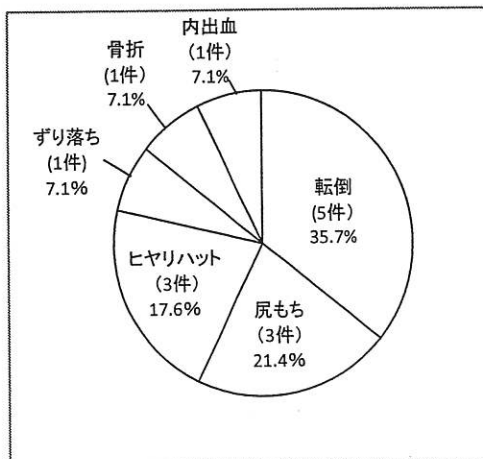


7 利用者要介護度変更状況 (49件)

要介護度変更率			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
維持率	79.3%	76.4%	76.4%
改善率	0.1%	10.9%	0.0%
悪化率	20.6%	12.7%	12.8%

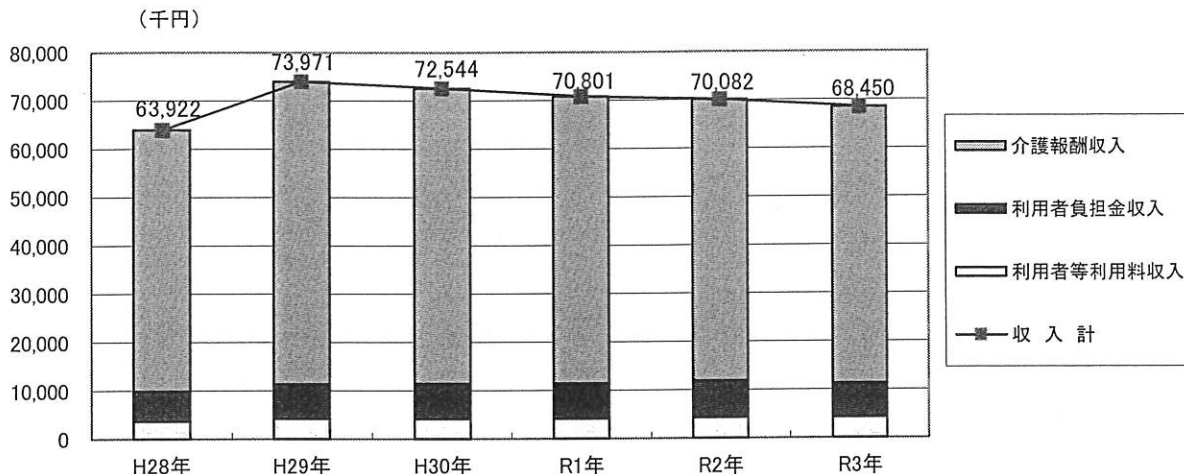


8 事故種別 (14件)



9 事業実績の状況

介護保険収入状況(みどりデイ)



(指定通所介護事業所)

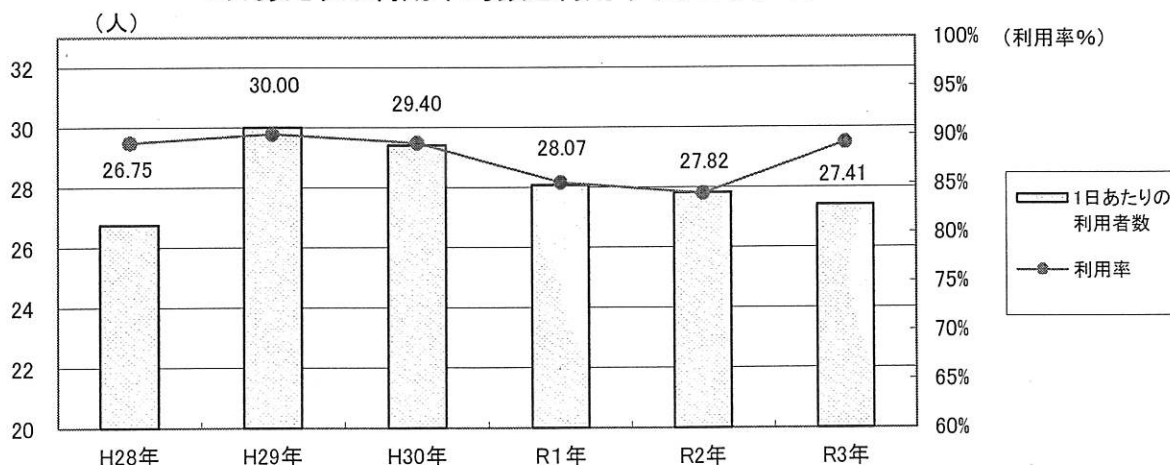
(円)

	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年
介護報酬収入	54,076,379	62,629,498	61,164,226	59,428,021	58,229,834	57,207,902
利用者負担金収入	6,167,323	7,128,814	7,288,218	7,231,832	7,570,383	7,009,920
利用者等利用料収入	3,677,850	4,213,000	4,091,451	4,141,350	4,282,252	4,232,400
収入計	63,921,552	73,971,312	72,543,895	70,801,203	70,082,469	68,450,222

※1平成29年7月より定員30名から33名へ

※2

1日あたりの利用平均数と利用率(みどりデイ)



(指定通所介護事業所)

	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年
利用延べ人数	6,903	7,709	7,533	7,217	7,150	7,072
1日あたりの利用者数	26.75	30.00	29.40	28.07	27.82	27.41
利用率	89.18%	90.09%	89.16%	85.09%	83.97%	89.20%
稼働日数	258	257	256	257	258	258

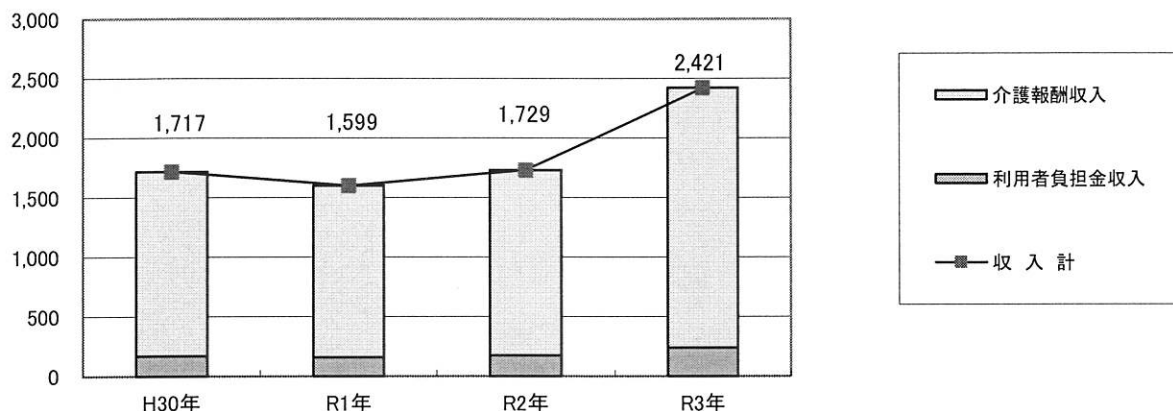
※1平成29年7月より定員30名から33名へ

※2令和3年4月より定員33名から30名へ、令和4年1月より30名から33名へ

10 事業実績の状況

介護保険収入状況(緩和デイ)

(千円)



(指定緩和通所介護事業所)

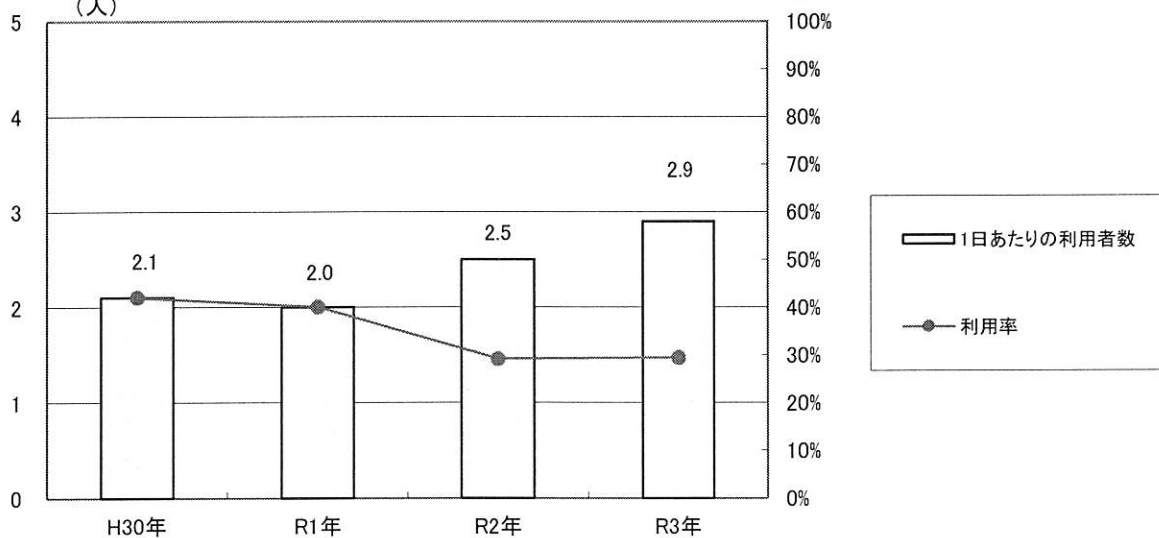
(円)

	H30年	R1年	R2年	R3年
介護報酬収入	1,548,459	1,442,052	1,556,811	2,181,762
利用者負担金収入	169,084	157,892	172,979	239,303
収入計	1,717,543	1,599,944	1,729,790	2,421,065

1日あたりの利用平均数と利用率(緩和デイ)

(人)

(利用率%)



(指定緩和通所介護事業所)

	H30年	R1年	R2年	R3年
利用延べ人数	538	514	561	759
1日あたりの利用者数	2.1	2.0	2.5	2.9
利用率	42.0%	40.0%	29.1%	29.4%
稼働日数	256	257	258	258

令和2年10月から定員5名から10名へ

[4] 居宅介護支援事業所会津みどりホーム

1 運営経過及び総括

新型コロナウイルス感染症予防のため、介護サービスの利用を中止する利用者や家族の増加、心身状態の悪化による入院が増えたことで目標を達成することはできなかった。しかし、主任介護支援専門員3名にて、福島県介護支援専門員法定研修のファシリテーター及び介護支援専門員実務研修の指導に携わり、キャリアアップやケアマネジメントの資質向上に努めることができた。また、会津地域の居宅介護支援事業所とオンラインで繋がり、研修会や事例検討会へ参加することで情報共有や研鑽に努めることができた。 令和3年度実績2,105件 稼働率は92.3% 目標件数 2,280件(190件/月)

2 事業計画の実施状況

重点目標	事業計画(取り組むべき施策)	実施状況(評価)
1. 多様なニーズに対し自立支援に資する適正なサービス提供	①多様なニーズや個々の能力に応じたケアプランを作成しモニタリング・評価などの一連の支援を行います。	・利用者や家族の意向を尊重し住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、居宅サービス計画を作成し利用者の立場に添った支援を行った。 ・感染予防対策を実施しながら、利用者の身体・認知機能の低下を早期に把握し多様なニーズに対応することができた。
	②要介護者や家族の意向確認やおかれている立場・環境などの理解に努め、各種専門職と協働・連携をとおして信頼関係を築いていきます。	・状況把握を行い、各事業所と協働することで、自立支援を目指した支援内容を提供することができた。これからも誠意ある対応を心がけ、信頼関係を構築していく。
2. 医療と介護の連携推進	①医療をはじめ多分野の専門職の知見に基づくケアマネジメントを行うため、医療と介護の役割を明確化し連携を強化していきます。	・介護支援専門員から主治医へ利用者の心身状態を報告することで、医療による早期対応とスムーズな在宅復帰へと繋げることができた。
	②入退院や通院時に係る医療機関との情報共有に努め、医師と介護支援専門員の連携により在宅生活の継続を支援します。	・コロナウイルス感染の影響のため、病院での面会制限があり、入退院時に対面での情報共有の場が少なくなった。しかし、電話連絡等で各担当者との情報交換を密に行うことで、必要なサービスを選択し退院後の在宅生活を継続できるように支援を行った。
3. 質の高いケアマネジメントの実施	①多職種連携や事例検討・研修会に参加し情報共有を行うことで、介護支援専門員として公正中立なケアマネジメントの確保や資質の向上を目指します。	・会津地域の居宅支援事業所で開催するオンライン研修にて、年5回の事例検討会に参加した。情報を共有することで、地域のネットワークが構築され、介護支援専門員の資質向上へと繋がった。
	②要介護者が地域とのつながりを保ちながら在宅生活を維持していくために、社会資源を含め、必要なサービスを的確に選択できるように、多様な生活支援が包括的に提供されるように支援します。	・年3回の神指地区地域ケア会議に参加し地域活動や高齢者の社会参加について意見交換を行った。今後も若松第4地域包括支援センターと連携し、地域から選んでもらえる事業所として、誠意ある対応を心がけ、地域に根ざした支援を行っていく。
4. 利用者に必要なサービスが安定的・継続的に提供される体制の構築	①感染症や災害が発生した場合の業務継続計画策定の実施	・「新型コロナウイルス感染症発生時対応事業継続計画」(BCP)を作成し感染症の予防対策を実施することができた。
	②感染症や災害が発生した場合の研修と想定訓練の実施	・感染対策に係る研修会へ参加し感染症に対する理解を深めた。また、感染症が発生した場合を想定した感染対策シミュレーション訓練を実施した。

3 職員配置の状況

管理者・主任介護支援専門員	専任	1名
主任介護支援専門員	専任	2名
介護支援専門員	専任	2名

4 ケアプラン作成件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和元年	167	169	170	172	165	167	183	179	181	182	184	184	2,103
令和2年	186	183	189	190	186	192	187	187	186	182	176	177	2,221
令和3年	176	176	181	180	177	181	182	178	176	165	167	166	2,105

コロナウイルスの影響で、介護サービスの利用を中止する利用者が3件/月程見られた。

5 訪問調査件数

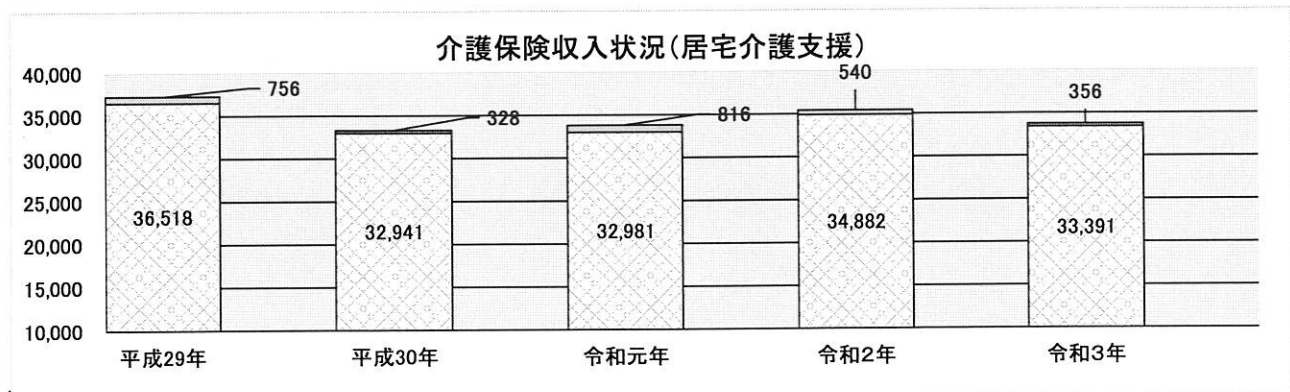
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和元年	20	20	20	20	20	20	20	21	20	20	11	13	225
令和2年	16	7	11	10	12	10	14	13	12	9	20	13	147
令和3年	20	2	3	8	6	13	8	7	8	11	6	5	97

訪問調査受託については、ケアプラン作成の充実と件数の安定を図るため20件/月を目安としている。令和3年度は認定調査の依頼件数が少なく、昨年度より50件減少した。

(千円)

6 事業実績の収入状況

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	前年度対比
介護報酬収入	36,518,080	32,941,050	32,981,010	34,882,020	33,390,790	96%
調査受託料収入	755,568	327,888	816,330	540,010	356,110	66%



7 年間利用者数延べ人数と職員一人あたりの利用者数推移

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
利用のべ人数	2337 (GH50含)	2081 (GH1含)	2103	2221	2105
職員1人当りの利用者数(月)	31	31	29	31	31
介護支援専門員	6	6	6	6	5

(GH: グループホーム)

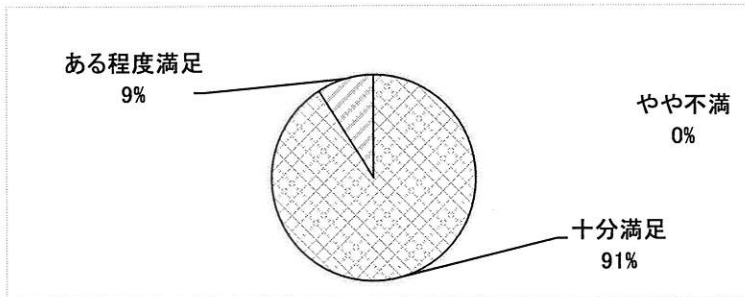
8 利用者の要介護度別利用者数の推移 (3月調べ)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
令和元年	84人	51人	20人	19人	10人	184人
令和2年	78人	51人	19人	22人	7人	177人
令和3年	65人	52人	21人	23人	5人	166人

9 居宅介護支援サービス利用者満足度調査

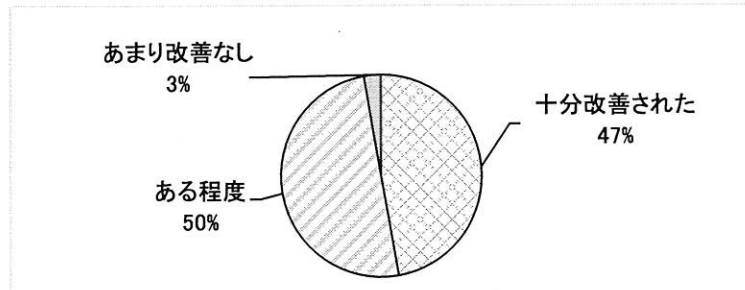
R3年7月調査・利用者数180名中90名に実施・有効回答77名(回収率85.5%)

・ケアマネージャーの態度や言葉遣いなどに満足していますか？



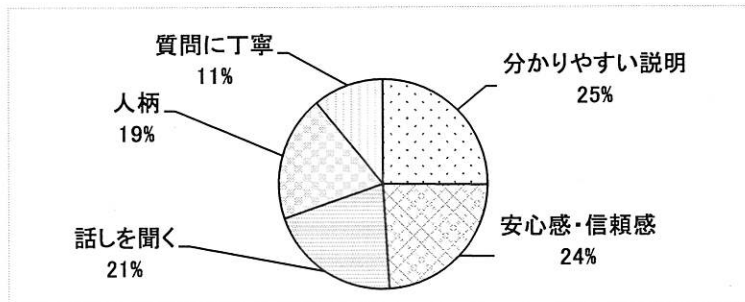
項目	回答数	%
十分満足	71人	91.03%
ある程度満足	7人	8.97%
やや不満	0人	0.00%

・介護保険サービスを利用してあなたの心身の状態や生活環境などは改善されましたか？



項目	回答数	%
十分改善された	34人	43.59%
ある程度改善された	36人	46.15%
あまり改善なし	2人	2.56%

・ケアマネージャーを選ぶ上で重要なことは？(3つまで)



項目	回答数	%
分かりやすい説明	39人	24.53%
安心感・信頼感	37人	23.27%
話しを聞く	32人	20.13%
人柄が良い	30人	18.87%
質問に丁寧な説明	17人	10.69%

[5] 会津若松市若松第四地域包括支援センター

1 事業の総括

感染予防策を強化しながら担当する4地区の高齢者の総合相談の窓口として支援活動を行って来た。コロナ感染症の広がりが大きな影響を与えた1年だった。感染予防の為に訪問を控え電話での状況確認に切り替える事が増え、担当する利用者との信頼関係の構築には配慮してきた。サロン活動の中止が続き地区の住民が集まる機会が減っており、包括での介護予防の周知の機会も減っていたのが今後の課題となった。対面での話し合いが減り、サービス事業所との連携が図りにくい場面もでていた。一方でオンライン研修により移動時間を短縮して専門知識を習得できる機会が増えた。全国の介護・福祉・医療の専門職とつながっての意見交換をする場面もあり有意義な研修参加とすることができた。ICTの活用により、法人内部の会議や専門部会などについては、オンラインでの開催を主として行う事で効率化につなげる事が出来ている。また、市と7包括共通のメールの活用も進み、タイムリーに情報共有と意見交換が出来るようになってきている。年間の総合相談の延べ件数は、14,773件となっている。

2 重点事業

1. 包括支援事業の推進

○居宅介護支援事業所との勉強会は、コロナの影響があり計画策定が行えず開催が出来なかった。個別のケア会議とケースカンファレンスは必要時開催し、居宅のケアマネの後方支援を行ってきた。市・医療介護の支援者、地域の関係者など他分野との連携の強化も図る事ができた。

2. 地域の各種団体との連携の強化

○ミニケア会議の開催は神指地区と日新地区で行って来た。神指地区では連携を図る事でいきいき百歳体操を神指分館で開始する事に繋がっている。八日町（日新地区）の会議では住民同士の繋がりの把握ができてその後の連携の強化に役立っている。

○いきいき百歳体操を実施できる団体が増やせるような働きかけを行い、立ち上げ団体が増えた。元気便りでも特集を掲載し、興味を持たれる方からの連絡もあり今後の立ち上げが期待できる。

3. 地区内の高齢者の見守り体制の強化

○高齢者相談員は共生福祉相談員という名称で新たな役割になり、市と連携を図りながら各地区内での見守りの新しい体制に移行している。心配な独居高齢者については、連携を取りながら見守り活動を継続出来ている。

○城北地区では民生児童委員との連携で独居高齢者と高齢世帯を中心にした実態把握の機会を持つ事ができた。地域ケア会議協議体でも詳細を話し合い、町内の担当委員と一緒に訪問する事で、高齢者に安心感をもってもらいつつ必要な情報収集を行う事ができた。その後必要な支援に早めに繋ぐことが出来ていた。

4. 認知症高齢者への対応と関係機関との連携

○認知症についての理解を深めてもらえるよう、日新地区区長会での働きかけを行った。

○小学校での認知症サポーター養成講座は、学区内の4カ所の小学校で開催できた。小学生が認知症について学ぶ機会となり、対応についても伝える事ができた。

5. 介護予防事業の充実

○介護予防教室については、感染対策を強化して、法人内講師や介護予防の講師の協力を得て開催してきた。ネット環境を整備しユーチューブ等の活用なども行い、楽しめる内容の企画を行なえた。また市との連携で、オンラインという新しい形での教室を作り上げることが出来てきた。スマホを使う高齢者がまだ少ないという現実があり今後の課題である。

○元気はつらつ便りの発行を継続してきた。民生児童委員や共生福祉相談員の協力を得ての配布、地区内の医療機関・薬局などへの配布時に心配がある高齢者の情報共有を行う事ができた。

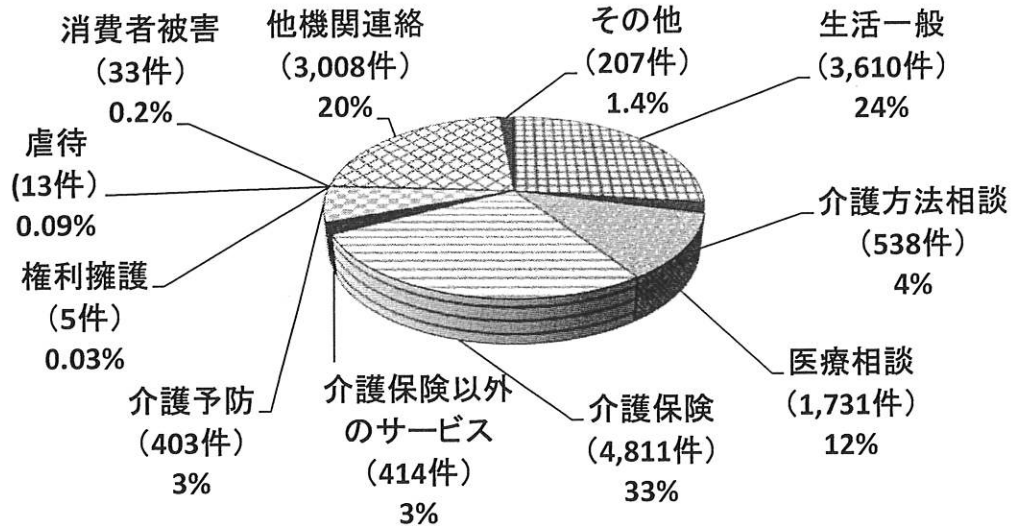
6. 介護予防支援・介護予防マネジメント

○要支援1・2の認定を受けた方と事業対象者へのアセスメントについては、感染対策や災害時の対応なども含めての利用者の生活状況の把握に力を注いできた。暫定でのサービス利用時には、居宅のケアマネとの連携で利用者に必要なサービス調整が出来るように対応できている。総合事業の利用者の割合が例年よりも減少していた。感染が増加している影響で1年を通して通所のサービス利用を控える方が多くおられた事と、身体状況の低下などでサービスの追加をしたことが要因と思われる。

3 総合相談件数と内容

・相談延人数 9,645人
 ・相談実人員 1,179人

総合相談内容 ～14,773件～



4 地域ケア会議・協議体

	開催日	開催地区	内 容
1	6/23	城北	高齢福祉課より「第8期介護保険事業計画の内容の共有と今後の地区ごとの取り組みについて」
2	6/24	神指	高齢福祉課より「第8期介護保険事業計画の内容の共有と今後の地区ごとの取り組みについて」
3	6/25	日新	高齢福祉課より「第8期介護保険事業計画の内容の共有と今後の地区ごとの取り組みについて」
4	7/2	永和	高齢福祉課より「第8期介護保険事業計画の内容の共有と今後の地区ごとの取り組みについて」
5	8/19	神指ミニ	地域の心配な高齢者・閉じこもりの高齢者の把握、地域の防災活動について
6	8/26	神指ミニ	地域の心配な高齢者・閉じこもりの高齢者の把握、地域の防災活動について
7	9/2	神指ミニ	地域の心配な高齢者・閉じこもりの高齢者の把握、地域の防災活動について
8	9/29	神指	高齢福祉課より「はじまります つながりポイント事業について」
9	10/1	永和	高齢福祉課より「はじまります つながりポイント事業について」
10	10/6	城北	高齢福祉課より「はじまります つながりポイント事業について」
11	10/14	日新	高齢福祉課より「はじまります つながりポイント事業について」
12	11/26	八日町ミニ	ミニケア会議の目的、包括の役割・活動について説明、地図での情報交換
13	12/9	上高野ミニ	ミニケア会議の目的、包括の役割・活動について説明、地図での情報交換
14	1/24	神指	市危機管理課より「自然災害が起きた時の備え・一人一人の動き」について、要支援者名簿の活用について
15	3/4	永和	「いきいき百歳体操」と「地域サロン」を広めよう。
16	3/11	日新	「いきいき百歳体操」と「地域サロン」を広めよう。
17	3/22	城北	「いきいき百歳体操」と「地域サロン」を広めよう。

コロナ感染症が増えた時期で、市の方針で中止になった。

5 共生福祉相談員定例会

	開催日	内 容
1	8月11日	意見交換等
2	11月13日	意見交換等
3	2月15日	高齢者福祉相談員制度の見直しについて・意見交換等

6 認知症サポーター養成講座

	日時	場所	参加団体	内 容	参加人数
1	9月22日	日新コミセン	一般公募	・認知症についての講義 ・認知症高齢者への対応～寸劇～	15 名
2	10月11日	城北小	城北小 4年生	・認知症についての講義 ・認知症高齢者への対応～寸劇～	63 名
3	10月12日	平塚公民館	平塚ふれあい会 参加者	・認知症についての講義 ・認知症高齢者への対応～寸劇～	10 名
4	11月18日	日新小	日新小 4年生	・認知症についての講義 ・認知症高齢者への対応～寸劇～	59 名
5	11月29日	神指小	神指小 3年生	・認知症についての講義 ・認知症高齢者への対応～寸劇～	10 名
6	11月18日	永和小	永和小 4年生	・認知症についての講義 ・認知症高齢者への対応～寸劇～	19 名

7 家族介護者交流会

	日時	場所	内 容	参加人数
1	7月27日	ロータスウッド ヴィレッジ	木の香り漂う空間で 木の小物づくり体験・交流	4 名
2	8月20日	ロータスウッド ヴィレッジ	木の香り漂う空間で 木の小物づくり体験・交流	3 名
3	9月14日	ロータスウッド ヴィレッジ	木の香り漂う空間で 木の小物づくり体験・交流	1 名

8 サロン活動支援

団体名	内 容	支援回数
平塚ふれあい会	市で作成の動画視聴・包括支援センターによる「認知症サポーター養成講座」・Wiiボーリングゲーム・新聞棒で棒体操・脳トレ・反省会	1 回
上高野サロン	簡単五月人形作り・ものづくり(あみもの)・軽体操・お茶会・スカットボール・社会福祉協議会、松本かおり先生による健康予防体操・脳トレ・生け花・トランプゲーム・総会	1 回
元気発信 かみこうざし	軽体操・Wiiボーリングゲーム・お茶会	2 回
ふれあいサロン 横沼	軽体操・Wiiボーリングゲーム・お茶会	2 回
界沢 ひまわりサロン	市で作成の動画ときみまろライブ視聴・スカットボール	2 回

9 介護予防教室

	日 時	場 所	内 容		参加人数
1	4/6 (火)	界沢集会所	市で作成した動画視聴・きみまろライブ視聴 第4包括支援センター	出前講座 界沢ひまわりサロン	13 名
2	4/14 (水)	日新福祉会館	「介護予防運動」 レクリエーションコーディネーター・渡部 よう子 先生	元気はつらつ教室	9 名
3	4/21 (水)	金川町 児童会館	「介護予防運動」 第四包括支援センター	出前講座いきいきサロン金川町	32 名
4	7/28 (水)	日新福祉会館	「介護予防運動」 第四包括支援センター	元気はつらつ教室	3 名
5	8/24 (水)	五月町 ふれあい会館	「介護予防運動」 レクリエーションコーディネーター・渡部 よう子 先生	元気はつらつ教室	10 名
6	8/25 (水)	日新コミセン	「介護予防運動」 レクリエーションコーディネーター・渡部 よう子 先生	元気はつらつ教室	7 名
7	9/14 (水)	五月町 ふれあい会館	「介護予防運動」 第四包括支援センター	元気はつらつ教室	13 名
8	9/15 (水)	神指分館	「介護予防体操」 第四包括支援センター	出前講座 はつらつクラブ	12 名
9	9/29 (水)	日新コミセン	「介護予防体操」 第四包括支援センター	元気はつらつ教室	4 名
10	10/8 (水)	石堂 子ども会館	講話「日常生活での水分補給」 大塚製薬㈱ 平井 克典 様	元気はつらつ教室	10 名
11	10/21 (木)	北公民館	「介護予防体操」 高齢福祉課・第四包括支援センター	オンライン介護予防講座	5 名
12	10/22 (金)	五月町 ふれあい会館	「介護予防運動」 レクリエーションコーディネーター・渡部 よう子 先生	元気はつらつ教室	14 名
13	11/8 (月)	緑町会館	「介護予防体操」 会津みどりホーム 運動指導員・三瓶 博 氏	顔晴れ運動教室	15 名
14	11/15 (月)	鶴沼集会所	「介護予防体操」 第四包括支援センター	出前講座鶴沼コスモス会	12 名
15	11/16 (火)	緑町会館	「介護予防体操」 第四包括支援センター	出前講座ハッスル会	8 名
16	11/22 (月)	緑町会館	「介護予防体操」 会津みどりホーム 理学療法士・遠藤広崇 氏	顔晴れ運動教室	5 名
17	11/24 (水)	日新福祉会館	「介護予防体操」 会津みどりホーム 運動指導員・三瓶 博 氏	元気はつらつ教室	10 名
18	11/28 (日)	中前田集会所	「介護予防体操」 第四包括支援センター	出前・せせなぎ会	14 名
19	11/29 (月)	五月町 ふれあい会館	「介護予防体操」 第四包括支援センター	元気はつらつ教室	19 名
20	11/29 (月)	緑町会館	「介護予防体操」 会津みどりホーム 理学療法士・遠藤広崇 氏	顔晴れ運動教室	11 名
21	11/30 (火)	上荒久田集会所	「介護予防体操」 第四包括支援センター	出前講座いきいき健康クラブ	13 名
22	12/20 (月)	五月町 ふれあい会館	「介護予防体操」 社協・松本 かおり 先生	元気はつらつ教室	16 名
23	12/21 (火)	緑町会館	「介護予防体操」 第四包括支援センター	出前講座 ハッスル会	11 名
24	1/19 (水)	神指分館	「介護予防体操」 会津みどりホーム 運動指導員・三瓶 博 氏	出前講座はつらつクラブ	6 名
25	3/9 (水)	日新福祉会館	「介護予防体操」 社協・馬場 みさ 先生	元気はつらつ教室	8 名
	5/12(水)	日新福祉会館	「介護予防運動」 レクリエーションコーディネーター・渡部 よう子 先生	元気はつらつ教室	て感 中染 止が に増 なつ た時 期で 、市 の方 針に
	6/9(水)	日新福祉会館	「介護予防運動」 レクリエーションコーディネーター・渡部 よう子 先生	元気はつらつ教室	
	11/15(月)	緑町会館	「介護予防体操」 会津みどりホーム 運動指導員・三瓶 博 氏	顔晴れ運動教室	
	1/24(月)	五月町 ふれあい会館	「介護予防体操」 社協・松本 かおり 先生	元気はつらつ教室	
	2/9(水)	日新福祉会館	「介護予防体操」 社協・馬場 みさ 先生	元気はつらつ教室	
	2/15(火)	緑町会館	「介護予防体操」 第四包括支援センター	出前講座 ハッスル会	
	2/21(月)	五月町 ふれあい会館	「介護予防運動」 レクリエーションコーディネーター・渡部 よう子 先生	元気はつらつ教室	
			合 計		280 名

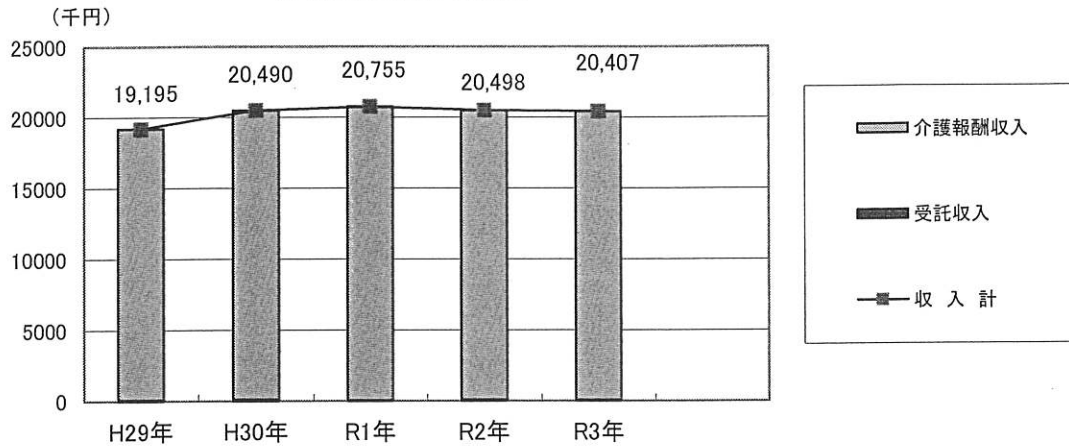
10 職員配置の状況

管理者・社会福祉士	1 名
看護師	1 名
主任介護支援専門員	1 名
社会福祉士	2 名
認知症地域支援推進員	1 名
生活支援コーディネーター	1 名
事務員	1 名

令和4年3月31日現在

11 事業実績の状況

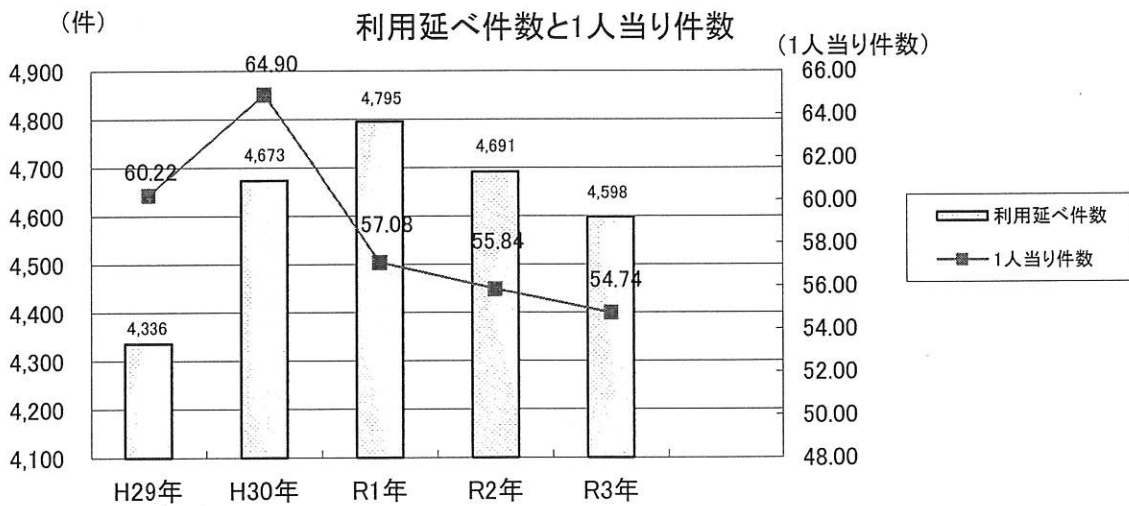
介護保険収入状況



(指定介護予防支援) (円)

	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年
介護報酬収入	19,113,600	20,393,400	20,709,410	20,405,440	20,349,260
受託収入	82,000	97,100	46,010	92,580	58,650
収入計	19,195,600	20,490,500	20,755,420	20,498,020	20,407,910

平成29年度より日常生活支援総合事業が開始となり、市へ請求していた受託収入が介護報酬収入へ切り替わっている。



(指定介護予防支援) (件)

	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年
利用延べ件数	4,336	4,673	4,795	4,691	4,598
1人当り件数	60.22	64.90	57.08	55.84	54.74
職員数	6	6	7	7	7
稼働日数	243	245	240	243	243

[6] 会津若松市片柳デイサービスセンター

1 運営経過及び総括（令和3年度で事業廃止）

令和3年度は、利用者の細かいニーズに柔軟に対応し、一人ひとりに合った個別ケアを実施してきた。また、コロナ禍という事もあり活動に制限がある中、感染防止対策を行いながらレクリエーション、季節行事を楽しく満足いただけるよう工夫を凝らし取り組みを行った。

なおこの事業は、市の公の施設の廃止に伴い令和4年3月31日をもって事業を廃止するため、12月より徐々に利用者を他事業所へ移行した。実績として年間延べ4,860人の利用となった。

1日の利用者平均 18.73人/30人（令和4年1月1日～20人） 稼働率 68.35%（目標88.3%）

2 事業計画の実施状況

重点目標	実施状況（評価）
[1] 利用者・家族が安心して利用できる信頼関係の構築	<p>①心身の状態や状況、問題点等について、家族、各関係機関と連携し情報共有し、その中で安心して在宅生活が継続できるよう柔軟なサービスを実施した。</p> <p>②感染症に対して毎月会議を開催し、感染予防のための適切な対応及び対策の徹底と内外研修に参加し利用者、職員の健康管理に努め、異常の早期発見、早期受診の対応に取り組んだ。</p> <p>③個々の利用者のその都度発見した気づきや課題を細かく話し合い、情報を共有し事故の再発防止、事故防止に努めた。</p>
[2] 安定的な利用者確保に向け、楽しみのあるサービスの提供	<p>①季節感を感じてもらえるよう四季折々の入浴剤を使用したり、しょうぶ湯、ゆず湯等季節風呂を実施しました。季節のイベントにも工夫を凝らし利用者が楽しめるよう取り組んだ。</p> <p>②意欲を高めていただけるようなレクリエーションや行事、制作活動では季節に合わせた作品作りを行い、達成感を味わう事で心身の活性化に努めた。</p> <p>③行事食や郷土料理を取り入れると共に、利用者個々の嗜好を把握し利用者に合わせて食事形態の提供ができた。</p>
[3] 利用者の能力に応じた機能訓練と連携の強化	<p>①在宅生活が維持できるよう利用者の在宅環境を情報収集し、一人ひとりに合った機能訓練を実施した。</p> <p>②利用者個々に応じた日常生活動作訓練や音楽体操、レクリエーション活動を通して心身機能、生活意欲の向上を図った。</p> <p>③研修会に参加し専門的な知識向上に努め、個別機能訓練の充実とより効果的な身体機能の維持のための訓練を実施した。</p>

3 月別利用人数及び介護度

※（ ）内は利用者数

月	日数	利用延数	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4	22	552 (71)	10 (3)	47 (11)	109 (15)	181 (20)	107 (10)	40 (6)	41 (4)	17 (2)
5	21	521 (68)	11 (3)	41 (11)	94 (13)	185 (21)	87 (8)	59 (6)	31 (5)	13 (1)
6	22	535 (68)	10 (2)	39 (10)	101 (13)	166 (22)	98 (10)	55 (5)	53 (5)	13 (1)
7	22	553 (67)	8 (2)	40 (9)	99 (13)	179 (22)	98 (9)	56 (5)	60 (6)	13 (1)
8	22	514 (64)	9 (2)	38 (9)	103 (14)	165 (19)	93 (8)	42 (5)	51 (6)	13 (1)
9	22	513 (63)	8 (2)	36 (8)	102 (13)	164 (21)	86 (7)	38 (5)	67 (6)	12 (1)
10	21	520 (63)	12 (3)	32 (8)	100 (12)	164 (20)	86 (8)	39 (5)	75 (6)	12 (1)
11	22	525 (62)	14 (3)	32 (8)	98 (12)	162 (19)	95 (8)	36 (5)	75 (6)	13 (1)
12	21	275 (38)	4 (1)	22 (5)	50 (7)	55 (10)	69 (7)	40 (4)	27 (3)	8 (1)
1	20	155 (21)	0 (0)	4 (1)	26 (4)	19 (5)	48 (5)	30 (4)	28 (2)	0 (0)
2	20	98 (12)	0 (0)	4 (1)	24 (3)	10 (2)	14 (2)	19 (2)	27 (2)	0 (0)
3	23	99 (11)	0 (0)	5 (1)	27 (3)	4 (1)	15 (2)	16 (2)	32 (2)	0 (0)
計	258	※ 4860	86 (1.7%)	340 (7.0%)	933 (19.2%)	1454 (30.0)	896 (18.4%)	470 (9.7%)	567 (11.7%)	114 (2.3%)
			一日平均 18.73 (前年25.79)			平均要介護1.64 (前年1.62)				

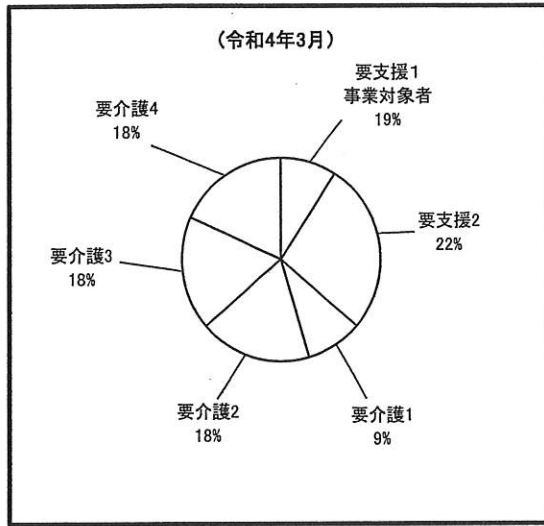
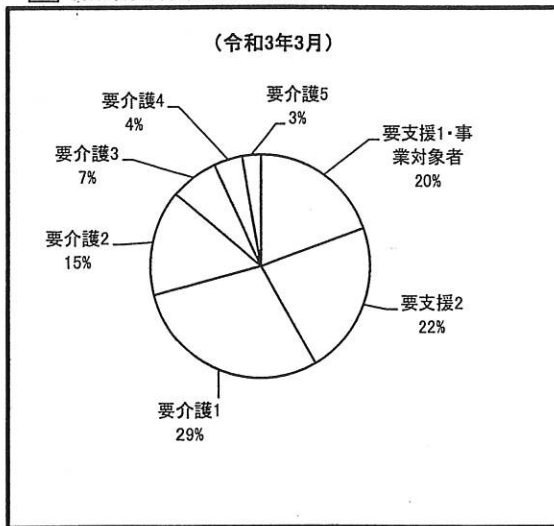
4) 月別行事実施状況

月	行事	レク活動	月	行事	レク活動
4	映画鑑賞会 制作活動	○うちわでお手玉返しゲーム ○お手玉ボーリング ○ゆらゆらゲーム	10	ハロウィン 制作活動	○積み重ねゲーム ○ねらってゲーム ○輪投げゲーム
5	映画鑑賞会 制作活動 書道教室	○茶摘みゲーム ○輪投げゲーム ○ゲートボール	11	書道教室	○収穫祭ゲーム ○新聞紙丸めてドン ○ドキドキボール落とし
6	新茶会 リラクゼーション 映画鑑賞会	○魚釣りボール ○果実収穫ゲーム ○ビー玉ゲーム	12	クリスマス会兼望年会 映画観賞会 制作活動	○お手玉ボーリング ○ビー玉掴みゲーム ○うちわでお手玉返し
7	夏祭り大会 映画鑑賞会 七夕祭り	○缶転がしゲーム ○モグラたたきゲーム ○カタツムリゲーム	1	初釜会 新年会 団子さし 書初め	○羽根つきゲーム ○すごろく ○紙飛行機ゲーム
8	制作活動	○ニアピンゲーム ○宝探しゲーム ○蹴ってカーリングゲーム	2	節分 制作活動	○福笑い ○豆救いゲーム ○豆まきゲーム
9	敬老会 制作活動	○割りばし落としゲーム ○ドボンゲーム ○脱出させろゲーム	3	制作活動 映画鑑賞会	○花を咲かせましよう ○新聞紙腕相撲 ○トランプゲーム

5) 職員配置の状況

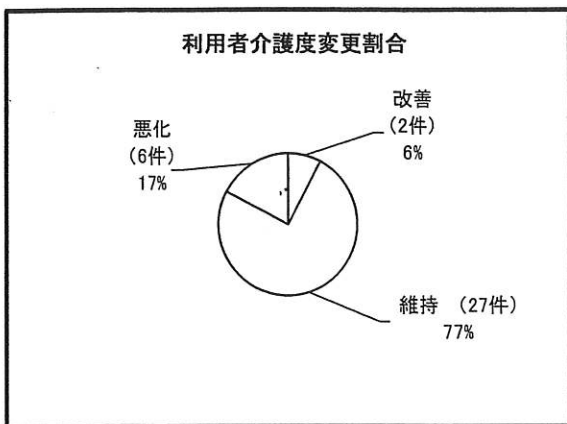
職種	管理者	生活相談員	介護職員	看護職員	機能訓練	合計	() 兼務
人数	(1)	2 (2)	5 (4)	3 (3)	3 (3)	5名	[] パート

6) 利用者要介護度別比較割合

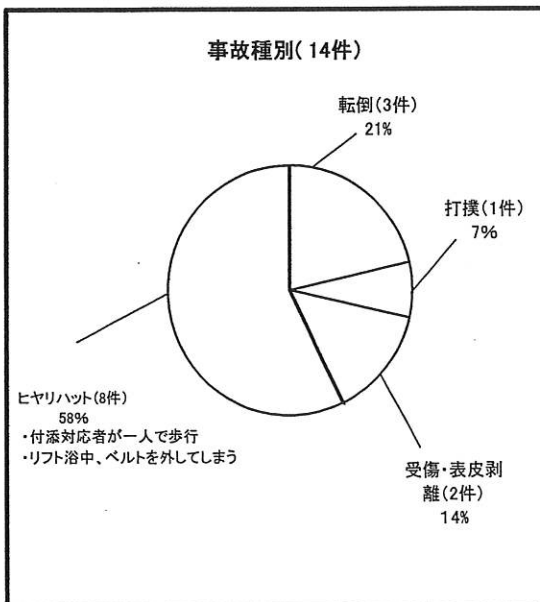


7) 利用者要介護度変更状況(35件)

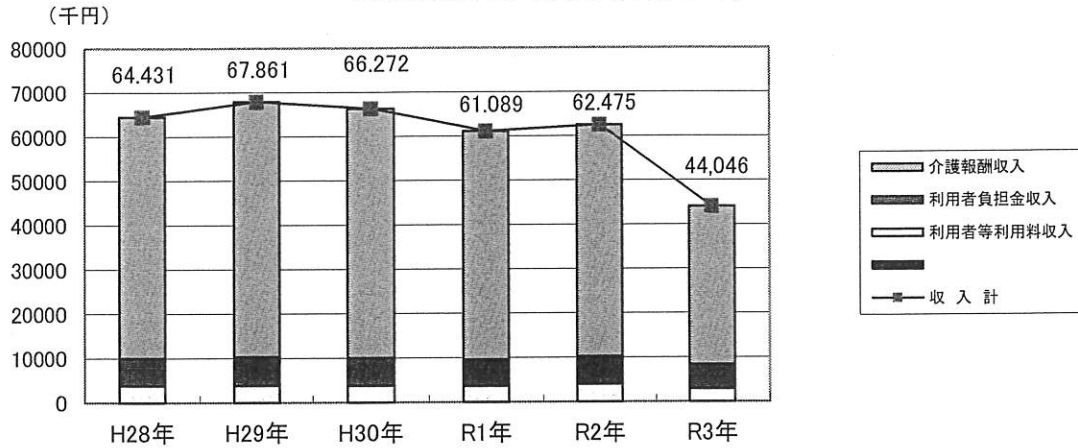
要介護度変更率			
	R元年度	R2年度	R3年度
維持率	71%	75%	17%
改善率	8%	8%	77%
悪化率	21%	17%	6%



8) 事故種別(14件)



介護保険収入状況(片柳デイ)



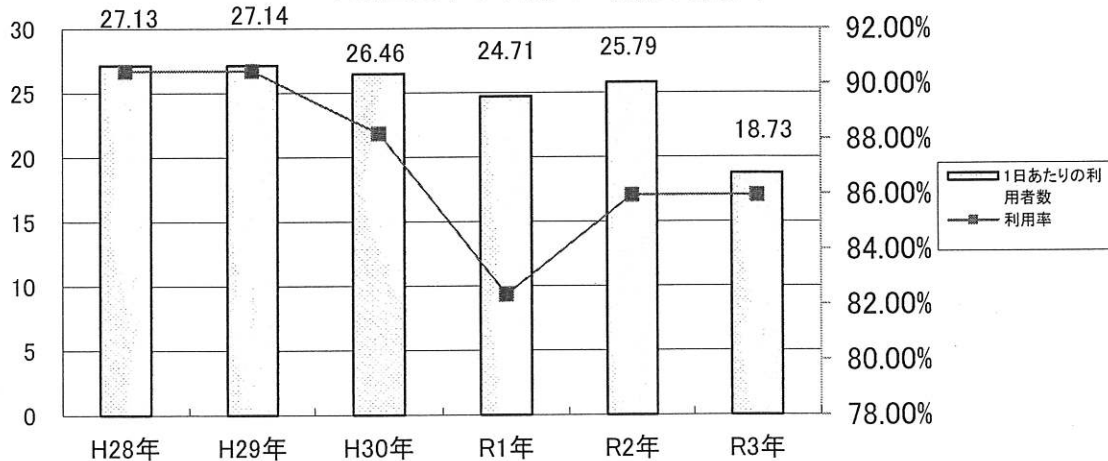
(指定通所介護事業所)

(円)

	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年
介護報酬収入	54,410,259	57,563,167	56,277,799	51,526,337	52,250,892	35,744,786
利用者負担金収入	6,203,776	6,472,422	6,281,382	5,952,420	6,272,771	5,419,722
利用者等利用料収入	3,817,964	3,826,075	3,713,600	3,610,950	3,952,200	2,882,400
収入計	64,431,999	67,861,664	66,272,781	61,089,707	62,475,863	44,046,908

(人)

1日当たりの利用平均数と利用率



(指定通所介護事業所)

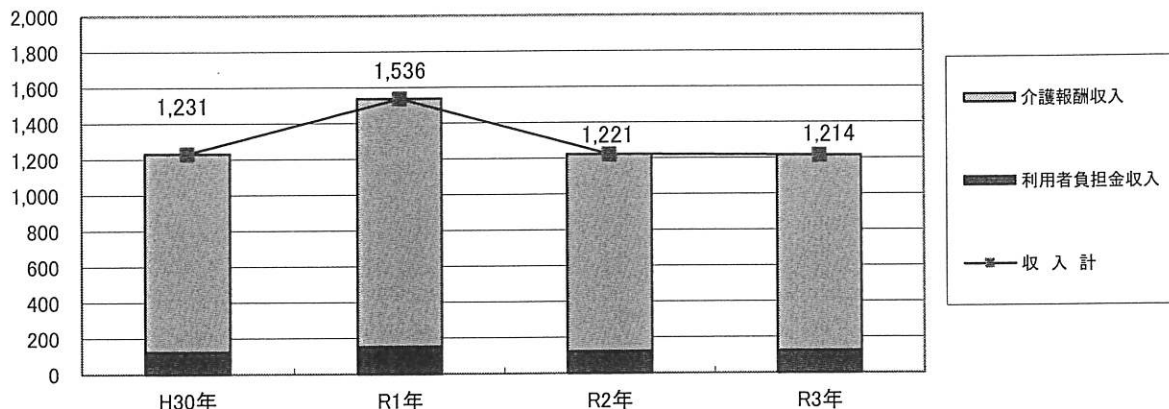
定員30人

	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年
利用延べ日数	7,001	6,976	6,776	6,347	6,656	4,860
1日当たりの利用者数	27.13	27.14	26.46	24.71	25.79	18.73
利用率	90.45%	90.47%	88.20%	82.36%	85.96%	85.96%
稼働日数	258	257	256	257	258	258

10 事業実績の状況

介護保険収入状況(緩和デイ)

(千円)



(指定緩和通所介護事業所)

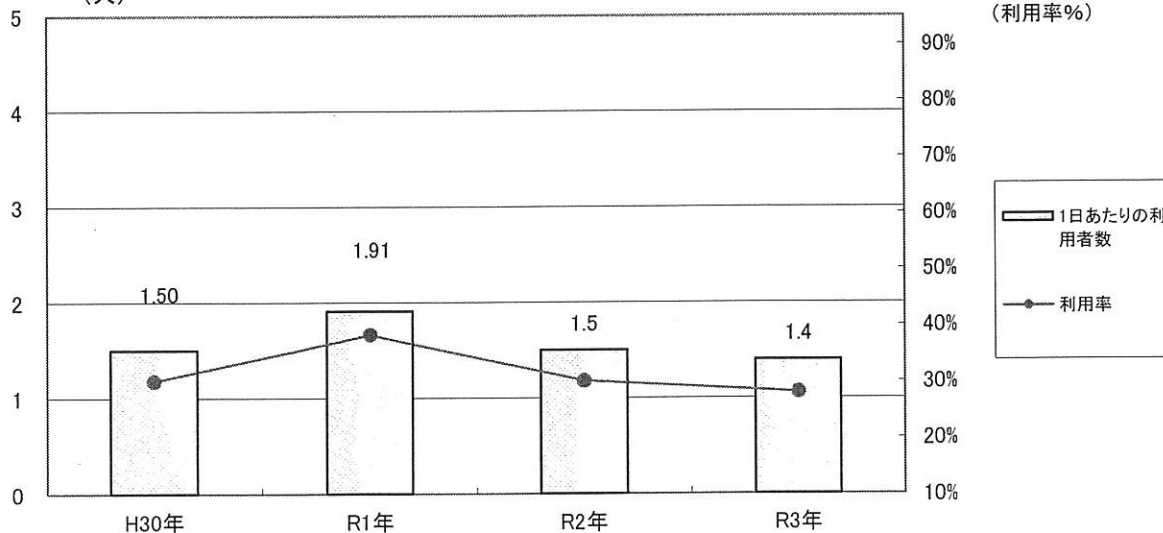
(円)

	H30年	R1年	R2年	R3年
介護報酬収入	1,108,170	1,385,168	1,099,179	1,091,853
利用者負担金収入	123,130	151,313	121,722	122,558
収入計	1,231,300	1,536,481	1,220,901	1,214,411

1日あたりの利用平均数と利用率(緩和デイ)

(人)

(利用率%)



(指定緩和通所介護事業所)

	H30年	R1年	R2年	R3年
利用延べ人数	385	491	388	359
1日あたりの利用者数	1.50	1.91	1.5	1.4
利用率	30.00%	38.20%	30.00%	28.00%
稼働日数	256	257	258	258

[7] 会津若松市南花畑デイサービスセンター

1 運営経過及び総括

令和3年4月、新型コロナウイルス感染症により集団感染（利用者3名・職員5名）の発生により23日間、7月に2日間の事業所休業に至った。長期に渡っての休業で他事業所へのご利用者様の流失や、また指定管理制度終了の公表により利用率を上げることが出来なかった。12月より片柳デイサービスからのご希望利用者の移行に伴い、定員を36名に変更し対応。感染対策を徹底、見直しながら安全対策に努めた。利用者6,330人、1日平均24.53人。前年度より延べ810人減となる。

1日の利用者平均 24.53人/30人 稼働率78.30%（目標90%）

2 事業計画の実施状況

重点目標	実施状況（評価）
[1] 利用者・家族が安心して利用できる信頼関係の構築と生きがいと安らぎのある社会参加の場の提供	<p>①送迎時には元気な挨拶や健康状態を丁寧に伺いし、利用中の状態観察実施、変化時にはご家族やケアマネにタイムリーに状況報告を行った。また4月末の新型コロナウイルス感染症の集団感染の発生により多くの利用者にご迷惑をおかけすることとなった。再度感染対策について、職員の体調管理・利用者の体調確認、マスク着用、消毒等感染防止対策の徹底を図り、マニュアルの見直しを実施し、感染対策に努めた。</p> <p>②感染対策を考慮したレクリエーションを考え実施し楽しんで参加して頂いた。</p>
[2] 3密を避け自立支援・重度化防止に向けた個別ケアの提供と個別機能訓練の強化	<p>①担当者会議等で自宅での環境を把握し、どのような生活を送りたいか課題を抽出し、本人・家族の意向に沿った機能訓練計画書を作成し、実施その後評価を行った。</p> <p>②寄り添うケアを通し、お声がけなど覚醒を促し元気に過ごしていただいた。</p> <p>③内外のリモート研修に参加し、職員のスキルアップを図った。</p> <p>④ 食事前口腔体操を実施、食後は歯磨きやうがい等口腔ケアの強化に努め健康維持に繋がった。</p>
[3] 地域ニーズに即した事業の推進と安定的な利用者確保に努める	<p>①コロナ禍で地域との交流等は感染対策から実施なし。</p> <p>②感染対策の為に訪問を控え、毎月包括支援センターや居宅介護支援事業所等に、利用状況報告書や広報紙を郵送しながら電話での情報交換や空き情報を発信してきた。コロナ禍の為に施設見学等はパンフレットを活用した。</p>

3 月別利用人数及び介護度

※（ ）内は利用者数

月	日数	利用延数	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4	22	557 (85)	25 (8)	70 (18)	95 (16)	114 (16)	68 (8)	85 (10)	94 (8)	6 (1)
5	21	18 (18)	0 (0)	0 (0)	6 (6)	5 (5)	1 (1)	4 (4)	1 (1)	1 (1)
6	22	463 (70)	20 (5)	63 (15)	97 (15)	99 (15)	39 (5)	75 (6)	62 (7)	8 (2)
7	23	449 (72)	23 (6)	60 (15)	88 (14)	103 (16)	45 (6)	70 (7)	50 (6)	10 (2)
8	22	513 (71)	20 (5)	64 (15)	99 (13)	122 (16)	57 (6)	84 (9)	58 (5)	9 (2)
9	22	532 (77)	26 (6)	67 (17)	93 (14)	124 (17)	60 (6)	109 (10)	47 (5)	6 (2)
10	21	524 (80)	24 (6)	70 (20)	91 (13)	132 (18)	58 (7)	101 (10)	43 (5)	5 (1)
11	22	570 (80)	20 (6)	83 (19)	96 (12)	143 (20)	70 (7)	97 (10)	57 (5)	4 (1)
12	21	669 (95)	35 (8)	74 (20)	113 (15)	217 (28)	51 (6)	98 (11)	77 (6)	4 (1)
1	20	635 (99)	35 (9)	70 (19)	111 (14)	221 (34)	41 (6)	91 (11)	44 (4)	22 (2)
2	20	655 (101)	33 (9)	65 (18)	93 (15)	226 (32)	64 (9)	100 (11)	53 (5)	21 (2)
3	23	745 (99)	43 (9)	82 (19)	111 (15)	263 (31)	75 (9)	110 (10)	57 (5)	4 (1)
計	258	※ 6,330	304 (5%)	768 (12%)	1093 (17%)	1769 (28%)	629 (10%)	1024 (16%)	643 (10%)	100 (2%)
		一日平均	24.53	(前年 27.67)		平均要介護	1.3	(前年 1.49)		

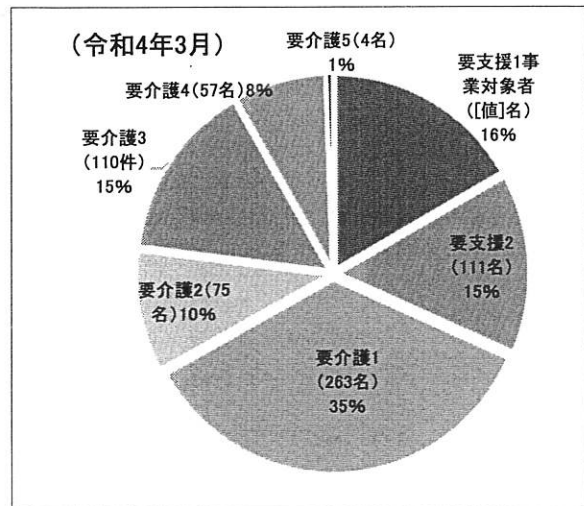
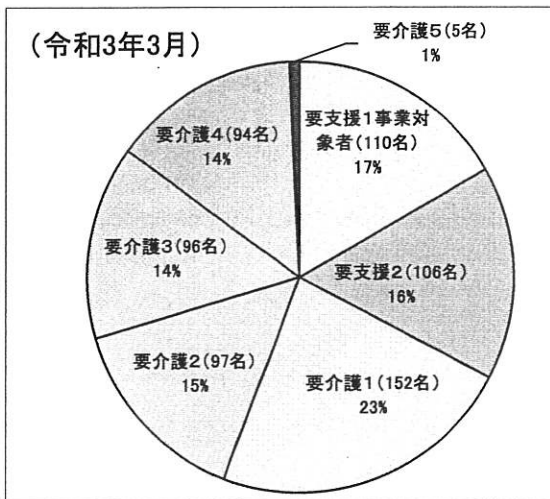
4 月別行事実施状況

月	行事	レク活動	月	行事	レク活動
4	お花見	○お手玉引っ越し ○明日天気にな〜れ ○打ち倒せティッシュ箱	10	ハロウィン仮装	○ハロウィンちゃんばら ○脱出ゲーム ○真・ポッチャ
5	*コロナで稼働1日のみ	○確認ゲーム	11	秋の大運動会 新そば祭り	○ポッキー飛ばし ○ビンゴゲーム ○大運動会
6	父の日・母の日(変わり湯)	○どじょうすくい ○かえるぴよんぴよん ○お手玉つみ	12	クリスマス会(ゆず湯)	○逃げろぬいぐるみ ○コップを積み上げろ ○映画鑑賞 ○モルック
7	七夕会 手作りおやつ(かき氷)	○七夕会 ○いろいろポイポイ ○つなげコップ	1	初釜・書初め 団子さし	○お題付き棒倒し ○すごろく ○書初め
8	夏祭り大会	○ハエ叩き ○金魚すくい ○缶倒し	2	節分(豆まき)	○鬼退治ゲーム ○新聞紙ゲーム ○トントン相撲
9	敬老会(変わり湯) (草木染あずま袋作成)	○ビー玉流し ○草木染 ○たこ焼きゲーム ○ぐらぐらお月見団子	3	ひな祭り	○吊るし雑作り ○言葉作り ○手も足も出るゲーム

5 職員配置の状況

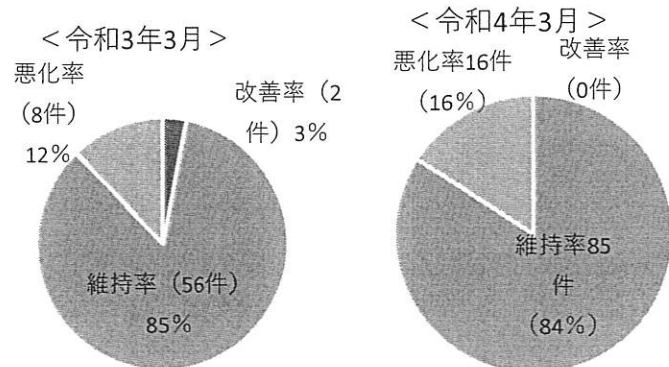
職種	管理者	生活相談員	介護職	看護職	機能訓練	合計	() 兼務
人数	(1)	3 (3)	10 (7)	4 (4)	4 (4)	10名	

6 利用者要介護度別比較割合

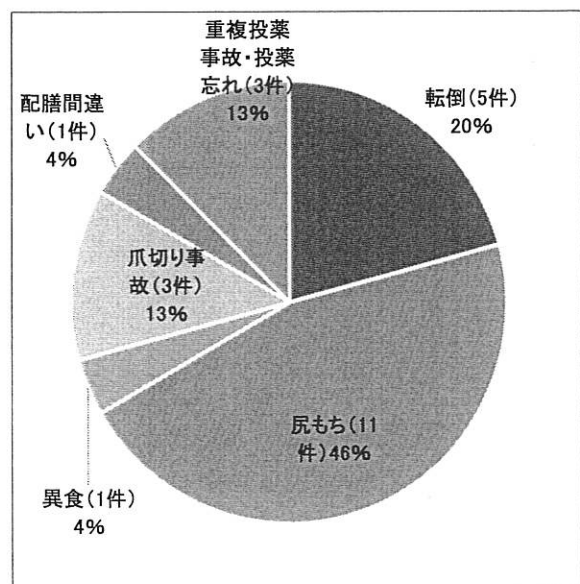


7 利用者要介護度変更状況比較割合

	要介護度変更率	
	令和2年度(65件)	令和3年度(101件)
維持率	85%	84%
改善率	3%	0%
悪化率	12%	16%

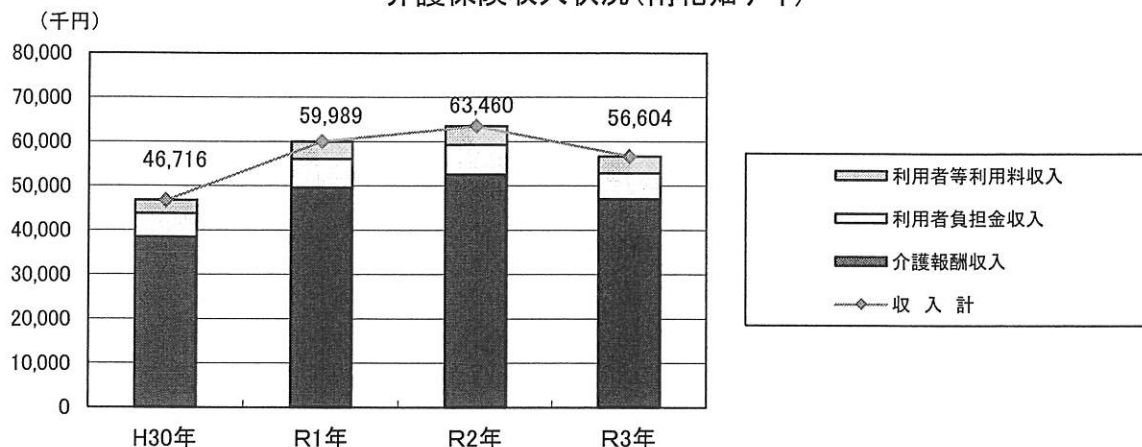


8 事故種別 (24件)



9 事業実績の状況

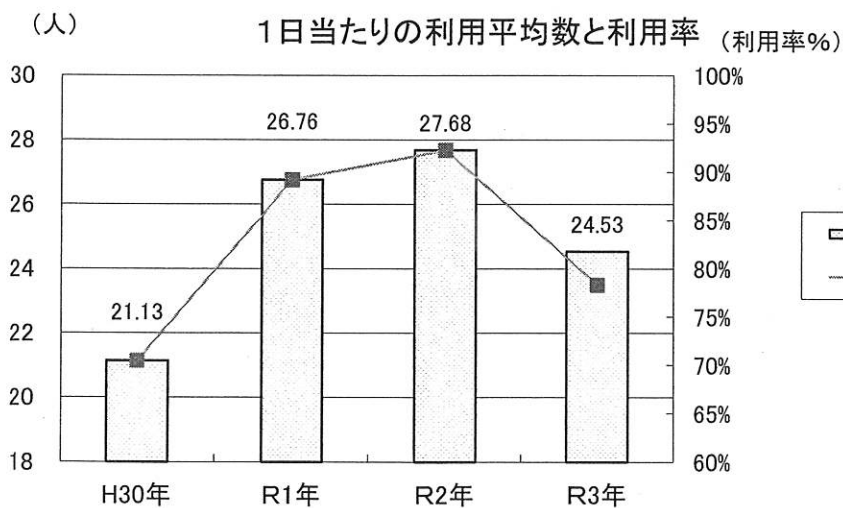
介護保険収入状況(南花畑デイ)



(指定通所介護事業所)

(円)

	H30年	R1年	R2年	R3年
介護報酬収入	38,469,781	49,593,331	52,596,025	47,012,800
利用者負担金収入	5,302,840	6,432,946	6,635,647	5,863,132
利用者等利用料収入	2,943,050	3,962,900	4,228,800	3,727,800
収入計	46,715,671	59,989,177	63,460,472	56,603,732



(指定通所介護事業所)

定員30人

定員30人

定員30人

12/1~33人
2/17~36人

	H30年	R1年	R2年	R3年
利用延べ利用者数	5,368	6,877	7,141	6,330
1日あたりの利用者数	21.13	26.76	27.68	24.53
利用率	70.45%	89.20%	92.26%	78.30%
稼働日数	254	257	258	258

[8] 高齢者等世話付住宅生活援助員派遣事業

※ この事業は市の事業の廃止に伴い、令和4年3月31日をもって終了する。

【片柳町団地・御旗町団地（20戸）】

① 月別事業実施状況

月	交流事業内容	月	交流事業内容	月	交流事業内容
4	政策活動（あやめの花作り） 壁画作り	8	健康教室（ライフキネティック） 壁画作り	12	制作活動 壁画作り
5	新型コロナウイルス感染予防の為交流会 等は中止となる 壁画作り	9	制作活動 壁画作り	1	団子さし 壁画作り
6	壁画作り	10	緊急通報システム点検 手芸教室・壁画作り	2	壁画作り
7	七夕会（笹飾り作り・飾り付け） 壁画作り	11	健康教室（賢く食べてイキイ 元気） 壁画作り	3	交流会（リース作り）

② 生活援助員派遣実施状況

	緊急時の対応等	生活相談	交流事業等	福祉サービスの紹介	関連期間との連絡調整	合計
4月	0	116	13	17	15	161
5月	2	113	2	13	13	143
6月	0	127	2	7	13	149
7月	2	112	7	12	16	149
8月	1	102	8	19	10	140
9月	0	110	9	14	11	144
10月	3	97	9	23	46	178
11月	1	87	8	14	18	128
12月	0	98	7	0	24	129
1月	0	111	8	2	24	145
2月	0	89	2	2	14	107
3月	0	112	7	3	34	156
合計	9	1274	82	126	238	1729

【南花畑団地（33戸）】

① 月別事業実施状況

月	交流事業内容	月	交流事業内容	月	交流事業内容
4	新型コロナウイルス感染予防の為 交流会等は中止	8	新型コロナウイルス感染予防の為 交流会等は中止	12	忘年会「1年の締めくくり、ビンゴ大会」
5	新型コロナウイルス感染予防の為 交流会等は中止	9	新型コロナウイルス感染予防の為 交流会等は中止	1	新型コロナウイルス感染予防の為 交流会等は中止
6	新型コロナウイルス感染予防の為 交流会等は中止	10	介護予防教室「賢く食べてイキイキ 元気～知っておきたい高齢期の食生活」	2	新型コロナウイルス感染予防の為 交流会等は中止
7	新型コロナウイルス感染予防の為 交流会等は中止	11	工作教室「お正月飾り作り」	3	新型コロナウイルス感染予防の為 交流会等は中止

② 生活援助員派遣実施状況

	緊急時の対応等	生活相談	交流事業等	福祉サービスの紹介	関連期間との連絡調整	合計
4月	0	107	0	3	13	123
5月	0	71	0	2	1	74
6月	0	80	0	1	0	82
7月	1	108	0	5	5	120
8月	0	88	0	5	10	103
9月	0	105	0	1	5	111
10月	0	82	7	5	34	128
11月	0	98	8	3	7	116
12月	0	106	9	7	22	144
1月	0	112	0	7	28	147
2月	1	97	0	13	23	134
3月	0	70	0	5	3	78
合計	2	1124	24	57	151	1360

【職員配置の状況】

生活援助員（LSA）	専任（各1名）
------------	---------

博愛園事業報告

1 事業経過及び総括

少子高齢化が進み、女性社会進出が増え0.1歳児の保育需要は多く、受け入れ態勢を整えた。コロナ禍の中で、感染対策をしっかりと行い、子ども達の発達に合わせた教育・保育を職員で相談を重ね、環境整備・保育環境を整えた。保護者との情報共有と協力により、コロナウイルス感染者による園への影響はなく、通常保育を行うことができた。

ICT活用の幅を広げ、より多くの方に情報の発信ができるようになった。

令和4年度幼保連携型認定こども園移行に向けて、令和2年度には園庭拡張、令和3年度には園内の間仕切り改修を行いました。また、県の担当者の指導を受け教育・保育計画を整えと共に職員の意識向上に努め、準備し認可へと繋げた。

2 重点目標の実施状況

1. 安心・安全な保育環境を整え、働きやすい環境作りに努めます。

- ・コロナウイルス感染症対策をしっかりと行うと共に、マニュアルの見直しを行う。
- ・防災や感染症のマニュアルを共通理解し、保護者との情報共有し理解を得た。

2. 質の高い教育・保育の充実を図るため、職員の学びを深めます。

- ・リモートの研修を複数の職員で受講することにより、職員へ伝達が十分にできた。
- ・職員研修として、保育環境の園内研修を全職員で行い、共通認識ができた。

3. 子育て支援センターの事業の充実を図り、園の特徴を活かした地域貢献を行います。

- ・市内のコロナの状況に応じて支援センターの開放を行う。人数制限をしながら、子育ての相談に応じたり、個人でも楽しめる製作などを行った。

4. 認定こども園移行に向け、施設環境・教育内容を充実させ準備を進めます。

- ・園内改修として、保育室の間仕切りを行う。統一したロッカーや受け入れ室など、子どもや大人の動線がスマートになった。
- ・県の担当者の指導のもと、教育・保育計画を進め、保育の見直しも含めた計画となり、こども園移行に繋げた。

3 健康管理

たくましい心身を育みながら、健康を維持する力を身につける。

- ① 新型コロナウイルス感染症対策として、行政からの指示のもと、消毒・保育や行事等の見直しを行う。市内の保育園やこども園が休園する中で、通常保育ができたことは、保護者の理解と協力は不可欠であった。
- ② 夜型の生活が多い中、早寝・早起き・朝ごはんの生活習慣が身につくように大切さを知らせ、個々の家庭状況に応じたアドバイスなど家庭と連携しながら健康な体づくりを行ってきた。また、子ども自身が理解できる言葉で伝え、考えられるように取り組んできた。
- ③ アレルギーについては、マニュアルを通して全職員が把握し、それぞれに応じた対応を行うことにより情報の共有化ができた。

- ④ 感染症の予防に努め、感染時の情報を保護者へ周知し、家庭と共に拡大を防ぐようにした。また、年齢に応じた予防接種を勧め、園児一人ひとりの病気の予防だけでなく感染予防に努めた。

○内科健診、歯科検診を年2回実施。尿検査(全園児)実施

虫歯予防、歯磨き、食べ物や飲物について保護者に働きかけ取り組んできた。歯科検診後は、虫歯の治療もすすんだ。

4~5歳児対象に「フッ化物洗口」に取り組み、虫歯予防に努めた(週5回)。取り組むことにより、歯科医師から口の中がきれいになっていると効果がみられているとの話あり。

○感染症による年間延べ欠席一覧

順位	疾患名	人数
1	RSウイルス	12
2	アデノウイルス	7
3	胃腸炎	4
4	新型コロナウイルス感染症	2
5	溶連菌感染症	1
	計	26

○保育園でのけが

10件(転倒裂傷・転倒歯の損傷・脱臼など)

4 栄養管理

楽しい食事を心がけ、一人一人に合わせた食事と栄養管理に努めた。

- ① 園児一人一人の「給与栄養目標量算定表」「成長曲線表」によるデータに基づいて、身体状況を把握し、指導を要する園児には、助言や対策を行った。また、家庭と連携を図り、保育士と話し合いながら、一人ひとりに合わせて進めることができた。
- ② 食事の展示やレシピの配布などを行い、保護者の理解・関心を深め、アンケートの実施により家庭との連携に役立てた。
- ③ コロナ禍で、食育活動に制限はあったが、日々の給食を通して食に対する関心を深め、基本的な食習慣の改善と食を営む力の基礎を培うことができた。
- ④ 食物アレルギー児については、医師の診断に基づいて、保護者との連携を図りながら除去食をすすめることができた。

5 保育に関して

- ① コロナ禍の中で、子ども達の発達に合った保育内容をその都度検討する。園庭拡張したことにより、「夏まつり」「運動会」を保護者の参加とし、子ども達の成長を共有することができた。また、行事の見直しをすることで、新しい発見もあった。
- ② 0歳から年長までつながる保育を念頭に、育てたい10の姿を職員全員が理解して保育できるように、発達の理解と保育・教育の向上に努めた。
- ③ 全職員が各クラスの保育の内容が見えるよう、報告会等を重ね支援の必要な子も含めて、子どもへの共通の関わりをする事ができた。

6 安全管理

子どもたちに命の大切さを教え、子ども自ら安全を学ぶよう取り組む。消防署、警察、子ども保育課、防災関連業者などと連携を密にし、安全管理に努める。

・避難経路、防災準備品の確認（マニュアルの見直し）

年2回交通安全教室を開催し事故防止に努めるとともに、園児自らが安全について学ぶ。家庭には、活動等を伝え保護者の意識向上を図る。

- ① 毎月の避難訓練では、職員の連携はもとより、子どもが理解できる形で“命を守る”教育を行う。（火事・地震・水害・不審者）
- ⑤ 災害時を想定して、保護者への引き渡し訓練を行う。
- ⑥ 独立行政法人日本スポーツ振興センターの保険、日本保育協会保育園総合保険（日本興亜損害保険）に加入。

7 衛生管理

健やかな心身の発達のために、環境設備を整え、衛生管理に努めた。

- ① コロナウイルス感染症対策として毎日の玩具等の消毒を徹底し衛生的な保育環境作りに努めた。食事の際は飛沫パネルを使用し、黙食を基本とした。楽しい食事とはいかないが、人数制限したことにより食事のマナーや食べる量など一人一人、丁寧に関わることができた。
- ② コップ、タオルなどの共有は避け、手洗いは除菌システム・アルコール消毒。ペーパータオルの使用を行った。
- ③ 集団感染・食中毒を防ぐための知識を、マニュアルにより、職員間で共有化し、対策を徹底するように心がけた。また、給食担当者はノロウィルスなどの保菌検査を定期的に行った。
- ③ 園児の手洗い・アルコール消毒の習慣を身につけ、感染症の二次感染を予防するようにした。

8 職員数状況

常勤職員					非常勤職員					合計
園長	主任	副主任 保育士	保育士	栄養士	保育士	保育 保助	調理員	事務員	嘱託医	
1	1	1	13	2	7	1	1	1	2	30

9 入所児童数状況

（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	昨年
0歳児	4	4	5	5	7	9	12	13	13	15	17	17	121	90
1歳児	9	10	10	10	10	10	10	11	11	11	11	11	124	148
2歳児	11	13	13	13	13	13	13	13	12	12	12	12	150	157

3歳児	13	13	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	166	142
4歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144	144
5歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144	168
合計	61	64	66	66	68	70	73	75	74	76	78	78	849	849	

(月平均 71人)

* 月初日数で月中途入退所児童は除く

10 特別保育利用状況

ア、延長保育利用状況(延べ人数) 18時～19時に1時間延長保育を実地した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	143	110	117	84	95	84	107	115	126	97	97	130	1305

(月平均 108人)

イ、一時保育利用状況(延べ人数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	32	12	15	14	11	7	19	23	27	8	13	7	188

(月平均 17人)

ウ、障害児保育事業 5歳児 中度

エ、地域子育て支援拠点事業(センター型)

	種類	内容	回数	人数
①	子育てサークル「げんきクラブ」(園内)	・サークルの育成・支援 ・おやつ作り ・園内外解放 ・絵本貸出 ・おもちゃ作り ・お試し離乳食・癒しのタッチ 他	月2回	延べ人数 大人 398人 子ども 450人
②	子育てサークル「ひよこクラブ」(園外)	地域に出向いて コロナウイルス感染症の為、休止 (げんきクラブとして園内で開催)		
③	こんにちは赤ちゃん訪問(乳児全戸訪問事業)	市健康増進課委託 ・生後2カ月前の赤ちゃんを市に代って訪問し、育児に関する不安や悩みを傾聴、子育て情報の提供をする。	月1～3件	18件
④	育児相談	・離乳食の進め方 ・子どもとの接し方 ・発達面について ・家族の問題について ・アレルギーについて	随時	337件
⑤	HP、子育て支援便り発行	・保育情報の提供 ・活動予定、報告など	各月1回	

11 保護者会・地域社会との連携状況

- ・市保育所保護者連合会との連携（球技大会・親子わくわくランド）との連携…コロナウイルス感染症の為中止
- ・地域社会の諸団体との連携「子どもまつり」…コロナウイルス感染症の為中止
- ・保育実習、医師会附属会津準看護学生実習、ボランティア・インターンシップ等の受け入れ
- ・片柳デイサービス、みどりホーム、しなのきにおいて、園児との世代間交流…コロナウイルス感染症の為中止

12 職員研修等実施状況

研修名	開催地	開催日	参加人数
日保協 新人スタートアップ研修	オンライン	5/21.28	1
乳児全戸訪問事業従事者研修	会津若松市	6/1	1
保育と絵本（乳児編）	博愛園	6/24	全員
若松保育士会研修①	オンライン	7/10	全員
日保協 保育実習担当者研修	〃	6/25.7/2	2
保育と絵本（幼児編）	博愛園	7/21	全員
地域支援センターあいづ特別支援教育研修会	〃	7/30	1
幼児教育実技研修会	会津坂下町	7/26	1
地域子育て支援研修講座	会津若松市	6/23 他6回	2
保育とおもちゃ①	博愛園	8/25	全員
日保協 感染対策セミナー（応用編）	オンライン	9/10.17	2
初任者主任保育士研修		9/28～9/30	2
日保協 保育の質の確保・向上セミナー		10/15	2
子どもの発達障がい研修会	会津若松市	10/21	1
日保協 アレルギー対応セミナー		10/29	2
日保協 保護者支援セミナー	オンライン	11/5	2
若松保育士会研修②	〃	11/13	全員
子どもの発達障がい研修会	会津若松市	12/7	1
保育実習指導者研修	オンライン	3/16	2
若松保育士会研修③	〃	2/2	全員
キャリアアップ研修①乳児保育	〃	11/3.22	1
キャリアアップ研修②幼児保育	会津若松市	11/25.28	2
キャリアアップ研修③障がい児保育	オンライン	2/27.28	2
キャリアアップ研修④アレルギー対応	オンライン及市内	11/10.24.27	1

キャリアアップ研修⑤保健衛生	オンライン	1/20. 27. 2/3	2
キャリアアップ研修⑥保護者支援・子育て支援	〃	12/4. 16	11
キャリアアップ研修⑦マネジメント研修	〃	11/6. 13	2
児童虐待防止に関わる学校等との連携強化	会津若松市	12/7	1

13 主な園行事

※お集まり会・身体測定・避難訓練・食育・・・毎月

※お茶の稽古（年長児）年7回（コロナで中止あり）

※キッズサッカー教室 年3回

14 第三者評価・自己評価

- ・（株）ネクサスによる保護者満足度調査を行う。（1月実施）保護者への回答を公開した
- ・職員満足度調査及び自己評価システムによる年2回の自己評価

放課後児童健全育成事業（行仁こどもクラブ）

令和3年度より会津若松市より受託し、行仁小学校の建て替えに伴い校舎内に併設された市では初めてとなる子どもクラブ。小学1年生から6年生対象とし1クラス50名の学童保育を行う。

学校、こどもクラブ両方の環境が変わる中で、子ども・保護者との信頼関係を構築すると共に、子ども達が安心して過ごせる心地よい環境づくりに努めた。支援の必要な児童も含め、話し合いのもと職員の関わりを統一するように心掛ける。

コロナ禍の中、学校との情報共有を行い、感染予防と感染対策に努めた。保護者の理解と協力を得ることで、通常保育ができた。

1 利用状況

1組	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	25	23	26	25	24	24	25	24	24	23	22	26	291
登録児童数	47	46	44	44	45	42	43	44	44	42	42	42	44月平均
延べ出席数	857	820	951	830	672	862	859	838	845	676	671	727	9604

2組	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	25	23	26	25	24	24	25	24	24	23	22	26	291
登録児童数	47	47	44	42	43	42	42	40	42	42	43	43	43月平均
延べ出席数	956	770	916	750	593	819	840	763	768	684	725	836	9420

- 2 健康管理 ○新型コロナウイルス感染症対策として、登所した際にマスクを交換するなど、検温・消毒・手指消毒・換気に加えて行い感染予防に努めた。感染者が出た場合の対応を、行政の指導のもと学校との情報共有し対応に努めた。

○体調不良の際の利用を控えると共に、仕事が休みの際の協力をお願いし、協力を頂く。

- 3 安全管理 ○定期的に遊具や保育環境の点検を行い、小学校や行政と連携して安全な環境に努めた。

○避難訓練（2ヵ月に1回）

○大きな事故やけがはなし。

- 4 職員状況 ○正職1名 臨時職員1名 パート職員6名 計8名

- 5 利用状況 ○1ヵ月4,000円（市直接納入） ※親の会費は別途徴収

- 6 保護者連携 ○親の会役員会と意見交換し、次年度に反映させる。
 会費 2,000 円は、毎日のおやつ、お楽しみ弁当、お誕生ケーキ等の提供
 ○地域学校協働本部事業「行仁 1455」(放課後こども教室)の実施の協力。
 (人数の把握・健康観察・検温・体育館への送迎)

7 研修等状況

研修名	開催地	開催日	参加者
地域子育て支援講座 (ペアレントトレーニング)	会津若松市	6/23. 7/28. 8/12. 9/15 11/10	1名
第1回 放課後児童支援員等研修会	会津若松市	7/12	1名
第2回 放課後児童支援員等研修会	会津若松市	9/27	2名
県委託 放課後児童認定資格研修	オンライン	11/18. 12/8. 9	1名

8 行事実施状況

月	日	曜	行事	月	日	曜	行事
4	14	水	1年生歓迎会	11	13	土	親子味噌づくり(親の会)
	28	水	親の会役員会	12	2	木	チャレンジスポーツ
					3	金	
	10	土					
5	22	土	遠足	11	土	ボーリング大会(親の会)	
6	19	日	わくわくスポーツ	23	木	クリスマス会	
7	2	金	息吹組舞踊披露会	1	13	木	だんごさし
8	23	月	すいかわり	2	3	木	豆まき
9	20	水	ハロウィンごっこ	3	25	金	ありがとうの集い

すくすく園事業報告書

1 運営経過及び総括

今年度も職員間で工夫・配慮を大切にされた保育活動・行事等をすすめてきたが、コロナ禍での生活に園児や保護者も順応できたことで連携がさらにスムーズになった。感染力の強い変異株への対応と備えについては正しい情報をもとに再確認に努めた。

リモート研修も定着し、コロナ禍でも豊かな経験ができる環境づくりや安全対策についての学びができた。園庭は密を避け豊かな遊びを経験できる場所であることから、園庭環境の見直しを行い、既存の遊具を活用したクライム遊具の設置や県産材を活用した移動可能なトンネル遊具を導入した。今後は一人ひとりの運動機能や理解力に合わせた遊びの展開ができるよう計画し保育の質を高めていくことが課題となった。

少子化は深刻だが、月平均在籍数80名の確保により運営基盤・財政基盤の安定に繋げることができた。しかし、園児数の増加に加え、産休・育休の取得、コロナ禍による義務免や有休の取得により保育士不足となっている現状がある。良き人材の確保に努め、入所児を丁寧に受け入れ、より良い子育て支援・家庭支援の充実に努めていく。

2 重点事業

1. 保育・教育内容を共通理解し、見える形での保護者への発信

- ・ 外部リモート研修の内容もコロナ禍での保育・教育内容についての学びや多くなり、受講した職員からの報告を共有することで保育環境や内容を見直す機会へと繋げることができた。
- ・ 可視化できる発信をすることで、保護者のご理解・ご協力を得ることができた。今後は、コロナ禍でも保護者同士の繋がる機会をどの様に保障するかを検討していく。

2. 安全と衛生面に配慮した、心地よい環境づくり

- ・ 研修等で学んだ安全と衛生面での配慮すべき点を生活の中で見直し、掃除の仕方やマスクの保管方法等を職員間で検討し実践へと繋げた。取り組み内容を保護者へも伝え、家庭と連携し、園児一人ひとりに応じた関わりの指導に努めた。

3. 子育てセンターの特色を生かした地域支援

- ・ 今年度も、小さなスペースの子育て支援室の利点を生かし1日1組の完全予約制で対応する。感染症対策への協力を促し保護者の思いに寄り添うことで、安心できる心地よい利用へと繋がった。市内のコロナまん延に伴い2月・3月は子育て支援室を閉鎖する。
- ・ ホームページに利用予約ができる機能を導入する。利用者からも好評で、新規利用者が増える。

4. 既存施設の補修・修繕と財政基盤の安定

- ・ 計画外で老朽化に伴う空調設備の修繕があった。清掃点検だけでは対応できない修繕が予想されることから、次年度も対応できる予算の確保が必要である。
- ・ 施設整備積立金を予算額以上確保することができた。

3 保育内容

①市内のコロナ禍の感染状況に応じて行事等の時期や内容の変更を行うとともに、日々の

生活と遊びを大切にし豊かな経験の保障に努めた。

- ②支援児2名が、支援学校・支援学級へ進学することができた。関係機関と保護者との連携を図ることができたことで、それぞれの保護者・支援児が見通しをもち安心して小学校の環境へ向かうことができた。

4 健康管理

感染症の正しい情報を共有できるよう発信し、予防と拡大防止に努めた。

- ①新型コロナウイルス感染症の新しい情報や、行政からの指導をもとにした保育園での対応についての情報を、メールや掲示物を活用し感染予防や感染拡大防止へと繋げることができた。
- ②年間通して、感染症予防の基本的な対応に取り組むことで感染症の種類は減少したが、市内で蔓延していたRSウイルス感染症が園内でも飛沫感染により広がる。
- ③毎日のフッ化物洗口(4.5歳児)、内科健診と歯科検診を年2回、寄生虫検査と尿検査を実施する。

月別主な感染症状況

感染症名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	R2
突発性発疹						2		1		2			5	3
ノロウイルス													0	9
ロタウイルス										1			1	0
溶連菌感染症	1	1								1			3	9
RSウイルス感染症						25							25	0
アデノウイルス感染症								5					5	1
感染性胃腸炎												2	2	0
MRSA													1	1
水痘										1		1	2	0

5 栄養管理

食育を推進し、コロナ禍でも安全でおいしい給食の提供に努めた。

- ①コロナ禍での食事マナーが身につくように関わる。食に関心をもち給食を楽しみにできるような収穫した野菜を使用したり、献立メニューを園児の目線に掲示する等の環境づくりに努めた。
- ②昨年のアンケートをもとに、食物アレルギーについての理解が深められるよう、具体的な取り組みと情報の発信に努めた。

6 安全管理

震災時に必要な備品の確認と危機管理マニュアルを周知し、安全な環境づくりに努めた。

- ①避難時に活用できるテントを備品として購入し、保存食の補充と入替えを行う。
- ②交通安全教室(春・秋)と毎月の避難訓練、園児引き渡し訓練等を実施する。

7 衛生管理

清潔で衛生管理の行き届いた保育環境・給食環境に努めた。

- ①感染症の予防と拡大のためマニュアルを活用し園内研修を実施する。
- ②保健所からの指導をもとに、厨房の床張り替えの際に汚染区間と非汚染区間の区分がわかるように対応する。
- ③職員が全ての感染症の媒体者にならないよう健康管理に努める。調理員・調乳者はノ口

ウイルスの定期検便検査も実施する。

8 職員数状況（4/1現在：東山こどもクラブ職員兼務2名含む）

常 勤 職 員						非 常 勤 職 員				合計
園長	主任	副主任	保育士	栄養士 調理師	事務 職員	保育士	調理補	用務員	嘱託医	
1	1	1	15	3	1	5	1	2	2	32

9 入所児童数状況（広域入所児1名含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年
0歳	5	5	5	5	7	8	9	9	10	13	13	13	102	103
1歳	14	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	179	162
2歳	13	13	13	13	13	14	14	14	13	14	14	14	162	151
3歳	13	13	13	13	13	14	14	14	14	14	14	14	163	169
4歳	14	14	14	14	14	15	15	15	15	15	15	15	175	164
5歳	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180	180
合計	74	75	75	75	77	81	82	82	82	86	86	86	961	949

10 特別保育事業状況

○延長保育事業（月平均利用のべ人数 27.5人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
のべ利用者数	26	23	42	30	49	29	28	30	54	20	0	0	331

○地域子育て支援拠点事業（事業内容）

	種 類	内 容	回 数	延べ人数
①	検サロ (検自治会館)	今年度はお休みの周知をする		
②	すくすくサロ (園内・園庭)	○1日1組の完全予約制（11月のみ1日2組） ○多胎児・障がい児（毎週 月曜・木曜の午後） ○育児相談・園庭・プール開放 絵本貸出 制作活動（こいのぼり・母の日・父の日・七夕飾り ポプリ作り・クリスマス・だるま絵付け）種まき	週6回 (コロナの為、 1月末～3月 まで休む)	176名 相談23件
③	全戸訪問 (市委託事業)	生後4カ月未満児の家庭訪問 (育児環境の確認・育児相談・情報提供)	月1.8件 程度	22件

11 保護者会・地域との連携状況

○会津若松市保育所連合会行事は中止となる。

○養成校と連携を図り感染防止を徹底して、実習生の受入れの協力に努めた。

12 職員研修等実施状況

研 修 名	開 催 地	開 催 日	参加者
日保協 感染症対策セミナー（基礎編）	(web研修) すくすく園	6/11・18 10/2・9	5名
市健増 乳児家庭全戸訪問事業従事者研修会	会津若松市	6/1	1名
県保協 会津支部保育士部会研修会	(web研修) すくすく園	6/19	5名
市健増 第1回会津若松市子育て支援担当者研修会	会津若松市	6/25	1名
園内研 こどもの友DVD研修「保育と絵本：乳児編」	すくすく園	6/25	25名

園内研	こどもの友DVD研修「保育と絵本：幼児編」	すくすく園	6/29	25名
日保協	保育実習指導者セミナー	(web研修) すくすく園	6/25・7/2	1名
市保連	第1回若松市保育士部会・給食部会研修会	(web研修) すくすく園	7/9	全職員
医師会	第23回保育園嘱託医と保育士との勉強会	会津若松市	7/30	2名
県保協	会津支部給食部会研修会	(web研修) すくすく園	8/31	1名
日保協	実践に活かす！保育所保育指針セミナー	(web研修) すくすく園	10/1	2名
日保協	保育の質確保・向上セミナー	(web研修) すくすく園	10/15	2名
市健増	子どもの発達障害研修会	会津若松市	10/21	1名
日保協	事故予防セミナー	(web研修) すくすく園	10/22	2名
日保協	アレルギー対応セミナー	(web研修) すくすく園	10/29	2名
県キャリアアップ	障がい児保育	(web研修) すくすく園	10/30・11/1	1名
日保協	保護者支援セミナー	(web研修) すくすく園	11/5	2名
県キャリアアップ	保護者支援・子育て支援	(web研修) すくすく園	11/5・11/12	1名
県キャリアアップ	マネジメント	(web研修) すくすく園	11/6・11/13	1名
市保連	第2回若松市保育士部会・給食部会研修会	(web研修) すくすく園	11/13	全職員
県キャリアアップ	障がい児保育	(web研修) すくすく園	11/9・11/20	1名
県キャリアアップ	食育・アレルギー対応	(web研修) すくすく園	11/10・24・27	1名
県キャリアアップ	保健衛生・安全対策	(web研修) すくすく園	11/11・11/18	1名
市こ課	乳児保育研修会	会津若松市	11/24	1名
日保協	役職別オンラインセミナー(栄養士・調理師)	(web研修) すくすく園	11/26	1名
県キャリアアップ	乳児保育	(web研修) すくすく園	12/7・12/11	1名
県キャリアアップ	食育・アレルギー対応	(web研修) すくすく園	1/25・1/26	1名
県キャリアアップ	幼児保育	(web研修) すくすく園	2/4・2/7	1名
市保連	第3回若松市保育士部会・給食部会研修会	(web研修) すくすく園	2/12	全職員
県保協	福祉サービス第三者評価研修会	(web研修) すくすく園	2/24	2名

13 主な行事実施状況

月	日	曜	行 事	月	日	曜	行 事
4	1	金	入園・進級式	10	21	木	秋の遠足(4歳児・5歳児)
	22	金	交通安全教室	12	4	土	生活発表会
6	5	土	クラス懇談会(2歳児)	1	24	金	クリスマス会
	12	土	クラス懇談会(0歳児・1歳児)		12	水	だんごさし
	19	土	クラス懇談会(3歳児・4歳児)		15	土	会津自然の家(5歳児)
	26	土	クラス懇談会(5歳児)		22	土	クラス懇談会(0歳児)
7	7	木	たなばた	2	3	木	まめまき
	16	火	夏まつり(全クラス)				
9	9	木	ミニ運動会(3歳児・5歳児)	3	12	土	卒園式
	10	金	ミニ運動会(4歳児)				
	15	水	交通安全教室				

14 第三者評価・自己評価

○株)ネクサスのQRコード使用の利用者アンケートにて保護者の意見を集計する。結果は保護者に公開するとともに、次年度の事業計画・保育等に反映できるよう検討を行った。

○自己評価システムにより、上半期・下半期で自己評価を実施する。

放課後児童健全育成事業（東山こどもクラブ）

会津若松市より受託し、東山小学校の2室を借用して放課後や学校休業日に小学1年生から6年生までを対象とし1クラス定員40人の学童保育を行う。

今年度は体調不良やコロナに係る休みの取得が多く、毎日の支援員数の確保に苦慮した。そのような状態の中、思春期にさしかかる児童の苛立ちや不満に丁寧ゆっくり関わることができず、友や支援員との良い関係性が築けない場面も多かった。支援員の関わりを振り返る機会を設け、児童の気持ちや態度を否定するのではない関わりを意識し実践できるよう努めた。今後、児童の気持ちに寄り添い関わりを学べる専門的な研修機会も必要である。

小学校とはコロナに関する情報共有も速やかに連携できているため、感染児童がでた際は、感染の拡大を防ぐ対応の協力を努めた。また、支援児とその保護者への対応に関しても、支援内容や相談内容に応じて、小学校と相談し連携が図れるよう取り組んでいく。

1 利用児童数状況（年間延べ人数）

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
5756	3008	6745	1214	37	0	16760

2 利用状況（年間開所日数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25	23	26	25	25	24	24	24	24	23	22	26	291

3 健康管理 ○コロナ禍での感染予防・感染拡大防止の基本対応を行う。
（コロナ感染者・濃厚接触者へは行政の指示のもと学校と同様の対応をする。）

4 安全管理 ○重篤な事故や怪我はなく、賠償保険に該当する件数は0件

5 職員状況 ○正職1名 臨時職員1名 パート職員6名 計8名

6 料金状況 ○保育料 1ヶ月4,000円（市直接納入） ※親の会費は別途

7 保護者・地域連携 ○保護者からの年度末アンケートの結果を次年度へ反映する。
○東公民館・小学校と連携し放課後こども教室をコロナ禍に応じた内容と規模で実施する。

8 研修等状況

研修名	開催地	開催日	参加者
市こども課 第1回放課後児童支援員等研修会	会津若松市	7/21	1名
市こども課 第2回放課後児童支援員等研修会	会津若松市	9/2	2名
県社協 児童厚生員・放課後児童支援員研修	Zoom・eラーニング	11/18～1/18	2名
県委託 福島県放課後児童支援員等資質向上研修・初	Zoom研修	11/29～11/30	3名
県委託 福島県放課後児童支援員等資質向上研修・専	Zoom研修	1/15～1/16	1名
生涯学習センター 地域で子育て支援研修講座	会津若松市	6/23・7/28 8/12・9/15 11/10	2名

9 行事实施状況

月	日	曜	行 事	月	日	曜	行 事
4	2	水	入会式・親の会総会（中止）	12	27	月	年末大掃除
	14	土	避難訓練		28	火	年末大掃除
5	12	水	不審者対応訓練	1	12	水	だんごさし
6	16	水	缶バッチ作り		19	水	十日市ごっこ
7	7	水	七夕	2	3	木	豆まき
8	11	水	夏祭りごっこ	3	3	木	ひなまつり
9	10	金	避難訓練		16	水	進級お祝い会
10	25	月	ハロウィン仮装パーティー	*毎月 お誕生会			
12	1	水	季節のおやつ				
	24	金	クリスマス会				